

2024年(令和6年度) 事業報告書



社会福祉法人

くにたち子どもの夢・未来事業団

設立趣意書

少子高齢・人口減少社会の到来を見据え、次世代社会を担う子どもたちが健やかに成長できる環境を整えるとともに、安心して子育てができる環境づくりを進めていくことが急務となっています。また、急速に進展するICT、AI重視の社会においては、様々なコミュニケーションの形態と可能性が生まれる一方で、人と人の直接的な対話によるつながりの希薄化も危惧されていて、人間の社会性の育ちへの懸念も表明されています。さらに解が一通りではなかったりまだ解の見つかっていない課題が増大することも予想されていて、それらに創造的に解をつくりだし解決していく力を育成することは私たちの焦眉の課題となっています。

国立市はこれまでインクルージョンをキーワードにするまちづくりを進めてきましたが、少子化の進行や家族形態の多様化、地域のつながりの希薄化等は全国と同じように進行しています。これら家族をとりまく環境の変化による世帯の孤立化、格差社会の進行や子どもの貧困の問題など、子どもや子育てをめぐる課題は複雑多様化してきて、ときには深刻化しています。行政のみならず、地域ぐるみで良好な親子関係の形成を支えていく必要性は、今後ますます高まりをみせていくものと思われます。

こうした課題を乗り越えていくためには、多世代・多様な主体がかかわるような地域社会の活性化とそれと連動した子ども育成活動を充実させるとともに、乳幼児からの教育すなわち保育・幼児教育を充実させその質を高めることが肝要です。そうしてこそ貧困の連鎖を断ち切り、安心して子どもを産み育てることのできる環境を創ることが出来るからです。今世界中で、乳幼児期からの丁寧な関わりによる育ての保障が重視されるようになってきています。幼い頃からの大人との愛着・信頼関係の構築、子どもたちの、自己肯定感の丁寧な育て、そして最後までやり抜こうとする力、他者と対話する力、自分の気持ちを表現しコントロールする力などの「非認知スキル」の育てを乳幼児期から丹念に保障する必要性が急速に高まってきているのです。

私たちは、こうした状況に前向きにそして積極的に対応していきたいと考えています。そのため、この地に新たに「社会福祉事業団」を設立することにいたします。本事業団は、全国に先駆けて国立市が推し進めるソーシャル・インクルージョンのまちづくりの理念の下、その一環として、保育・幼児教育環境を積極的に向上させるべく、必要な調査・研究・実践を熱意をもって行います。そして、子ども一人ひとりが夢と希望を叶え、未来に向かって光り輝き、自立した生活を営むことができるようになることをめざして、次世代育成のまちづくりに貢献し、「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指してまいります。



I. 事業報告

【法人全体】



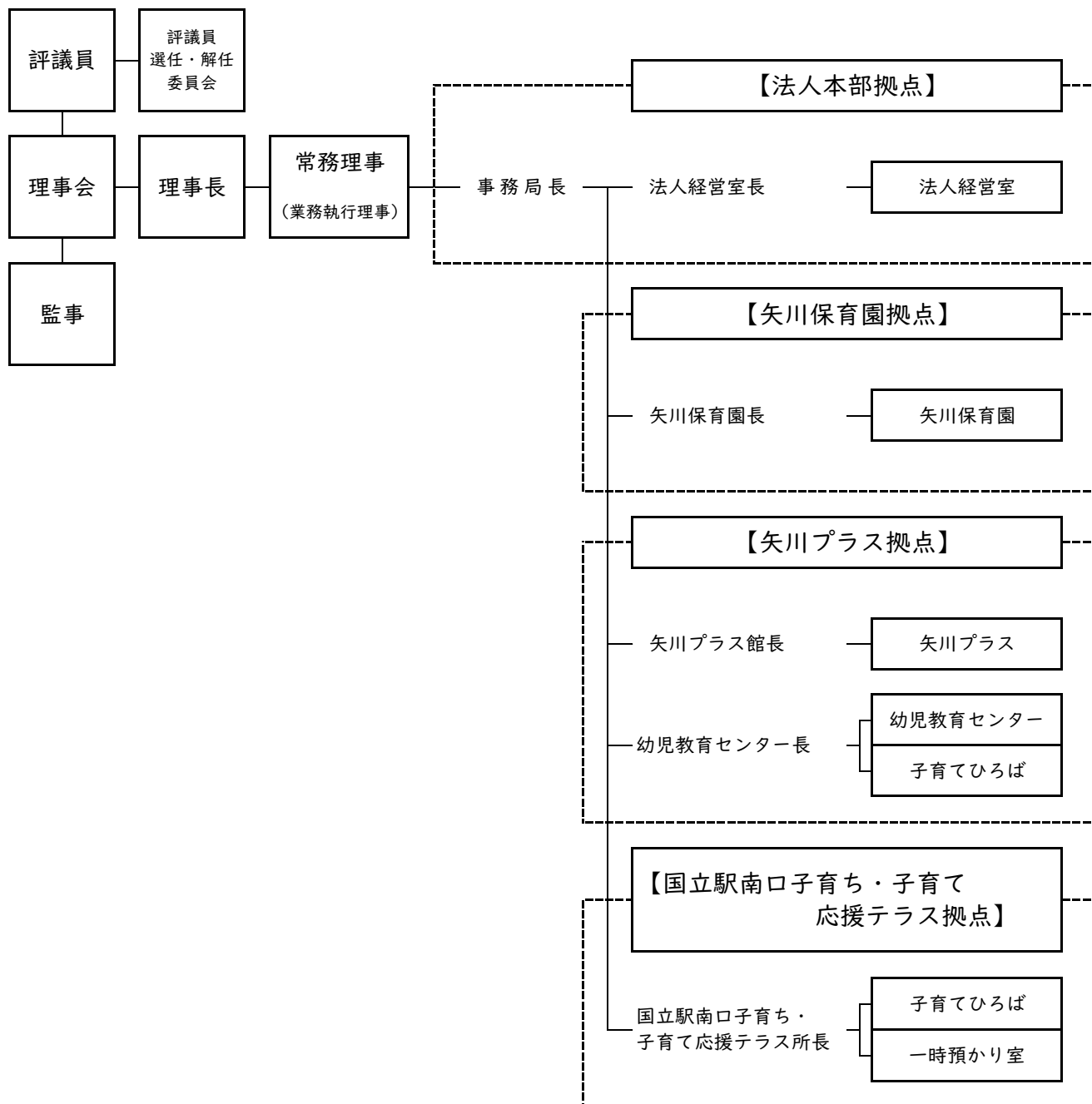
1. 法人概要

法人名称	社会福祉法人 くにたち子どもの夢・未来事業団（法人番号8012805002872）
所在地	東京都国立市富士見台4丁目17番地の65
代表者	理事長 汐見 稔幸
設立日	2019（令和1）年9月2日
評議員数	評議員11名（2025年3月31日現在）
役員数	理事10名 監事2名（2025年3月31日現在）
職員数	73名（2025年3月31日現在）※非常勤職員及び市派遣職員を含む
経営理念	くにたち子どもの夢・未来事業団は、ソーシャル・インクルージョンのまちづくりの理念の下、全ての人々が共に生き、子ども一人ひとりが夢と希望を叶え、未来に向かって光輝き、自立した生活を営むことができるために、乳幼児期からの丁寧な関わりによる育ての保障と子育て家庭の豊かな暮らしにつながる取組を追求します。
基本目標	豊かな子育て環境を創造するため、その源となる自然や地域の文化を重んじ、多世代・多様な主体が関わるような地域社会の活性化とそれと連動した子ども育成活動を充実させるとともに、乳幼児からの保育・幼児教育を充実させ、その質を高めていきます。 この取組をもって、次世代育成のまちづくりに貢献し、「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指していきます。
経営方針	① 事業の実施に当たっては、一人ひとりがかけがえのない存在であると認められ、年齢、性、しょうがい、国籍、その他あらゆる事柄に起因する差別を受けることなく、共に暮らせる環境づくりに取り組みます。（基本原則・平等性） ② 子どもの育成を第一に考え、子育て家庭の声を大切に、支援のニーズを的確に把握し実行します。（信頼性・必要性） ③ 施設運営や子育て関連事業の実施に当たっては、安全・安心を心がけ、信頼される運営に努めます。（信頼性・安全性） ④ 地域の共生という視点に立ち、地域の交流と力を大切にして、日頃から地域に根ざした活動をもって、地域全体で子育て家庭を支援する取組を進めます。（公共性） ⑤ 子育て家庭の生活が豊かになるための取組を進めるに当たっては、創意工夫に心がけ、魅力的かつ創造的な取組を先駆的に進めるよう努めます。（発展性・創造性） ⑥ 職員一人ひとりが生きがいをもち安心して働くことができ、組織全体が活性化し発展できる組織風土を造ります。（発展性・効率性）
沿革	【2019（令和1）年】 ・ 8 月 国立市より社会福祉法人設立認可を受ける ・ 9 月 法人設立（9月2日） 初代理事長に汐見稔幸氏が就任する 【2020（令和2）年】 ・ 4 月 ここすき！ひろば事業を開始（2019年度まで国立市実施事業を継承） 【2021（令和3）年】 ・ 2 月 矢川保育園竣工 ・ 3 月 東京都知事から矢川保育園の児童福祉施設設置認可を受ける ・ 4 月 矢川保育園開園（国立市立保育園民営化に伴うもの） 【2022（令和4）年】 ・ 10月 くにたち未来共創拠点矢川プラスの指定管理者として指定を受ける 【2023（令和5）年】 ・ 4 月 くにたち未来共創拠点矢川プラス開館（指定管理者として施設運営） 【2024（令和6）年】 ・ 11月 国立駅南口子育て・子育て応援テラスの指定管理者として指定を受ける



2. 法人組織

国立駅南口子育て・子育て応援テラスの指定管理者の受託に伴い、2024年12月に組織規程を改正し、新たに国立駅南口子育て・子育て応援テラス拠点を設けました。





3. 職員の状況

(1) 職員の配置状況

事業区分	拠点区分	2024年4月1日職員数				2024年度中増減人数				2025年3月31日職員数				2025年3月末退職・派遣終了				2025年4月1日採用・異動				2025年4月1日職員数								
		合計	正規(事)	正規(市)	嘱託(事)	非常(事)	合計	正規(事)	正規(市)	嘱託(事)	非常(事)	合計	正規(事)	正規(市)	嘱託(事)	非常(事)	合計	正規(事)	正規(市)	嘱託(事)	非常(事)	合計	正規(事)	正規(市)	嘱託(事)	非常(事)				
社会福祉事業	本部	5	2	3			-1		1		5	1	3	1		-1		±0				4	1	2	1					
	拠点合計	5	2	3			-1		1		5	1	3	1		-1					4	1	2	1						
	矢川 保育園	保育士等	33	12	4	8	9				±0	33	12	4	8	9	-2			-2		34	16	2	7	9				
		栄養士	2	1	1							2	1	1			-1			-1		2	2		4	1				
		調理員	4			3	1					4			3	1	-1				2	5								
		看護師	1	1								1	1				-1				1	1	1		2	3				
		用務員	2			2						2			2							2								
		その他	4			4		-1			-1	3			1	3						3								
	事務	2			2		-1				1			1							1									
	拠点合計	48	14	5	15	14	-2		-1	-1	46	14	5	14	13	-5	-1	-3	-1		7	6		1	48	19	2	14	13	
公益事業	保育士等	11			9	2					11			9	2	-1			-1		13	3		±0	10	23	3	8	12	
	専門職	2	2								2	2								1	1				3	3				
	看護師	1			1						1			1		-1			-1		1			1	1		1	8		
	その他																													
	事務	5		2	3						5		2	3							8	1	1		8	8		7	1	3
拠点合計	19	2	2	13	2					19	2	2	13	2	-2			-2		25	5	1		19	42	7	3	11	21	
合 計	保育士等	44	12	4	17	11					44	12	4	17	11	-3			-2	-1	16	7		-1	10	57	19	2	15	21
	栄養士	2	1	1							2	1	1			-1			-1	1	1				2	2				
	調理員	4			3	1					4			3	1	-1			-1	2			2		5		4	1		
	看護師	2	1		1						2	1		1		-1			-1	2	1		1	1	2	1		1		
	用務員	2			2						2			2										2		2				
	専門職	2	2								2	2								1	1				3	3				
	その他	4			4		-1			-1	3				3					8				8	11				11	
	事務	12	2	5	5		-1	-1			11	1	5	5		-1			-1	2	1	1		12	2	5	5			
	3拠点合計	72	18	10	28	16	-2	-1			70	17	10	28	15	-8	-1	-4	-3		32	11	1	1	19	94	27	7	26	34

※矢川プラス拠点には、国立駅南口子育て応援テラス拠点に配属となる職員を含む。

※職員数の欄中、「(事)」は事業団固有職員、「(市)」は国立市派遣職員を表す。

※正規(事)の欄中には、定年退職後の再雇用制度による職員を含む。

※嘱託職員・非常勤職員には、1週当たり勤務時間数に差がある。(例:週8時間勤務、週30時間勤務等)

※職種の「栄養士」には管理栄養士、「看護師」には保健師も含まれる。

※矢川プラス拠点には、国立駒南口子育て・子育て応援クラス拠点に配属となる職員を含む。
※職員数の欄中、「(事)」は事業団固有職員、「(市)」は国立市派遣職員を表す。
※正規(事)の欄中には、定年退職後の再雇用制度による職員を含む。
※嘱託職員・非常勤職員には、1週間当たりの勤務時間数に差異がある。(例:週8時間勤務、週30時間勤務等)
※職種の「栄養士」には管理栄養士、「看護師」には保健師も含まれる。

(2) 国立市職員の受入状況

2019（令和1）年9月の法人設立以来、「公益的法人等への一般職の地方公務員の派遣等に関する法律（以下「法」という。）」及び「公益的法人等への国立市職員の派遣等に関する条例」に基づき、①法人運営にあたる本部職員、②保育士の大幅な入れ替えによる児童への影響を最小限にし、矢川保育園の継続運営にあたる保育園職員、③くにたち未来共創拠点矢川プラスの指定管理業務にあたる事務職員、④2025年7月開業予定の国立駅南口子育て・子育て応援テラスの指定管理業務にあたる事務職員として、下記のとおり国立市から派遣職員を受け入れました。

① 法人本部職員

年	日付	内容	人数	内訳	在籍人数
2019年	9月1日	派遣受入	+2人	事務職+2人	2人
2022年	3月31日	派遣終了	▲1人	事務職▲1人	1人
	4月1日	派遣受入	+1人	事務職+1人	2人
2023年	7月1日	派遣受入	+1人	事務職+1人	3人
2024年	3月31日	派遣終了	▲1人	事務職▲1人	2人
2025年	4月1日	法人内異動	+1人	事務職+1人	3人
	3月31日	普通退職	▲1人	事務職▲1人	2人

② 矢川保育園職員

年	日付	内容	人数	内訳	在籍人数
2021年	4月1日	派遣受入	+15人	保育士+13人 保健師+1人 栄養士+1人	15人
	6月30日	普通退職	▲1人	保育士▲1人	14人
2022年	3月31日	派遣終了	▲3人	保育士▲2人 保健師▲1人	11人
2023年	3月31日	普通退職	▲2人	保育士▲2人	9人
	3月31日	派遣終了	▲2人	保育士▲2人	7人
2024年	3月31日	派遣終了	▲2人	保育士▲2人	5人
2025年	3月31日	派遣終了	▲3人	保育士▲2人 栄養士▲1人	2人

③ 矢川プラス職員

年	日付	内容	人数	内訳	在籍人数
2022年	11月1日	派遣受入	+2人	事務職+2人	2人
2023年	4月1日	派遣受入	+1人	事務職+1人	3人
2024年	4月1日	法人内異動	▲1人	事務職▲1人	2人
2025年	4月1日	派遣受入	+1人	事務職+1人	3人

(3) 職員採用活動の状況（国立市派遣職員を含まず）

2024 年度途中及び 2025 年 4 月 1 日採用の職員採用の状況は以下のとおりです。

① 正規職員採用

拠点区分	職種	採用数
法人本部	事務職	1 人
矢川保育園	保育士	4 人
	栄養士	1 人
	看護師	1 人
くにたち未来共創拠点矢川プラス	ユースワーカー	1 人
くにたち未来共創拠点矢川プラス 国立駅南口子育て・子育て応援テラス	相談援助職	3 人

② 嘱託職員採用

拠点区分	職種	採用数
矢川保育園	調理員	2 人
矢川保育園	事務職	1 人
法人本部	事務職	1 人

③ 非常勤職員採用

拠点区分	職種	採用数
矢川保育園	保育士	1 人
くにたち未来共創拠点矢川プラス 国立駅南口子育て・子育て応援テラス	ひろばスタッフ	19 人

(4) 自主研修助成制度の活用状況

職員が業務時間外に自主的に、①職務に関する知識及び技能の習得が期待できる研修、②当法人の課題及び運営の効率化に関する研修、③その他当法人の定款に定める事業の推進に関して参考となる研修を受講した際の受講料を助成する制度。当法人が業務として参加させる研修を除きます。研修内容が上記に合致する場合、受講する費用を支給します。なお、交通費、入会金、資格審査・認定・更新料は除きます。助成金額は、2 万円を上限として実費金額とし、申請は一人年 1 回まですることができます。

拠点	交付決定件数	交付金額
矢川プラス	3 件	56,500 円
矢川保育園	4 件	37,000 円
合計	7 件	93,500 円



4. 苦情解決の状況

(1) 苦情解決の状況

当法人では、社会福祉法第 82 条に規定されている苦情解決の仕組みとして、「社会福祉法人くにたち子どもの夢・未来事業団苦情解決に関する規程」を定め、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員を配置して取り組んでいます。矢川保育園においては、苦情解決責任者を園長、苦情受付担当者を主任保育士として、理事長から任命しています。苦情解決第三者委員には、厚生労働省通知において例示されている中から評議員 1 名、監事 1 名を充てることとして、理事長から委嘱しています。

また、より中立的に苦情内容を精査するため、国立市オンブズマンと当法人との間で協定を締結し、当法人に対する苦情についても、国立市オンブズマンにおいて調整を行うことが可能となっています。

(2) 苦情処理の状況

① 苦情解決第三者委員

2024(令和 6)年度に、苦情解決第三者委員に寄せられた苦情はありませんでした。

※苦情解決第三者委員…藤澤行男氏(評議員・民生委員), 笠井香奈氏(監事・弁護士)

② 国立市オンブズマン

「国立市総合オンブズマン苦情等処理に関する協定書(令和 3 年 3 月 31 日付)」に基づき、国立市総合オンブズマンに寄せられた当法人に係る苦情はありませんでした。



5. 2024（令和6）年度ハイライト

4月

矢川保育園入園進級式

「えほんのじかん」スタート P67
（市立図書館読み聞かせボランティアとの連携事業）

ノーバディズ・パーフェクトプログラム開講（全6回・前期後期） P61

5月

こどもの日ワークショップ～「世界にひとつのキミだけの絵本」 P52

保育士等キャリアアップ研修 新規講座マネジメント開講 P41

パパ講座「ぱぱラダイス」スタート（毎月1回開催） P58

ここすき！1歳あつまれスタート P68

6月

延べ来館者数40万人突破

7月

ユースワーカー・トークセッション（公民館連携事業） P88

幼保小連携推進研修スタート P46
幼保小の種別を超えた学び合い

ピアファミリー活動の再開 P72

8月

魔改造ワークショップ P95

みんなのデイキャンプ／みんなでコンサート（明星大学連携事業） P105

まちかど絵本棚の設置 P70

9月

10月

延べ来館者数50万人突破

矢川保育園 矢川元気っこデー（2～5歳児）

ハロウィンワークショップ「世界にひとつのヘンテコぼうしをつくろう」 P53

矢川プラス 施設2年点検の実施

11月

矢川保育園 親子ふれあいデー（0～1歳児）

矢川保育園 ひまわりの日（5歳児）

遊びの仕掛人プロジェクト（東京女子体育大学連携事業） P103

国立駅南口子育て・子育て応援テラスの指定管理者の指定を受ける P119

12月

多世代交流将棋企画をリニューアル 「やがわの棋士」スタート P111

矢川プラス音楽の日「能登半島災害復興支援チャリティライブ」 P97
41万1千円を被災地に寄付

矢川プラス音楽の日「クリスマスコンサート」の開催 P98
日頃矢川プラスで活動する団体が出演 交流都市北秋田市の合唱団も

1月

ここすきひろば公式LINEスタート P36

必要な情報を適時にお届け

学校外の子供の多様な学びに関する調査研究事業がスタート（全8回） P34

2月

国立駅南口子育て・子育て応援テラスの指定管理スタート P120

延べ来館者数60万人突破

矢川保育園はたこうしろう先生ワークショップ（5歳児）

3月

矢川保育園卒園式

ボランティア交流会の開催 P73

矢川プラスで活動する様々なボランティアが交流を深める

矢川まつりスプリングフェスタ2025（矢川メルカード商店会主催） P112

体験ワークショップ「特撮の世界へご招待」（円谷プロダクション） P114



6. 2024（令和 6）年度決算概要

※決算の詳細は『2024 年度決算書』を参照ください

（1）資金収支計算書

項目		金額(円)
事業活動収支	事業活動収入計	449,608,825
	児童福祉事業収入	15,115,000
	保育事業収入	260,229,627
	その他の事業収入	172,683,708
	収益事業収入	1,005,979
	借入金利息補助金収入	216,146
	受取利息配当金収入	100,162
	その他の収入	258,203
	事業活動支出計	385,699,242
	人件費支出	286,918,431
	事業費支出	37,999,856
	事務費支出	60,287,963
	支払利息支出	342,692
	その他の支出	150,300
	事業活動資金収支差額	63,909,583
施設整備等収支	施設整備等収入計	0
	施設整備等支出計	8,240,940
	設備資金借入金元金償還支出	5,232,000
	固定資産取得支出	3,008,940
	施設整備等資金収支差額	△ 8,240,940
その他の活動収支	その他の活動収入計	0
		0
	その他の活動支出計	35,899,853
	積立資産支出	32,785,420
	その他の活動による支出	3,114,433
	施設整備等資金収支差額	△ 35,899,853
予備費支出		0
当期資金収支差額計		19,768,790
前期末支払資金残高		60,135,201
当期末支払資金残高		79,903,991

(2) 事業活動計算書

項目		金額(円)
サービス活動増減	サービス活動収益計	449,034,314
	児童福祉事業収益	15,115,000
	保育事業収益	260,229,627
	その他の事業収益	172,683,708
	公益事業収益	1,005,979
	サービス活動費用計	393,700,418
	人件費	288,548,385
	事業費	38,266,908
	事務費	60,278,963
	減価償却費	28,981,430
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 22,375,268
	その他の費用	0
	サービス活動増減差額	55,333,896
サービス活動外増減	サービス活動外収益計	574,511
	借入金利息補助金収益	216,146
	受取利息配当金収益	100,162
	その他のサービス活動外収益	258,203
	サービス活動外費用計	3,023,706
	支払利息	342,692
	その他のサービス活動外費用	2,681,014
	サービス活動外増減差額	△ 2,449,195
経常増減差額		52,884,701
特別増減	特別収益	0
	特別費用	0
当期活動増減差額		52,884,701
前期繰越活動増減差額		40,791,060
当期末繰越活動増減差額		93,675,761
その他の積立金取崩額		0
その他の積立金積立額		31,600,000
次期繰越増減差額		62,075,761

(3) 貸借対照表

資産の部	負債の部
流動資産 1億3087万344円	流動負債 6548万489円
	固定負債 1億449万5450円
固定資産(基本財産) 3億8271万3777円	純資産の部
	基本金 23,900,000円
	国庫補助金等特別積立金 336,587,630円
	その他積立金 64,000,000円
固定資産(その他の固定資産) 1億4295万5209円	次期繰越活動増減差額 6207万5761円
資産の部合計 6億5653万9330円	負債及び純資産の部合計 6億5653万9330円



Ⅱ．拠点別事業報告

【Ⅰ．本部拠点】



1-1.理事会・評議員会等の開催状況

(1) 理事会の開催状況（全4回）

※議案名に「社会福祉法人くにたち子どもの夢・未来事業団」が付くものは記載を省略しています

【第1回】

日時 2024（令和6）年6月5日（水）18:00～19:56

会場 くにたち未来共創拠点矢川プラス1階多目的ルーム

出席者 理事長，理事8名（欠席1名），監事2名，説明員6名

議事 ◆業務執行報告

◆決議事項

- ・第1号議案 2023年度事業報告及び決算の承認について【原案可決】
- ・第2号議案 2024年度役員賠償責任保険の加入契約について【原案可決】
- ・第3号議案 2024年度第1回評議員会招集について【原案可決】

◆報告事項

- ・その他報告

【第2回】

日時 2024（令和6）年7月31日（水）16:00～16:40

会場 オンライン会議室

出席者 理事7名（欠席 理事長，理事2名），監事2名，説明員6名

議事 ◆決議事項

- ・第4号議案 国立駅南口子育て・子育て応援テラスの指定管理者指定申請について【原案可決】

◆報告事項

- ・その他報告

【第3回】

日時 2024（令和6）年12月2日（月）18:00～19:35

会場 くにたち未来共創拠点矢川プラス1階多目的ルーム

出席者 理事長，理事8名（欠席1名），監事2名，説明員6名

議事 ◆業務執行報告

◆決議事項

- ・第5号議案 定款変更案【原案可決】
- ・第6号議案 組織規程の一部改正案【原案可決】
- ・第7号議案 経理規程の一部改正案【原案可決】
- ・第8号議案 国立駅南口子育て・子育て応援テラス指定管理に関する基本協定の締結について【原案可決】
- ・第9号議案 国立駅南口子育て・子育て応援テラス一時預かり事業運営委託公募型プロポーザルの実施について【原案可決】
- ・第10号議案 職員給与規程の一部改正案【原案可決】
- ・第11号議案 短時間勤務職員就業規則の一部改正案【原案可決】

- ・第12号議案 2024（令和6）年度補正予算（第1号）案【原案可決】
- ・第13号議案 2024年度第2回評議員会の招集について【原案可決】
- ◆報告事項
 - ・報告事項Ⅰ 2025（令和7）年度事業計画（素案）について
 - ・その他報告

【第4回】

- 日時 2025（令和7）年3月6日（木）18:00～20:07
- 会場 くにたち未来共創拠点矢川プラス 1階多目的ルーム
- 出席者 理事長，理事8名（欠席1名），監事2名，説明員6名
- 議事 ◆業務執行報告
- ◆決議事項
- ・第14号議案 職員就業規則の一部改正案【原案可決】
 - ・第15号議案 職員給与規程の一部改正案【原案可決】
 - ・第16号議案 短時間勤務職員就業規則の一部改正案【原案可決】
 - ・第17号議案 2025（令和7）年度事業計画案【原案可決】
 - ・第18号議案 2025（令和7）年度当初予算案【原案可決】
 - ・第19号議案 2024（令和6）年度補正予算（第2号）案【原案可決】
 - ・第20号議案 矢川プラス建物総合管理業務委託契約の締結について【原案可決】
 - ・第21号議案 国立駅南口子育て・子育て応援テラス一時預かり事業運営業務委託契約の締結について【原案可決】
 - ・第22号議案 第3回評議員会の開催について【原案可決】
- ◆報告事項
- ・その他報告

（2）評議員会の開催状況（全3回）

※議案名に「社会福祉法人くにたち子どもの夢・未来事業団」が付くものは記載を省略しています

【第1回】

- 日時 2024（令和6）年6月27日（木）18:00～19:30
- 会場 くにたち未来共創拠点矢川プラス 1階多目的ルーム（大・小）
- 出席者 評議員9名（欠席2名）
- 説明員 常務理事，監事2名，事務局6名
- 議事 ◆決議事項
- ・第1号議案 2023年度事業報告及び決算の承認について【原案可決】
- ◆報告事項
- ・その他報告
- ◆意見交換

【第2回】

- 日時 2024（令和6）年12月11日（水）18:00～19:17
- 会場 くにたち未来共創拠点矢川プラス 1階多目的ルーム（大・小）
- 出席者 評議員11名（欠席なし）
- 説明員 常務理事，監事2名，事務局6名

- 議 事 ◆報告事項
- ・報告事項Ⅰ 国立駅南口子育て・子育て応援テラスの取組について
- ◆決議事項
- ・第2号議案 定款変更案【原案可決】
- ◆報告事項
- ・その他報告
- ◆意見交換

【第3回】

- 日 時 2025（令和7）年3月25日（火）18：00～19：35
- 会 場 くにたち未来共創拠点矢川プラス1階多目的ルーム
- 出席者 評議員9名（欠席2名）
- 説明員 常務理事，理事1名，監事2名，事務局6名
- 議 事 ◆報告事項
- ・報告事項Ⅰ 国立駅南口子育て・子育て応援テラスの取組状況について
- ◆決議事項
- ・第3号議案 2025（令和7）年度 事業計画案【原案可決】
 - ・第4号議案 2025（令和7）年度 予算案【原案可決】
- ◆報告事項
- ・その他報告
- ◆意見交換

（3）評議員選任・解任委員会の開催状況

2024（令和6）年度は，評議員選任・解任委員会の開催はありませんでした。

（4）ハラスメント防止対策委員会の開催状況

2024（令和6）年度は，ハラスメント防止対策委員会の開催はありませんでした。



1-2. 監査の実施状況

(1) 内部監査

① 監事決算監査の実施状況

日 時 2024（令和6）年5月24日（金）
場 所 くにたち未来共創拠点矢川プラス1階多目的ルーム
出席者 監 事 2名
説明員 事務局 3名
内 容 2023年度事業及び決算に対する監査
※決算書類の確認，理事会等記録，契約書類，決裁書類等の確認 他
結 果 ◇指摘事項はありませんでした。

(2) 外部監査

① 社会福祉法人実地検査の実施状況

社会福祉法第56条に基づく認可庁（国立市）による法人実地検査については，2024年度対象法人とならず，実地検査はありませんでした。

※直近実施日：2022（令和4）年3月7日（月）

② 保育所施設実地検査の実施状況

児童福祉法第46条に基づく認可庁（東京都）による保育所施設実地検査については，2024年度対象施設とならず，実地検査はありませんでした。

※直近実施日：2021（令和3）年12月8日（水）矢川保育園

③ 補助金に係る実地調査の状況

各種補助金等に係る補助金交付者による検査については，2024年度対象とならず，検査はありませんでした。

※直近実施日：2022（令和4）年9月2日（金）矢川保育園

検査対象：①東京都保育士等キャリアアップ補助金

②東京都保育サービス推進事業補助金



1-3.決算報告及び予算立案の取組

(1) 2023（令和 5）年度決算報告業務

2020（令和 2）年度から導入した財務会計システムを活用して、効率的に決算業務を進めました。また、事業報告書の作成にあたっては、写真等の掲載も行いながら、わかりやすい報告書の作成に努めました。

決算関係書類については、福祉医療機構の電子開示システムに届出するとともに、法人ホームページ上にも公表しております。



WAM-NET 公開ページ ▶

日付（2024 年）		内 容
5 月 24 日（金）	監事監査	2023 年度決算に係る監査
6 月 5 日（水）	第 1 回理事会	2023 年度決算の承認
6 月 27 日（木）	第 1 回評議員会	2023 年度決算の承認
6 月 28 日（金）	登記	財産総額の変更
6 月 28 日（金）	現況報告書の提出	WAM 電子開示システムへ届出
6 月 30 日（日）	ホームページ公開	決算書類をホームページに掲載

(2) 2025（令和 7）年度事業計画及び予算立案業務

2024（令和 6）年度の各事業の進捗及び予算執行状況並びに新規開業となる国立駅南口子育て・子育て応援テラスの事業計画を勘案しながら、2025（令和 7）年度予算編成を行いました。予算編成にあたっては、法人運営及び各種事業実施に対して国、東京都、国立市から補助金を受領している関係上、新規補助金の獲得に向けた準備など国立市と綿密な連携のもと取り組みました。

作成した事業計画及び予算については、3 月開催の理事会及び評議員会において承認の決議を得ました。また、定款の定めにより、国立市長の承認手続きを行い、2025（令和 7）年度事業計画及び予算について承認を得ました。



1-4.法人本部拠点の支出状況

科目	決算額	主な支出内容
人件費支出	15,412,384	
役員報酬	2,566,378	評議員、役員報酬等
職員給料	4,516,263	職員給料
職員賞与	1,578,005	職員賞与
非常勤職員給与支出	569,710	嘱託職員給料及び賞与
退職給付費	45,500	都社協従事者共済掛金事業所負担分
法定福利費	6,136,528	社会保険料及び労働保険料事業所負担分, 国立市派遣職員共済組合費負担分
事業費支出	0	
事務費支出	4,436,503	
福利厚生費	5,592	職員定期健康診断委託料、総合福利厚生事業委託料
旅費交通費	17,408	出張交通費
事務消耗品費	49,990	事務消耗品等購入費
印刷製本費	24,164	封筒印刷
通信運搬費	348,851	郵便料及び光回線利用料、携帯電話料
会議費	29,515	WEB会議システム利用料、理事会等お茶代
手数料	67,810	振込手数料, SPI試験実施手数料
保険料	152,000	役員賠償責任保険料
賃借料	3,398,340	複合機賃借料、会計等システム賃借料、 ファイルサーバー等利用料
租税公課	3,750	収入印紙代
保守料	331,268	複合機保守料、情報ネットワーク保守料
諸会費	1,815	クレジットカード年会費
雑支出	6,000	東京都社会福祉協議会年会費
積立資産支出	11,960	
退職給付引当資産	11,960	都社協従事者共済会退職共済掛金
合計	19,860,847	

Ⅱ．拠点別事業報告

【2.矢川保育園拠点】





2-1. 矢川保育園の概要

種 別	認可保育所							
所 在 地	〒186-0003 東京都国立市富士見台4丁目17番地の64							
電 話	042-575-3177（FAX兼用）							
ホームページ	https://www.kunitachi-j.or.jp/yagawa_hoikuen.html							
開 設 日	2021（令和3）年4月1日 ※国立市からの民間移譲				施 設 の 状 況	敷地面積	1,660.02㎡ うち屋外遊技場823㎡	
特別保育	延長保育事業，障害児保育事業					園舎構造	RC造 一部木造 地上2階	
利用定員	定員人数		108人			内 訳	建築面積	
	内 訳	年齢	クラス名	定員	延床面積		869.09㎡	
		0歳児	ひなぎく	6人	乳児室・ほふく室		95.31㎡	
			1歳児	なでしこ			9人	保育室
		すみれ		9人	遊戯室		150.62㎡	
		2歳児	たんぽぽ	18人			調理室	34.62㎡
		3歳児	ちゅうりっぷ	20人	医務コーナー			3.51㎡
		4歳児	すずらん	22人			乳幼児用トイレ	44.09㎡
		5歳児	ひまわり	24人	その他			314.31㎡
目 的	入所する乳児及び幼児に対し，適正な保育・教育を提供することを目的とする							
基本理念	1. ソーシャル・インクルージョンの理念の下，子どもの最善の利益とかげがえのない生命を守る 2. 子ども一人ひとりが夢と希望を叶え，未来に向かって光り輝き，自立できる子どもを育成する							
基本方針	1. 生涯にわたる人間形成の基礎を担う重要な乳幼児期に人への安心と信頼を育みます 2. 全身を使って楽しく遊び，食事，睡眠，排泄等の快い生活習慣を身につけていきます 3. 自分の体「命」を大切にし，「自分と同じように大切な仲間」と共感できる心を育てます 4. 人との関わりを通して，一人一人が自分の気持ちや考えを十分に表現できる豊かな心を育てます 5. 保護者・家族の生活を支える一役を担い，地域の子育て家庭や保護者を支援していきます							
園 目 標	『みんなで 楽しくあそぼう… 明日も！』 ➤ 人と人とのつながりを通して，自分も他人も認め合い，大切にできるように ➤ 遊びは子どもたちの学びそのもの 探究活動を存分に楽しみ，夢中になって友だちと遊ぶ中で，社会性・自分で考え判断する力・創造する力が培われます。 ➤ 今日の友だちとの楽しさを，明日へつなげていけるように							



2-2. 矢川保育園の運営状況

(1) 開園時間・保育時間

開園日	月曜日～土曜日	
休園日	日曜日，国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日， 年末年始（12月29日～1月3日）	
開園時間	午前7時15分～午後7時15分	
保育時間	標準時間認定	午前7時15分～午後6時15分
	短時間認定	午前8時30分～午後4時30分
延長保育	標準時間認定	午後6時15分～午後7時15分
	短時間認定	午前7時15分～午前8時30分 午後4時30分～午後7時15分

(2) 利用料金

保育料 (利用者負担)	保護者が居住する市町村が定める利用料（市に支払い） ※幼児教育・保育の無償化により下記の者は無償となる 2号認定：全ての児童 3号認定：市民非課税世帯の児童		
延長保育料	標準時間認定	午後6時15分～午後7時15分	【月額】 2,500円 【1回】 500円
	短時間認定	【朝延長】 午前7時15分～午前8時30分	【1回】 500円
		【午後延長】 午後4時30分～午後6時15分	【1回】 500円
		【通常延長】 午後6時15分～午後7時15分	【1回】 500円
給食費	副食費（3～5歳児クラス） ※3～5歳児クラスで，保育所等に在籍する第3子以降のお子さんや市民税の所得税割額が57,700円未満の世帯は，給食費を免除。		【月額】 4,500円

(3) 2024（令和6）年度の主な保育行事の実施状況

保育行事実施一覧

月日	内容
4月1日（月）	入園進級式
4月25日（木）	4月誕生会
5月14日（火）	ひまわり組（5歳児）遠足
5月29日（水）	4歳児遠足（羽村市動物公園）
6月5日（水）	3歳児遠足（武蔵国分寺公園）
6月4日（火）	地域交流
6月10日（火）	夏の遊びの始まり
7月2日（火）	地域交流
7月5日（金）	七夕
7月8日（月）	笹もやし
9月2日（火）	地域交流
9月3日（火）	地域交流事業
10月5日（土）	矢川元気っこデー（2・3・4・5歳児クラス）
10月15日（火）	地域交流
10月16日（水）	5歳児遠足（小金井公園）
10月22日（火）	4歳児遠足（小金井公園）
10月23日（水）	3歳クラス懇談会
10月25日（金）	4歳クラス懇談会
10月29日（火）	2歳懇談会
10月30日（水）	3歳遠足（武蔵国分寺公園）
10月31日（木）	1歳高月齢クラス懇談会
11月2日（土）	親子ふれあいデー（0歳・1歳児クラス）
11月5日（火）	芋ほり（5歳児クラス）
11月6日（水）	1歳低月例クラス懇談会
11月8日（金）	0歳クラス懇談会
11月15日（金）	5歳児クラス懇談会
11月22日（金）	ひまわりの日（5歳）
12月7日（土）	令和4年度卒園児同窓会
12月11日（水）	餅つき
1月28日（火）	多摩青果さんによるリンゴの話
1月29日（水）	和楽器コンサート
2月5日（水）	お話ろうそく会（3歳・4歳）
2月18日（火）	大きくなったお祝い会（3・4・5歳児）・5歳児クラス懇談会
2月21日（金）	2歳児クラス懇談会
2月26日（水）	3歳児クラス懇談会
2月27日（木）	はたこうしろう先生ワークショップ（5歳児クラス）
2月28日（金）	4歳児クラス懇談会
3月4日（火）	5歳お別れ遠足（多摩六都科学館）
3月6日（木）	1歳児クラス合同懇談会
3月8日（土）	入園説明会
3月19日（火）	お別れパーティ
3月22日（土）	卒園式・新年度準備日

(4) 保護者懇親会等の実施状況

① クラス懇談会の実施状況

0歳児	1歳児		2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
ひなぎく	なでしこ	すみれ	たんぽぽ	ちゅうりっぷ	すずらん	ひまわり
5月11日	5月11日	5月11日	5月11日	6月1日	6月1日	6月1日
11月8日	11月6日	10月31日	10月29日	10月23日	10月25日	11月15日
3月4日	3月6日	3月6日	2月21日	2月26日	2月28日	2月18日

(5) 保育実習生の受入

保育の専門理論や知識・技術の習得に励む学生の保育実習については、次世代育成を担う保育士を養成する観点から積極的に受け入れをしました。

依頼元（学校等）	実習期間	人数
東京女子体育短期大学	2024年9月9日～9月24日	1名
帝京大学	2024年9月9日～9月24日	1名
玉川大学	2024年8月1日～8月21日	1名
	2024年8月19日～9月3日	1名
合 計		4名

(6) 学生ボランティアの受入

依頼機関	期間	人数
東京女子体育大学	5月～7月（月1回）	6名
	10月～12月（月1回）	6名

(7) 福祉サービス第三者評価

東京都福祉サービス評価推進機構の定める福祉サービス第三者評価については、東京都キャリアアップ補助金の交付要件にもなっており、3年に1度の受審が求められているものです。2024（令和6）年度に受審し、結果については東京都福祉ナビゲーションのホームページに公表されています。





2-3. 矢川保育園職員研修の状況

(1) 園内研修の実施状況

令和6年度は、「実践を通して学び合う」という視点で、日常保育の中での気づきの共有や、職員の中で学んできたことを全体で共有し合うという様な時間を大切に考えてきました。基本的には、共通認識を深め、保育を語り合い、職員皆で高まり合っていきたいという事、年齢発達にあった保育環境を整備していき保育の質の向上につなげたいという意図も大切に捉え学び合ってきました。

中でも、園庭については、0～5歳児まで108人が在園する園として、子ども達が目を輝かせながら五感を存分に使い遊びこめるような園庭の有り様を継続して学び合いながら考えていきたいと思っています。園庭の有り様については、同じような思いで園庭を改造されている、鳩の森愛の詩瀬谷保育園（横浜）・松枝保育園（八王子）の2園に複数の職員で見学体験に出かけています。

実施日	会場	研修内容	講師
4月1日 (月)	保育園ホール	園内自主研修 衛生管理：具体的な援助の仕方	大花 愛(看護師)
4月3日 (水)	保育園ホール	園内自主研修 食事介助の具体的な方法と配慮について	原田 愛(保育士)
4月9日 (火)	保育園ホール	園内自主研修 保育環境について	岩井久美子(園長)
9月4日 (水)	矢川プラス	園庭の環境について	木村 歩美
10月12日 (土)	矢川プラス	愛着関係の確立と保育環境（人的・物的）	井桁 容子 細田 直哉
11月16日 (土)	保育園ホール	「共に育ちあう」子育て講座	汐見 稔幸

(2) 保育士等キャリアアップ研修の受講状況

研修分野	日時	会場	主催	修了者
乳児保育	9月6日～ 12月20日	矢川プラス	(福)くにたち子どもの夢・未来事業団	2名
幼児教育	5月30日～ 11月25日	矢川プラス	(福)くにたち子どもの夢・未来事業団	1名
障害児保育	12月7日～ 12月21日	矢川プラス	(福)くにたち子どもの夢・未来事業団	1名
保護者支援 子育て支援	8月10日～ 11月4日	矢川プラス	(福)くにたち子どもの夢・未来事業団	1名

(3) 個別研修の受講状況

研修内容	日時	会場	主催（共催）	修了者
リーダーゼミ	全2回	矢川プラス	国立市 (福)くにたち子どもの夢・未来事業団	1名
フレッシュゼミ	全2～3回	矢川プラス	国立市 (福)くにたち子どもの夢・未来事業団	2名
発達支援保育現場実践研修	5月22日～ 7月25日	矢川プラス	国立市 (福)くにたち子どもの夢・未来事業団	10名
幼保小連携推進研修	7月23日～ 12月13日	矢川プラス	国立市 (福)くにたち子どもの夢・未来事業団	2名

(4) 救急救命講習の受講状況

研修名	実施団体	受講日	参加者数
普通救急救命講習	公益財団法人 東京防災救急協会	11月30日	8名



2-4. 矢川保育園の施設維持管理

(1) 電気・ガス・上下水道の使用状況

項目	年度	電気	ガス	上下水道	合計
使用量	2024 年度	48,916kWh	10,196 m ³	3,412 m ³	
	2023 年度	45,492kWh	9,617 m ³	3,096 m ³	
	前年度比	107.5%	106.0%	110.2%	
使用料金	2024 年度	1,965,074 円	1,545,015 円	1,290,451 円	4,800,540 円
	2023 年度	1,658,285 円	1,348,288 円	1,188,432 円	4,195,005 円
	前年度比	118.5%	114.6%	108.6%	114.4%
使用用途		電灯/電源/空調	厨房/空調	厨房/水栓	

※前年度比は、少数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位までとしています。

(2) 保守点検・業務委託

内容	委託業者	実施頻度
エレベーター保守点検業務委託	東芝エレベータ株式会社	毎月
消防設備保守点検業務委託	株式会社千代田防災	年 2 回
非常通報装置保守点検業務委託	テルウェル東日本株式会社	毎月
園舎機械警備業務委託	株式会社全日警	毎月
寝具乾燥業務委託	アースサポート株式会社	毎月
調理室フード清掃業務委託	河合薬業株式会社	年 1 回
廃棄物収集・運搬・処分業務委託	株式会社田邊商店	毎週
害虫防除消毒業務委託	株式会社吉田消毒多摩営業所	年 1 回
園庭整備業務委託	公益社団法人シルバー人材センター	年 1 回
カーテンクリーニング業務委託	キングラン・メディケア株式会社	年 1 回
防火設備定期検査業務委託	ビューロベリタスジャパン株式会社	年 1 回
複合機保守点検業務委託	株式会社大塚商会	毎月
職員採用支援業務委託	株式会社メドレー	1 回

(3) 設備修繕の実施状況

設備内容	実施業者
空気清浄機修繕	シャープマーケティングジャパン株式会社
可動間仕切吊元補強修繕	株式会社カトーコンストラクション
厨房調理機器溶接修繕	株式会社 Peer
給湯器修繕	株式会社ユアテック
厨房調理機器修繕	株式会社フジマック
空調吹出口塗装修繕	株式会社カトーコンストラクション

(4) 賃貸借

内容	委託業者
複合機賃貸借	三菱 HC ビジネスリース株式会社
無線 LAN 機器利用	株式会社大塚商会
保育 ICT システム利用	株式会社コドモン
園児健康診断滅菌器具レンタル	日本ステリ株式会社



2-5.矢川保育園の支出状況

科目	決算額	主な支出内容
人件費支出	196,336,239	
職員給料	58,873,707	職員給料
職員賞与	24,407,828	職員賞与
非常勤職員給与	59,453,334	嘱託職員及び非常勤職員の給料及び賞与
派遣職員費	24,410,999	国立市派遣職員の給料及び賞与に係る負担金
退職給付費	1,918,700	WAM退職者共済負担分
法定福利費	27,271,671	社会保険料及び労働保険料事業所負担分, 国立市派遣職員共済組合費負担分
事業費支出	21,309,873	
給食費	8,965,978	園児に提供する給食の食材費
保健衛生費	504,403	保健衛生物品、園児健診、細菌検査等費用
保育材料費	2,776,369	保育事業用玩具等購入費、園外保育バス借上料等
水道光熱費	4,804,010	矢川保育園園舎に係る電気、ガス、上下水道料金
消耗器具備品費	2,759,095	保育事業用消耗品、備品等
保険料	74,440	賠償責任保険料, レクリエーション保険, 日本スポーツ振興センター災害共済掛金
賃借料	1,289,640	複合機賃借料, 保育支援システム利用料, 無線LAN機器利用料
雑費	135,938	卒園アルバム制作代, 研修講師謝礼品
事務費支出	18,911,914	
福利厚生費	582,061	職員定期健康診断委託料、総合福利厚生事業委託料
職員被服費	337,127	保育園職員貸与被服費用
旅費交通費	30,057	出張旅費、園外保育参加職員交通費
研修研究費	301,250	研修参加費用、研修講師謝礼, 自主研修制度助成金
修繕費	269,170	間仕切修繕, 給湯器修繕, 空気清浄機修理, 厨房調理器具修理
通信運搬費	258,070	電話通話料、光回線通信料
広報費	27,445	保育園案内リーフレット印刷製本代
業務委託費	3,537,138	機械警備委託, ごみ処理委託, 寝具乾燥委託 園庭整備業務委託, 消防設備点検業務委託
手数料	410,440	振込手数料、計量器検査手数料等
土地・建物賃借料	12,066,401	矢川保育園用地賃借料、保育士宿舍借上事業用建物賃借料
租税公課	7,500	収入印紙代
保守料	956,855	複合機保守, エレベーター保守, 学校110番保守等
雑費	128,400	都社協保育部会会費、私立保育園長会会費等
支払利息	342,692	WAM借入金利息
その他の支出	150,300	職員給食利用者徴収金
資金借入金元金償還支出	5,232,000	WAM借入金元金償還
固定資産取得支出	103,730	
器具及び備品取得	103,730	折り畳みテント
積立資産支出	14,549,900	
退職給付引当資産	949,900	都社協従事者共済会退職共済掛金
人件費積立資産	8,000,000	人件費に係る積立
施設整備等積立資産	5,600,000	施設整備・修繕に係る積立
その他の活動による支出	267,052	
過年度修正による損失	267,052	
合計	257,203,700	

Ⅱ．拠点別事業報告

【3.矢川プラス拠点】





3-1.拠点内サービス区分の概要

サービス区分の概要

サービス区分	内 容
幼児教育センター運営事業	くにたち未来共創拠点矢川プラス内の国立市幼児教育センター（こどもラボ）の事業として、下記の各事業を実施しています。 ①市内幼児教育施設との関係性の強化（指定管理事業） ②幼児教育に関する調査・研究事業（指定管理事業） ③啓発・情報発信事業（指定管理事業） ④研修事業（自主事業） ⑤連携事業（自主事業） ⑥発達支援事業（自主事業）
子育てひろば運営事業	多世代がつながり育ちあう環境づくりを進め、相談機能や子育て支援機能を備えるまちに開かれた子育てひろばを運営しています。 ①「ここすきひろば」運営事業（指定管理事業） ②各種子育て相談事業（指定管理事業） ③各種子育て講座事業（指定管理事業）
矢川プラス施設管理運営事業	くにたち未来共創拠点矢川プラスの施設を適正かつ良好な状態に維持管理するとともに、多世代交流や地域の賑わいを創出する事業として、下記の事業を実施しています。 ①施設維持管理事業（指定管理事業） ②広報・情報発信事業（指定管理事業） ③施設活用事業（指定管理事業） ④イベント調整事業（指定管理事業） ⑤地域連携事業（自主事業）



3-2. 幼児教育センター運営事業

(1) 市内幼児教育施設との関係性の強化

保育・幼児教育施設連携事業

事業名称	保育・幼児教育施設連携事業	
担当部署	幼児教育センター	
事業目的	市内幼児教育施設との連携・相談助言・情報提供機能の強化を掲げ、市内の保育・幼児教育現場の実態を把握し、各園の強みと課題を理解するため、市内幼児教育施設を訪問し、困りごとなども聞き取りながら助言を行う保育の質を向上させる事業。	
実施日	5月 9日(木) 西保育園 5月10日(金) バンビ 5月24日(金) パピー 5月31日(金) 北保育園 6月 6日(木) きたひだまり保育園 6月13日(木) ひいふうみ 6月20日(木) あじさい保育園 6月21日(金) 春光保育園 6月27日(木) クムクム保育園 7月 5日(金) こぐまこどものいえ 7月12日(金) あいわ保育園 7月18日(木) 国立あおいとり保育園 7月19日(金) 国立あゆみ保育園 8月 1日(木) なかよし保育園 8月 8日(木) 国立保育園 8月 9日(金) 国立富士見台団地風の子 8月22日(木) つばみ幼稚園 8月29日(木) 国立ふたば幼稚園 8月30日(金) 向陽保育園 9月12日(木) さくらっこ保育園 9月13日(金) 小百合学園 9月19日(木) 東立川幼稚園 9月20日(金) かたばみ幼稚園 9月26日(木) 国立文化幼稚園 9月27日(金) 国立音大付属幼稚園 1月 8日(水) 国立たいよう保育園 1月 9日(木) 和光保育園 1月23日(木) 国立富士見台幼稚園 1月27日(月) 国立ひまわり保育園 2月 3日(月) ママの森幼稚園 2月12日(水) 東保育園 2月19日(水) 矢川保育園	
実施場所	市内保育・幼児教育施設へ訪問して実施	
事業内容	幼児教育センター長が市内の保育・幼児教育施設を訪問し、施設の特徴や日常の様子、施設での困りごとをヒアリングし、各施設が抱える課題に対してアドバイスをしたり、一緒に考えたりする。	
事業成果	訪問した園からは研修のアイデアや保育に関する相談等も寄せられるようになり、保育現場との緊密な連携・協働に向けた関係づくりを着実に進めることができた。	

(2) 幼児教育に関する調査・研究事業

学校外の子供の多様な学びに関する調査研究事業

事業名称	学校外の子供の多様な学びに関する調査研究事業「虹色ラーニングジャーニー」
担当部署	幼児教育センター
事業目的	明星大学と連携し、フリースクールに通う子どもたちが安心して学び合える環境を探り、多様な学びを支えるための調査研究を行う。
実施日	第1回 2025(令和7)年1月18日(土) 10:00~12:00 第2回 2025(令和7)年1月21日(火) 14:00~16:00 第3回 2025(令和7)年1月28日(火) 14:00~16:00 第4回 2025(令和7)年2月13日(木) 14:00~16:00 第5回 2025(令和7)年2月15日(土) 10:00~12:00 第6回 2025(令和7)年2月18日(火) 14:00~16:00 第7回 2025(令和7)年2月27日(木) 14:00~16:00 第8回 2025(令和7)年3月4日(火) 14:00~16:00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム 協力フリースクール(2拠点)
事業内容	◆幹事団体 明星大学(研究代表者 星山麻木氏) 構成団体 社会福祉法人くにたち子どもの夢・未来事業団(細田直哉氏) ◆参加者 フリースクールに通う小学2年生~中学3年生の15名 ◆内容 第1回「にじいろの自分を見つけよう!」 第2回「世界で一つのヘンテコ絵本をつくろう」 第3・4・6回「思考力×コミュニケーション講座」 第5回「ipadでアニメーション制作」 第7回「フリースクールであそぼう!」 第8回「好きなあそび探し」 フリースクールに通う子どもが自身の特性を理解し、様々なワークショップ等に参加する中で、子ども一人ひとりの特性に応じた支援方法を検証した。
事業成果	SP感覚プロファイルでのアセスメントを実施し、ほぼ参加者全員が敏感な感覚を持っていることが、学校のような集団行動を尊重する場における困難さに繋がっているのではないかとという結果が得られた。 全8回の活動では、多様な場所・多様な体験機会を用意し、一人ひとりが過ごしやすい場を選択できる環境を設定した。子ども自らがセーフスペースを創り出す様子も見られ、活動のスペースとの区切りをつけないセーフスペースの重要性も再認識する結果となった。 子どもだけではなく周囲にいる大人も、子どもの得意・不得意を理解し合理的配慮を知っておくことで、個別最適化された環境づくりが一人ひとりの学習や活動に肯定的な影響を与えることが考えられる。「正解」を求めるのではなく、適切な人・物・場などの環境を第一に考えることで、子どもたちの力を引き出す糧となることが明らかになった。

(3) 啓発・情報発信事業

①子育てひろば利用者アンケート分析

事業名称	子育てひろば利用者アンケート分析
担当部署	幼児教育センター
事業目的	ひろば利用者にアンケートを行い、回答を分析することにより、ひろば機能の評価と改善を目指す。分析結果は学会で発表することにより、アンケートで得た知見を広く子育て支援に役立てることを目的とする。
実施日	アンケート実施期間 2024（令和6）年5月～8月
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス ここすきひろば
事業内容	ここすきひろば開設1年を迎え、施設の取り組みや支援に対する評価、施設利用によって親及び子に生じた変化等を把握し、当施設に求められるニーズや保護者の満足度を左右する要因を明らかにし、今後の運営に活かすためにひろばに来場した保護者を対象にアンケート調査を実施した。分析対象者は204名（女性168名、男性36名）。アンケートの回答は、田園調布学園大学の横尾暁子准教授の協力を得て量的に分析すると共に、自由記述の回答については修正版グランデッド・セオリー・アプローチの方法を用いて質的に分析し、現在の子育てひろばに保護者が求めているものを構造的に明らかにした。
事業成果	量的研究の結果、子育てひろばの満足度について「満足」もしくは「ほとんど満足」を選択した保護者は全体の95.5%にのぼった。また、多くの保護者がひろばの利用を通じて、自身や子どもに良い変化があったと感じていることが示された。そして、その全員がその変化をポジティブなものだと回答した。 質的研究では満足度に関しても具体的にどこに満足・不満足を感じたのかを構造的に把握した。その結果、保護者が子育てひろばに求めるものとして、以下の4つの重要な柱が明らかになった。 1. 《いつでも気軽に行けること》 2. 《温かく迎えられ、個人として尊重されること》 3. 《子育てを支えられること》 4. 《安心と夢中が保障された子育て環境》 子育て期の保護者が何を求めているのについて大変有意義な研究結果が得られた。この研究結果をまとめ、以下の通り学会発表を行う予定である。 第72回日本小児保健協会学術集会（令和7（2025）年度） 日時：2025（令和7）年6月27日（金）～29日（日） 「育児・子育て支援」分野のポスター発表 「子育てひろば」の利用を保護者はどのようにとらえているのか？ ー子育てひろば利用者アンケートの分析を手がかりにしてーその1ー ○横尾暁子 細田直哉 大豆生田千夏 「子育てひろば」に保護者は何を求めているのか？ ー子育てひろば利用者アンケートの分析を手がかりにしてーその2ー ○細田直哉 横尾暁子 大豆生田千夏 ○は筆頭研究者

②ここすきひろば公式 LINE アカウント

事業名称	ここすきひろば公式 LINE アカウント
担当部署	子育てひろば
事業目的	ここすきひろばを利用する子育て家庭と継続的につながり、必要な情報を適時に届けることで、子育て・子育てをサポートすることを目的とする。
実施日	2025（令和 7）年 1 月 20 日(月)より運用開始
実施場所	—
事業内容	必要な情報を適時に届けることができるツールとして、LINE 公式アカウントを取得し、「ここすきひろば@くにたち」として令和 7 年 1 月 20 日より運用を開始した。
事業成果	◆登録者数：392 名(令和 7 年 3 月 31 日時点) 運用開始から約 2 ヶ月間、ここすきひろばでの講座情報や、国立駅南口子育て・子育て応援テラスの建設中の様子、特定期間のここすきひろば利用制限情報等の発信を行った。 定員に達していない講座等、直接ここすきひろば利用者に情報を届けることができたことで申込者増加につながった。 今後は、子どもの年齢に応じた子育てコラムの配信や、ここすきひろばの混雑状況等も確認できるように機能を拡大していく。 

(4) 研修事業

① 保育士等キャリアアップ研修事業【乳児保育】

事業名称	キャリアアップ研修（乳児保育）
担当部署	幼児教育センター
事業目的	子どもや子育てを取り巻く環境が変化し、保育施設に求められている役割も多様化・複雑化する中、保育士の高度な専門性が求められている。そのため、職務内容に応じた保育士等の専門性の向上，リーダー的職員の育成を目的とし、「東京都保育士等キャリアアップ研修」の指定を受けて実施している。
実施日	第1回 2024（令和6）年 9月6日（金）14：00～17：00 第2回 2024（令和6）年 10月4日（金）14：00～17：00 第3回 2024（令和6）年 11月1日（金）14：00～17：00 第4回 2024（令和6）年 11月29日（金）14：00～17：00 第5回 2024（令和6）年 12月20日（金）14：00～17：00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム大・小
事業内容	◆講師：玉川大学教育学部 教授 岩田 恵子氏 玉川大学教育学部 講師 上田 よう子氏 ◆募集人数：40名 取り組みたいテーマを設定し、講師による講義・グループワークなどを通し学んだことを園で実践し、成果や課題を持ち寄って学びを深める「往還型研修」で幼児教育について学んだ。
事業成果	◆受講者数 第1回 19名 / 第2回 19名 / 第3回 19名 / 第4回 19名 ◆修了者数：19名 ◆アンケート結果・研修内容 非常に良い 90% / 良い 5% / 普通 5% / やや不満 0% / 不満 0% 受講生より「グループワークや実践が多く、楽しみながら学習できた。」「環境面の工夫は、とても参考になった。」等の感想があった。 乳児期の保育の意義や実践的な知識を深めるだけでなく、ドキュメンテーションを作成することにより、子どもの学びや育ちを共有することを通し、保育の質向上を図る機会となった。  

②保育士等キャリアアップ研修事業【幼児教育】

事業名称	キャリアアップ研修（幼児教育）
担当部署	幼児教育センター
事業目的	子どもや子育てを取り巻く環境が変化し、保育施設に求められている役割も多様化・複雑化する中、保育士の高度な専門性が求められている。そのため、職務内容に応じた保育士等の専門性の向上、リーダー的職員の育成を目的とし、「東京都保育士等キャリアアップ研修」の指定を受けて実施している。
実施日	第1回 2024（令和6）年 5月30日（木） 13:30～17:00 第2回 2024（令和6）年 6月27日（木） 13:00～17:00 第3回 2024（令和6）年 9月30日（月） 13:30～17:00 第4回 2024（令和6）年 11月25日（月） 13:00～17:00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム大・小
事業内容	◆講師 一般社団法人家族・保育デザイン研究所 代表理事 汐見稔幸氏 一般社団法人チャイルドフッドラボ代表 藤原里美氏 白梅学園大学 准教授 宮田まり子氏 くにたち未来共創拠点矢川プラス館長・幼児教育センター長 細田直哉 ◆募集人数：40名 取り組みたいテーマを設定し、講師による講義・グループワークなどを通し学んだことを園で実践し、成果や課題を持ち寄って学びを深める「往還型研修」で幼児教育について学んだ。
事業成果	◆受講者数：第1回 32名/第2回 32名/第3回 32名/第4回 31名 ◆修了者数：31名 ◆アンケート結果・研修内容 非常に良い 67% / 良い 29% / 普通 4% / やや不満 0% / 不満 0% 受講生より「半年間の子どもたちの成長を感じられ、子どものやりたいを大切に思えた」「毎回様々な分野を研究されている先生の話聞くことができて良かった」等の感想があった。 往還型研修を行ったことで、受講生個人だけでなく園での取り組みに反映できた受講生も多かったようで、保育の質向上につながった。  

③保育士等キャリアアップ研修事業【障害児保育】

事業名称	キャリアアップ研修（障害児保育）
担当部署	幼児教育センター
事業目的	子どもや子育てを取り巻く環境が変化し、保育施設に求められている役割も多様化・複雑化する中、保育士の高度な専門性が求められている。そのため、職務内容に応じた保育士等の専門性の向上、リーダー的職員の育成を目的とし、「東京都保育士等キャリアアップ研修」の指定を受けて実施している。
実施日	第1回 2024（令和6）年12月7日（土） 9：30～18：00 第2回 2024（令和6）年12月21日（土） 9：30～18：00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム大・小
事業内容	◆講師：明星大学教育学部 教授 星山麻木氏 ◆募集人数：40名 講師による講義・グループワークだけでなく、音楽ムーブメント体験を行う等の実践を取り入れ、障害児教育について学んだ。
事業成果	◆受講者数：第1回 11名 / 第2回 14名 ◆修了者数：11名 ◆アンケート結果・研修内容 非常に良い 100% / 良い 0% / 普通 0% / やや不満 0% / 不満 0% 受講生より「座学，グループワーク，実践のバランスがよく，子どもたちに必要な支援や環境について理解を深めやすかった」「自分ではどうすることもできないものを特性と理解し，個別最適化の重要性を学べた」等の感想があった。 子どもに対する理解だけではなく，保育者自身の自己理解も深まったこと，実践的な技術や方法を体験的に学んだことにより，専門職としての役割を改めて認識し，より多様な学びを深める機会となった。  

④保育士等キャリアアップ研修事業【保護者支援・子育て支援】

事業名称	キャリアアップ研修（保護者支援・子育て支援）
担当部署	幼児教育センター
事業目的	子どもや子育てを取り巻く環境が変化し、保育施設に求められている役割も多様化・複雑化する中、保育士の高度な専門性が求められている。そのため、職務内容に応じた保育士等の専門性の向上、リーダー的職員の育成を目的とし、「東京都保育士等キャリアアップ研修」の指定を受けて実施している。
実施日	第1回 2024（令和6）年8月10日（土） 10：00～16：00 第2回 2024（令和6）年9月29日（日） 10：00～16：00 第3回 2024（令和6）年11月4日（月） 10：00～16：00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム大・小
事業内容	◆講師：十文字学園女子大学 准教授 亀崎美沙子氏 ◆募集人数：30名 講師による講義・ペアやグループでのワーク・全体での共有を通し、保護者支援・子育て支援について学んだ。
事業成果	◆受講者数：第1回 18名 / 第2回 18名 / 第3回 17名 ◆修了者数：17名 ◆アンケート結果・研修内容 非常に良い 73% / 良い 27% / 普通 0% / やや不満 0% / 不満 0% 受講生より「子どもだけではなく、大人もしっかり支えていけるようになりたいと思った」「自分の悩みや課題を詳しく知ることができた」「現場を想像しながらのグループワークや、園に持ち帰り実際にアクションに移せそうな内容が聞けた」等の感想があった。 保育者の行う子育て支援の必要性和意義、子育て支援の基本原則がわかり、実践上の課題を明確化することができた。また、子育て支援における「適切な行為」と、これに反する「不適切な行為」について理解し、実践の質の向上につなげることができた。さらに、「子ども誰でも通園制度」といった人口減少社会に求められる保育所等の多機能化と意義を改めて問う機会となった。  

⑤保育士等キャリアアップ研修事業【マネジメント】

事業名称	保育士等キャリアアップ研修（マネジメント）
担当部署	幼児教育センター
実施日	第1回 2024（令和6）年 5月 7日（火） 14：00～17：00 第2回 2024（令和6）年 6月 14日（金） 14：00～17：00 第3回 2024（令和6）年 7月 30日（火） 14：00～17：00 第4回 2024（令和6）年 9月 13日（金） 14：00～17：00 第5回 2024（令和6）年 10月 30日（水） 14：00～17：00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム
事業目的	子どもや子育てを取り巻く環境が変化し、保育施設に求められている役割も多様化・複雑化する中、保育士の高度な専門性が求められている。そのため、職務内容に応じた保育士等の専門性の向上、リーダー的職員の育成を目的とし、「東京都保育士等キャリアアップ研修」の指定を受けて実施している。
事業内容	◆講師 玉川大学教育学部 教授 大豆生田 啓友氏 聖心女子大学現代教養学部 教授 高嶋 景子氏 関東学院大学教育学部 准教授 三谷 大紀氏 ◆募集人数：30名 取り組みたいテーマを設定し、講師による講義・グループワークなどを通して学んだことを園で実践し、成果や課題を持ち寄って学びを深める「往還型研修」で幼児教育について学んだ。
事業成果	◆受講者数 第1回 15名 / 第2回 17名 / 第3回 14名 / 第4回 14名 / 第5回 14名 ◆修了者数：14名 ◆アンケート結果(一部抜粋)・研修内容 非常に良い 92% / 良い 0% / 普通 8% / やや不満 0% / 不満 0% 受講生より「子どもへの着眼点が変わり、より保育が楽しくなった」 「往還型研修だったため、学んだ内容を実践し、次の研修の時に講師の先生や他園の先生にアドバイスをもらえたりできたことが、より深い学びにつながった」等の感想があった。職場環境を客観的に捉えることにより、園全体の底上げへとつながる機会となった。



⑥リーダーゼミ

事業名称	リーダーゼミ
担当部署	幼児教育センター
事業目的	国立市の保育・幼児教育のリーダーが、互いの実践や全国の先進的な実践から学び合うことで、「文教都市くにたち」の基礎となる乳幼児期からの保育・教育の質を高め合い、「教育のまち」としての国立市のブランド力のさらなる向上と子育て世代に選ばれるまちの土台づくりを推進する。
実施日	第1回 2024（令和6）年7月18日（木） 13:30～15:30 第2回 2025（令和7）年1月10日（金） 10:00～12:00 第3回 2025（令和7）年1月24日（金） 10:00～12:00
実施場所	第1回 くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム 第2回 RISSHO KID' S きらり岡本 / 鳩の森愛の詩瀬谷保育園
事業内容	普段なかなか相談できない、園長や主任保育士などのリーダー層の職員が互いの夢や悩みからテーマを設定し、講師の助言や他園の見学から学び合い、自園の取り組みに活かすゼミナール形式の研修を実施した。 ◆ファシリテーター 社会福祉法人くにたち子どもの夢・事業団理事長 汐見稔幸氏 くにたち未来共創拠点矢川プラス館長・幼児教育センター長 細田直哉氏 ◆対象者 市内幼稚園及び保育施設等職員のうち園長や主任保育士等リーダーを担う職員
事業成果	◆受講者数：24名 第1回では、リーダーとしての夢や悩みを語りあい、挑戦したいテーマを設定した。第2回では、受講者から挙げられた悩み等をもとに、ファシリテーターが選定した好事例となる他自治体の園2園のうち、各自1園を選択し見学を実施した。 リーダー層の職員ならではの夢や悩みを共有し、園見学を通して自園での取り組みを改めて考える機会となった。  

⑦保育現場実践研修

事業名称	保育現場実践研修
担当部署	幼児教育センター
事業目的	保育現場の課題解決に繋がる方法を実践を通して学び、保育の質の向上を図る。
実施日	第1回 2024（令和6）年5月22日（水）18：30～20：00 第2回 2024（令和6）年6月26日（水）18：30～20：00 第3回 2024（令和6）年7月25日（木）18：30～20：00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム大・小
事業内容	◆講師：チャイルドフードラボ所長 藤原 里美氏 ◆募集人数：50名 子どもたちの多様な発達を捉え、安心して過ごせる環境をつくるための具体的な実践方法を学んだ。
事業成果	◆受講者数：第1回 65名 / 第2回 64名 / 第3回 61名 ◆アンケート結果・研修内容 非常に良い 80% / 良い 19% / 普通 1% / やや不満 0% / 不満 0% 受講生より「藤原先生のお話が現場目線でわかりやすかった。」「すぐに保育の現場で実践できるものばかりであった。」「子どもを1mmも変えないという言葉が心に残った。」等の感想があった。 当初予定していた募集人数を大きく上回り、70名近い申込を受け付け、非常に関心の高い研修となった。子ども理解を深めるだけでなく、根拠に基づいたアセスメントを行った上で子どもたちが安心して過ごす方法を学び、多角的に子どもの発達を捉える機会となった。  

⑧幼稚園及び保育施設等職員研修

事業名称	幼稚園及び保育施設等職員研修
担当部署	幼児教育センター
実施日	第1回 2024（令和6）年11月29日（火） 18:00～20:00 第2回 2025（令和7）年 1月21日（火） 18:00～20:00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム
事業目的	子ども家庭部と連携し、市内の幼稚園・保育園等の職員を対象とした研修を実施することにより、市内全体で学びを深め、幼児教育環境の更なる向上を目指す。
事業内容	【第1回：職場環境向上研修】 ◆講師：明星大学教育学部 教授 星山麻木氏 ◆募集人数：50名 一人ひとりの多様性を理解し、お互いに助け合いながら、働きやすい職場をつくるための方法を学ぶことで、職場環境の向上を目指す。 【第2回：安全管理研修】 ◆講師：保育の安全研究・教育センター 所 真理子氏 ◆募集人数：50名 子どもの成長と発達を知り、子どものケガや事故への危機管理を高めることにより、安心・安全な園運営を目指す。
事業成果	◆受講者数：第1回 34名 / 第2回 43名 ◆第1回アンケート回収件数：26件 受講生より「様々な特性について、自分のクラスや周りの人に当てはめ考えながら、楽しく学ぶことができた」等の感想があった。研修を通して、特性や発達支援についての知見を広げたいといった意見も聞かれた。園単位でのグループディスカッションを通して互いへの理解が深まり、多様性の需要と尊重を問い考える機会となった。 ◆第2回アンケート回収件数：39件 受講生より「グループワークを通して他園での保育方針や対応を聞く事ができ、参考になった」等の感想があった。子どもの安全と発達を支える活動の保証、各園での安全管理意識を高める研修となった。  

⑨国立みんなの大学「子どもの声を聴く」

事業名称	国立みんなの大学「子どもの声を聴く」
担当部署	幼児教育センター
事業目的	「多摩保育研究会」と国立市幼児教育センターの共催により、専門職・保護者・市民といった立場を超えて、地域全体で子どもの育ちを支える機会を創る。
実施日	2025（令和7）年2月22日（土） 15：00～18：00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール
事業内容	◆多摩保育研究会・国立市幼児教育センター共催 ◆ゲスト 国立あおいとり保育園 野橋 タ貴氏（実践発表1） 向陽保育園 甲田 哲也氏（実践発表2） 国立市幼児教育センター所長 細田 直哉氏 ◆参加者 保育園・幼稚園・こども園・小学校の先生方，保育・教育に関心のある方 実践発表を通して，子どもの「言葉を聴く」ことの大切さ，保育者の「ゆらぎ」についてグループ討議を行った。
事業成果	40名が参加した。参加者より，「保育，教育の現場で働く方々の視点，感度に触れることができ，新しい視点をもつことができた。」等の感想があった。また，市内園からの実践発表を通して，「二つの事例を聞くことができ，自分自身の実践に役立つものがあったので取り入れていきたい」等，保育者自身の気づきや考えが深まり，新たな発見を得られたようであった。 従来保育・教育現場において，「やりたい」子どもの中に，「やりたくない」子どもをどのように取り込んでいくかといった取り組みが多くなされていた。今回の実践発表は，「やりたくない」子どもの声を聴くことで集団の場で求められていた枠組みを取り払い，子どもの声に応答しながら新しい環境を創出していく先進的な内容であった。 保育・教育現場の先生方が，インクルーシブ教育における学びのあり方への共通認識を持つことが出来た第一歩となった。

(5) 連携事業

① 幼保小連携推進研修

事業名称	幼保小連携推進研修
担当部署	幼児教育センター
事業目的	子どもの学びと育ちをつなぐため、「主体的、対話的で、深い学び」「個別最適な学びと協働的な学び」に関するチャレンジテーマを各自が設定し、実践事例を持ち寄ることで、子どもの学びと育ちを支える環境を幼保小の種別を超えて専門職同士で学び合う。
実施日	第1回 2024（令和6）年 7月23日（火）14：45～16：45 第2回 2024（令和6）年 9月12日（木）14：45～16：45 第3回 2024（令和6）年12月13日（金）14：30～16：45
実施場所	第1回 国立市立第五小学校体育館 第2・3回 くになち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム
事業内容	取り組みたいチャレンジテーマを各自設定し、実践事例を持ち寄り幼保小の種別を超えて学び合う往還型研修を実施した。 ◆講師：玉川大学教授 大豆生田啓友氏 東海大学准教授 寶来生志子氏 ◆対象者 第1・3回：国立市内幼稚園長，保育園長，認定こども園長， 国立市立小学校長，年長担任，1年生担任 第2回：年長担任，1年生担任
事業成果	◆受講者数：第1回 73名 / 第2回 41名 / 第3回 50名 ◆アンケート結果 受講生より「気づきや学びが深かったので、来年度以降も継続を希望する」「この学びをいかに校内に還元していくかが課題」「情報が共有できたことは非常に有益だった」等の感想があった。 幼保小の種別を超えて往還型研修を行ったことで、お互いの理解に繋がった。  

②ヤクルト教室

事業名称	「ヤクルト教室」 国立市・ヤクルト共同事業
担当部署	子育てひろば
事業目的	西都ヤクルト販売株式会社との共同事業として、子育てひろば利用者および地域の子育てグループを対象にヤクルトとの共同事業を行う。
実施日	第1回 2024（令和6）年 4月12日（金）14：00～14：30 第2回 2024（令和6）年 5月10日（金）14：00～14：30 第3回 2024（令和6）年 6月14日（金）14：00～14：30 第4回 2024（令和6）年 7月26日（金）11：00～12：00 第5回 2024（令和6）年 8月16日（金）11：00～12：00 第6回 2024（令和6）年 9月13日（金）14：00～14：30 第7回 2024（令和6）年10月11日（金）14：00～14：30 第8回 2024（令和6）年12月13日（金）14：00～14：30 第9回 2025（令和7）年 1月10日（金）14：00～14：30 第10回 2025（令和7）年 3月14日（金）14：00～14：30
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ・多目的ルーム・ホール
事業内容	ヤクルトの保育士による幼児向けミニイベント、オンライン工場見学などをヤクルトと矢川プラスが協同して開催し、親子が楽しめる会やものづくりの現場等に、興味や関心をもつ機会を提供する。
事業成果	ヤクルトとの連携を図り年間で135組376名の参加があった。 親子遊びは親子で歌やリズム遊びを楽しみ、ハロウィーンとクリスマスの月にはヤクルトの保育士さんが準備したかぼちゃやサンタなどで部屋を飾り、季節感を組み込んだミニイベントを行った。 オンライン工場見学は128名が参加。オンライン環境が整っておりスムーズに見学できた。本年度よりガチャガチャで景品を当てる企画が始まりこどもだけでなく大人にも好評だった。 おなか元気教室は特別期間であり台風も重なり6組だった。大きな模型を使用するなど分かりやすく体内の仕組みを理解できた。  

(6) 発達支援事業

① 発達サポーター養成講座

事業名称	発達サポーター養成講座基礎 a・b
担当部署	幼児教育センター
事業目的	子どもの発達について学びたいという思いを実現し、地域で活躍するサポーターを養成するとともに、子どもの発達に関する自助グループの創設につなげる。
実施日	第1回 2024（令和6）年 5月11日（土）13:00～15:00/13:30～15:30 第2回 2024（令和6）年 6月15日（土）13:00～15:00/13:30～15:30 第3回 2024（令和6）年 7月20日（土）13:00～15:00/13:30～15:30 第4回 2024（令和6）年 8月24日（土）13:00～15:00/13:30～15:30 第5回 2024（令和6）年 10月19日（土）13:00～15:00/13:30～15:30 第6回 2024（令和6）年 11月30日（土）13:00～15:00/13:30～15:30
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム大・小
事業内容	◆講師：明星大学教育学部 教授 星山 麻木氏 ◆募集人数：各 50 名 発達に関する基礎的な知識を学び、グループワークや意見交換、実践を通して多様な子どもたちの発達について理解を深める。
事業成果	◆受講者数 基礎 a（47 名） 第1回 41 名 / 第2回 42 名 / 第3回 41 名 / 第4回 40 名 / 第5回 38 名 / 第6回 37 名 基礎 b（44 名） 第1回 38 名 / 第2回 38 名 / 第3回 35 名 / 第4回 33 名 / 第5回 36 名 / 第6回 35 名 ◆アンケート結果・研修内容 基礎 a 非常に良い 97%/ 良い 3%/ 普通 0%/ やや不満 0%/ 不満 0% 基礎 b 非常に良い 82%/ 良い 18%/ 普通 0%/ やや不満 0%/ 不満 0% 受講生より「保育・教育の現場に立つ方のお話を聞くことができ、保護者としてありがたかった。」「より理解が深まり、今後の仕事や自分の育児にも生かしていきたい。」等の感想があった。また、参加者より令和7年度以降の受講要望も多く、講座の継続が多く期待されている。  

② 発達サポーター交流会・発達サポーターオープンチャット

事業名称	発達サポーター交流会・発達サポーターオープンチャット
担当部署	幼児教育センター
事業目的	当法人で発達サポーター養成講座を受講した方を対象に、講座終了後も交流する機会を設け、情報交換や近況報告の場を提供するとともに、発達サポーターとして活躍する場や自助グループの創設に繋げていく。
実施日	交流会：2025（令和7）年1月18日（土） 16：00～17：00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム
事業内容	当法人で発達サポーター養成講座を受講した方を対象にオープンチャットを作成し、匿名で日ごろから自由に情報交換等を行うとともに、発達サポーター交流会として、対面での交流の機会を設けた。 発達サポーター交流会進行：明星大学教授 星山 麻木氏
事業成果	発達サポーター交流会には18名が参加した。 会の最初に星山先生より「多様な子どもを支援するうえで大切にしていること」についてお話があり、職域を跨って学びあう発達サポーター講座のような機会の大切さを改めて伝えてくださった。 お菓子を食べながらグループで自由に話す時間もあり、お互いの近況や悩みについて話し、一緒に学んだ者同士の一体感があった。 令和5年度から開始したオープンチャットは、現在59名が登録している。初めは事務局側からの発信が主であったが、支援員の募集案内や関連イベントの案内など、参加者からの情報発信も増加している。  

③音楽ムーブメント

事業名称	クリエイティブ音楽ムーブメント
担当部署	幼児教育センター
事業目的	言語を超えたコミュニケーション手段である音楽やリズムを全身で感じ、自分らしく表現する機会をつくる療育的なプログラムである。矢川プラスの特性を活かした多世代交流型として実践を行う。
実施日	第1回 2024（令和6）年 5月11日（土）10：30～11：15 第2回 2024（令和6）年 6月15日（土）10：00～10：45 第3回 2024（令和6）年 7月20日（土）10：30～11：15 第4回 2024（令和6）年 8月24日（土）10：30～11：15 第5回 2024（令和6）年 10月19日（土）10：30～11：15 第6回 2024（令和6）年 11月30日（土）10：30～11：15 第7回 2025（令和7）年 1月18日（土）15：00～15：45 第8回 2025（令和7）年 2月15日（土）15：00～15：45
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム
事業内容	様々な教具や民族楽器などを使い、音楽やリズムを全身に感じながら自由に身体を動かし表現活動を行う。 ◆講師：明星大学 星山麻木先生 ◆募集人数：15組
事業成果	前年度からのリピーターが多く、初めての親子も繰り返し参加するようになり、家族全員での参加や祖父母等との参加も多く見られた。「最初は子どものためだったが、今は自分が楽しむために参加している」「癒された」という大人も多かった。最初は輪に入れず見ていた子どもが、何度か参加しているうちに自分なりの楽しみ方を見つけて輪に加わり、楽器などの片づけに自発的に参加するようになるなど、音楽を通しての子どもの成長を保護者と共に喜び合うことができた。1月、2月は午後の開催だったためか、年齢層や顔ぶれがいつもと異なり、児童館で遊んでいた小学生の飛び入り参加もあった。教具の準備や片づけを進んで手伝い、小さい子どもに寄り添い手を引いてくれるなど、自然に異年齢の交流ができていた。 ◆参加者数 第1回 54名（19組） / 第5回 43名（18組） 第2回 46名（19組） / 第6回 49名（20組） 第3回 43名（17組） / 第7回 74名（27組） 第4回 50名（22組） / 第8回 51名（17組）

④通所音楽ムーブメント

事業名称	通所音楽ムーブメント 親子レインボーパレット
担当部署	幼児教育センター
事業目的	言語を超えたコミュニケーション手段である音楽やリズムを全身で感じ、自分らしく表現する機会を作る。また、各 10 組の親子が 4 回の通所にすることで、親子の触れ合いや他者に関わる心地良さを体感できる機会の提供。
実施日	第 1 クール 各回①10:00～10:45 / ②11:00～11:45 2024 (令和 6) 年 4 月 16 日 (火), 4 月 30 日 (火), 5 月 7 日 (火), 5 月 21 日 (火) 第 2 クール 各回①10:00～10:45 / ②11:00～11:45 2024 (令和 6) 年 10 月 1 日 (火), 10 月 15 日 (火), 10 月 29 日 (火), 11 月 5 日 (火) 第 3 クール 各回①10:00～10:45 / ②11:00～11:45 2025 (令和 7) 年 1 月 28 日 (火), 2 月 10 日 (月), 2 月 25 日 (火), 3 月 10 日 (月)
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ
事業内容	全身で音楽やリズムを感じながら自分らしく表現活動を行う。表現活動を行うなかで培われる成長を促す。 ◆講師 クリエイティブ音楽ムーブメントセラピスト 楠部さち子氏 吉成総子氏 前田典子氏 小橋朱美氏 ◆対象：①6 ヶ月～1 歳 3 ヶ月 ②1 歳 3 ヶ月～3 歳
事業成果	最初は自ら遊具に触れたり表現出来なかった子どもが、最後には音楽に親しみ、表現する楽しさを感じ取れるような様子が見られた。会を重ねる度に個々であった親子が他者を感じるようになり、子ども達は協力し合う姿が、保護者は我が子だけでなく他児も見守り、声を掛け合う姿が見受けられるようになっていった。 ◆参加人数 第 1 クール ① 9 組 18 名 / 6 組 12 名 / 8 組 16 名 / 7 組 14 名 ② 5 組 11 名 / 5 組 12 名 / 6 組 14 名 / 5 組 11 名 第 2 クール ① 5 組 10 名 / 6 組 12 名 / 5 組 10 名 / 5 組 10 名 ② 8 組 21 名 / 5 組 12 名 / 8 組 21 名 / 7 組 16 名 第 3 クール ① 6 組 13 名 / 6 組 13 名 / 5 組 13 名 / 4 組 8 名 ② 9 組 19 名 / 7 組 14 名 / 6 組 13 名 / 7 組 14 名

⑤ア) こどもの日ワークショップ

事業名称	絵本作家はたこうしろう こどもの日ワークショップ「世界にひとつのキミだけの絵本」
担当部署	幼児教育センター
事業目的	子どもたちの豊かな育ちの推進のため、自由な発想をカタチにする経験を提供する。
実施日	2024（令和6）年5月5日(日) 9:30~11:00 / 11:30~13:00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール・とおり土間・多目的ルーム
事業内容	こどもの日イベントとして、理事でもある絵本作家はたこうしろう先生を講師にお招きし、子どもだけでなく、おとなも1人1冊ずつ自由な発想で世界にひとつの絵本をつくるワークショップを実施した。 ◆募集人数：各回 50 組
事業成果	◆参加者数：第1部 40組 118名 / 第2部 32組 95名 ◆アンケート結果 【イベントの満足度】 大変満足 85% / 満足 13% / 普通 0% / 不満 0% / 大変不満 0% / 無回答 2% 「のびのび自由に作る楽しさが分かった」「子どもが楽しめたらと思い参加したが、おとなも無心になって楽しめた」などの感想が挙げられた。 子どもの新しい一面を見ることができたと話す保護者もいらっしゃり、子どもの自由な発想がおとなにも良い刺激となっていた。   

⑤イ) ハロウィンワークショップ

事業名称	絵本作家はたこうしろう ハロウィンワークショップ「世界にひとつのヘンテコぼうしをつくろう」
担当部署	幼児教育センター
事業目的	子どもたちの豊かな育ちの推進のため、自由な発想をカタチにする経験を提供する。
実施日	2024（令和6）年10月20日（日） 10：00～11：30 / 13：00～14：30
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム・とおり土間
事業内容	ハロウィンのイベントとして、理事でもある絵本作家はたこうしろう先生を講師にお招きし、子どもだけでなく、おとなも1人1つずつ自由な発想で世界にひとつのヘンテコぼうしをつくるワークショップを実施した。 ◆募集人数：各回100名
事業成果	◆参加者数：第1部 25組76名 / 第2部 31組89名 ◆アンケート結果 【イベントの満足度】 大変満足 85% / 満足 15% / 普通 0% / 不満 0% / 大変不満 0% 「うまくいったりいかなかったりドラマがあって楽しかった」「すぐ飽きてしまう5歳児も時間いっぱい楽しんで作れた」「先生にたくさん褒めてもらえて子どもが嬉しそうだった」などの感想が挙げられた。 体調不良等により、当日の欠席者が目立ったが、おとなも子どもも夢中になって取り組む姿があり、定期的な開催を望む声も多かった。   



3-3.子育てひろば運営事業

(1) 子育てひろば「ここすきひろば」運営事業

① 来所者の状況

月	営業 日数	新規 登録者数	利用組数	1日平均 利用組数	内訳（組数）		内訳（年齢）							
					市内	市外	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳/その他	
4月	26	535	2,115	81.3	1,166	949	353	544	354	322	271	243	28	
					55.1%	44.9%	16.7%	25.7%	16.7%	15.2%	12.8%	11.5%	1.3%	
5月	26	518	2,183	84.0	1,222	961	405	539	399	332	214	237	57	
					56.0%	44.0%	18.6%	24.7%	18.3%	15.2%	9.8%	10.9%	2.6%	
6月	26	302	2,242	86.2	1,644	598	451	596	408	271	259	202	55	
					73.3%	26.7%	20.1%	26.6%	18.2%	12.1%	11.6%	9.0%	2.5%	
7月	27	342	2,347	86.9	1,565	782	415	644	408	322	277	217	64	
					66.7%	33.3%	17.7%	27.4%	17.4%	13.7%	11.8%	9.2%	2.7%	
8月	26	298	2,265	87.1	1,639	626	349	605	359	374	289	195	94	
					72.4%	27.6%	15.4%	26.7%	15.8%	16.5%	12.8%	8.6%	4.2%	
9月	26	241	2,601	100.0	2,039	562	442	777	490	336	272	196	88	
					78.4%	21.6%	17.0%	29.9%	18.8%	12.9%	10.5%	7.5%	3.4%	
10月	26	285	2,354	90.5	1,683	671	458	690	435	283	218	174	96	
					71.5%	28.5%	19.5%	29.3%	18.5%	12.0%	9.3%	7.4%	4.1%	
11月	26	219	2,067	79.5	1,465	602	401	624	358	261	185	122	116	
					70.9%	29.1%	19.4%	30.2%	17.3%	12.6%	9.0%	5.9%	5.6%	
12月	24	190	1,993	83.0	1,416	577	351	522	297	346	215	151	111	
					71.0%	29.0%	17.6%	26.2%	14.9%	17.4%	10.8%	7.6%	5.6%	
1月	24	238	2,145	89.4	1,510	635	323	639	341	355	200	139	148	
					70.4%	29.6%	15.1%	29.8%	15.9%	16.6%	9.3%	6.5%	6.9%	
2月	24	198	2,479	103.3	1,799	680	349	762	390	426	245	172	135	
					72.6%	27.4%	14.1%	30.7%	15.7%	17.2%	9.9%	6.9%	5.4%	
3月	27	209	2,409	89.2	1,880	529	311	756	322	395	261	227	137	
					78.0%	22.0%	12.9%	31.4%	13.4%	16.4%	10.8%	9.4%	5.7%	
合計	308	3,575	27,200	1,061	19,028	8,172	4,608	7,698	4,561	4,023	2,906	2,275	1,129	
					70.0%	30.0%	16.9%	28.3%	16.8%	14.8%	10.7%	8.4%	4.2%	



(2) 子育てひろば相談事業

子育て相談

事業名称	子育て相談
担当部署	子育てひろば
事業目的	市内在住の子育て中の保護者を対象とし、日頃の悩みや心配事の相談を受ける。身近な場所での相談窓口となり、必要時専門機関への紹介も行う。
実施日	第1回 2024（令和6）年 4月10日（水）10：00 / 11：00 第2回 2024（令和6）年 5月15日（水）10：00 / 11：00 第3回 2024（令和6）年 6月12日（水）10：00 / 11：00 第4回 2024（令和6）年 7月10日（水）10：00 / 11：00 第5回 2024（令和6）年 8月 7日（水）10：00 / 11：00 第6回 2024（令和6）年 9月 2日（月）10：00 / 11：00 第7回 2024（令和6）年10月 9日（水）10：00 / 11：00 第8回 2024（令和6）年11月13日（水）10：00 / 11：00 第9回 2024（令和6）年12月13日（金）10：00 / 11：00 第10回 2025（令和7）年 1月22日（水）10：00 / 11：00 第11回 2025（令和7）年 2月 5日（水）10：00 / 11：00 第12回 2025（令和7）年 3月14日（金）10：00 / 11：00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ
事業内容	講師：臨床心理士 大豆生田千夏 募集人数：市内在住の子育て中の親子2名組（10時からと11時からの2枠） 子育て中の保護者の相談支援
事業成果	相談内容は、子どもの発達、遊び、性格、生活リズム、食事、癖、子育て方法、親自身の子育てを通じての不安や心配、職場復帰への不安、家族や身近な人との子育てのパートナーシップ等多岐にわたる。身近な場所で日々の育児を振り返る中で、漠然とした不安を整理し、今出来ている事を確認する場となっている。市内の他の専門相談機関とのすみわけを明確に、身近な場での相談窓口であることを徹底し、定期的な継続の相談を受け付けていない。子育て中の保護者に「相談をするのは良いこと」という認識を持ってもらい、困難時に専門相談につながる事への抵抗が低くなることも、子育てひろばでの相談事業の役割として重要視し行っている。7月より希望者には託児を行い、より相談しやすい環境を整えた。 ◆開催回数 全12回 ◆参加者数 第1回 2組 / 第2回 1組 / 第3回 2組 第4回 1組 / 第5回 2組 / 第6回 2組 第7回 2組 / 第8回 2組 / 第9回 2組 第10回 2組 / 第11回 2組 / 第12回 2組

(3) 子育て支援講座

① 栄養士講座

事業名称	子育て講座「栄養士ミニ講座」
担当部署	子育てひろば
事業目的	市内在住で子育て中の保護者を対象に、離乳食についての講話および相談支援の一環としてのプログラム。保健センターで開催されていない離乳食後期～完了期、1歳児の対象が、気軽に離乳食や食事について学び質問できる場を提供する。
実施日	第1回 2024（令和6）年 6月11日（火）10：30～11：30 第2回 2024（令和6）年 8月20日（火）10：30～11：30 第3回 2024（令和6）年 9月25日（水）10：30～11：30 第4回 2024（令和6）年 12月17日（火）10：30～11：30 第5回 2025（令和7）年 2月18日（火）10：30～11：30
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ
事業内容	◆講師 子ども保健・発達支援係管理栄養士：福田侑佳（産休のため10月まで） 管理栄養士：鈴木明子（産休補助にて見学8・10月，実施10・2月） ◆募集人数：市内在住の子育て中の親子10組 ◆内容 離乳食後期から幼児食への移行期についての講話および相談支援。 ・パクパク3回食（第2・4回）：生後7か月を過ぎた子どもと保護者 ・もりもり幼児食（第1・3・5回）：生後11か月を過ぎた子どもと保護者
事業成果	講話で知識を得た後に全体での質疑応答を行う構成で実施。アンケート結果から、他の母親の悩みや不安についてのアドバイスを聞くことで、離乳食完了期までを前向きに捉える機会となったことが分かる。終了後は、母親同士の交流もみられ共感の場として機能していた。この時期の母親のニーズの多くに対応する場所を提供できた。 ◆参加者数 第1回 10組21名/第2回 7組15名/第3回 4組8名/ 第4回 8組17名/第5回 10組20名 ◆講座を知った媒体（複数回答あり） ・矢川プラスの案内（チラシ）：32名 82% ・子育てアプリ ： 5名 13% ・育児相談の電話 ： 1名 2% ・友人から聞いた ： 1名 2% チラシや職員との会話からの参加が8割を超えた。不安等を表出できる場としてひろばが機能し効果的な参加を促していたと言える。

②抱っこひも講座

事業名称	抱っこひも講座
担当部署	子育てひろば
事業目的	子どもに危険がなく，大人の身体にも負担のない正しい抱っこひもの使い方を習得してもらうことを目的とする。また，抱っこひも講座への参加をきっかけに，ここすきひろばの存在を知ってもらい利用に繋げる。
実施日	第1回 2024（令和6）年 4月16日（火）13：30～15：20 第2回 2024（令和6）年 5月24日（金）10：10～12：00 第3回 2024（令和6）年 6月18日（火）13：30～15：20 第4回 2024（令和6）年 7月17日（水）10：10～12：00 第5回 2024（令和6）年 8月20日（火）13：30～15：20 第6回 2024（令和6）年 9月18日（水）10：10～12：00 第7回 2024（令和6）年10月15日（火）13：30～15：20 第8回 2024（令和6）年11月20日（水）10：10～12：00 第9回 2024（令和6）年12月17日（火）13：30～15：20 第10回 2025（令和7）年 1月15日（水）10：10～12：00 第11回 2025（令和7）年 2月19日（水）13：30～15：20 第12回 2025（令和7）年 3月19日（水）10：10～12：00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス ここすきひろばまたはこどもラボ
事業内容	講師からの抱っこひも装着に関する講和，装着状況の確認及びアドバイス，質疑応答など。 ◆開催回数：全12回（同内容） ◆募集人数：各回3組
事業成果	抱っこひもの正しく安全な使用方法を学ぶことで，特に初めての育児をしている保護者にとっては育児の不安軽減に繋がり，また，子どもが安心感を得ることで情緒の安定が図られ，親子の絆の強化につながる。講座をきっかけに初めてひろばを利用する低月齢の親子も多く，他の親子と情報を交換し，共に子育てする仲間として繋がっていくことができる。 ◆開催回数：全12回 ◆参加者数 第1回 3組 / 第2回 4組 / 第3回 3組 / 第4回 7組 / 第5回 7組 / 第6回 4組 / 第7回 4組 / 第8回 4組 / 第9回 8組 / 第10回 6組 / 第11回 8組 / 第12回 5組



③パパ講座「ぱぱラダイス」

事業名称	パパ講座「ぱぱラダイス」
担当部署	子育てひろば
事業目的	①父親の育児知識やスキルの向上をはかる。 ②父親同士がつながりあい、子育ての楽しさを分かち合う。 ③父親がさらに主体的に子育てに向かう。
実施日	第1回 2024（令和6）年 5月18日（土） 第2回 2024（令和6）年 6月18日（土） 第3回 2024（令和6）年 7月13日（土） 第4回 2024（令和6）年 8月10日（土） 第5回 2024（令和6）年 9月15日（土） 第6回 2024（令和6）年10月12日（土） 第7回 2024（令和6）年11月 9日（土） 第8回 2024（令和6）年12月14日（土） 第9回 2025（令和7）年 1月11日（土） 第10回 2025（令和7）年 2月 8日（土） 第11回 2025（令和7）年 3月23日（日） いずれも 10:00～11:30
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス ここすきひろば ＊第11回…城山公園
事業内容	第1回 パパのための抱っこひも講座（理学療法士 大林松乃氏） 第2回、第4回、第6回、第8回 館長講話①②③④ 第3回、第5回、第9回 俺たちの子育てを語ろう①②③ 第7回 誤飲への対処とAEDの使い方（国立市女性消防団団員） 第10回 パパと子どものための防災講座（防災安全課、女性消防団員） 第11回 参加者企画「城山公園 プレーパークで遊ぼう」 ◆定員：8組（第1回）、10組（第2回）、15組（第3回～第11回）
事業成果	リピーターが多く、講座の室内設定で遊ぶのを楽しみに来てくれる子どももいた。また父親同士でお互いの子どもの成長を語り合う様子も見られた。参加者同士のLINEグループが形成され随時新規参入もあって、地域情報なども共有していたそうである。 ◆参加者数 第1回 7組17名 / 第2回 11組23名 / 第3回 12組27名 / 第4回 12組25名 / 第5回 9組20名 / 第6回 9組11名 / 第7回 9組21名 / 第8回 10組26名 / 第9回 5組11名 / 第10回 9組21名 / 第11回 8組23名 ◆アンケート結果（回答数71、5段階評価） ・参加によって育児知識やスキルが向上した…4.25 ・父親同士で交流できた…3.52 ・これからも当講座に参加したい…4.73   

④ベビトレヨガ

事業名称	子育て講座「ベビトレヨガ」
担当部署	矢川プラス 子育てひろば
事業目的	ベビトレヨガを通し、乳児と触れ合いながら産後のお母さんが身体をほぐしてリフレッシュし、新たな気持ちで日々の育児に向かえるよう支援する。また、妊娠中は赤ちゃんの重みで反り腰になっているが、出産と共に授乳やお世話で前かがみになり、肩凝りや巻き肩になりがちであるが、ベビトレヨガで身体の歪みを整えていく。
実施日	2024（令和6）年9月17日（火）10：30～11：30
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ
事業内容	動作40分（参加者が子どもを膝に乗せ、歌に合わせてふれあい遊びを行ったり、スカーフを使って体を動かしたりしながら、親子のスキンシップを育む。）、クールダウン20分（おかえりの会）
事業成果	子どもの対象を8か月から12か月までの未就園児と限定して募集した。月齢を絞ることで、親子で行う動きの設定が行いやすいという利点があった。募集開始3日程度で定員に達するなど、市民（特に母親）の関心が高いことが窺える。講師の歌声やリズムに合わせて親子のスキンシップを図ることができる内容に、アンケートにも「子どもと体を使って遊べるやり方を教えてもらえてよかった。」「ひざに乗せて歌で遊べるのが楽しく、一緒にできて参考になりました。」とあり、参加者の満足度は高かった。 ◆参加者数：6組12名 ◆アンケート結果：満足100%  

⑤産後ママケア講座

事業名称	子育て講座「産後ママのための骨盤ケア」
担当部署	子育てひろば
事業目的	妊娠および出産で大きく変化する女性の身体（骨盤底筋への影響等）について知り、自身の身体について学ぶことを目的とする。実技を通して弱った身体の回復とメンテナンスを行うとともに、自分の身体の整え方や生活の仕方について学ぶ。また、子育て中の母親たちの出会いの場として交流を図り、ここすきひろばを知ってもらい利用につなげていく。
実施日	2024（令和6）年11月20日（火）14:00～15:30
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス ここすきひろば
事業内容	スマホで自分の背部・横向きを講座の前後に撮影し、骨盤ケア前後の姿勢の違いを実感してケアモチベーションとなる説明を行う。その際、産後に緩みやすい骨盤底筋群など筋肉や内臓の場所を、布製の模型を肩から掛けて説明を行い、視覚的な理解を促しながらストレッチなどを実践した。
事業成果	講義とストレッチなどの実践は全体と個別対応を混ぜてスケジュール通りに進んだ。講座終了後に残って質問した参加者が多く、疑問や不安を解消して帰宅することができた様子。アンケート結果も満足度が高く、木出来である身体の整え方や生活の仕方について学ぶことができたと考える。 ◆参加者数：9組17名（体調不良等での欠席5組、無断欠席1組） ◆アンケート結果 【講座・実践の感想】（集計8名） 不満0名/やや不満0名/どちらともいえない0名/まあまあ満足2名/満足7名 【講座の感想】（集計8名） 不満0名/やや不満0名/どちらともいえない1名/まあまあ満足2名/満足6名 ◆参加者の声や当日の様子等 【講座について】 ・骨盤ケアは産後に限らない ・骨盤底筋群は、産後だけでなく、一生鍛えた方が良い 【実践について】 ・一人ひとり見て頂き、ポイントを教えて頂けたのがとても良かった ・分りやすかった。身体を動かして気持ち良かった ・家でやろうと思えた ・力の入れ方が分りやすかった ・意識することが分かったので、日常生活で気をつけることを直接学べた 【講座全体について】 ・一人ひとり指導していただいて、より理解が深まった ・子どもを見てもらって集中できた ・赤ちゃん連れて1.5h対応しながらの受講は、現実的にまだ難しかった

⑥ノーバディズ・パーフェクト（NP）プログラム

事業名称	ノーバディズ・パーフェクト（NP）プログラム
担当部署	幼児教育センター
事業目的	福祉の先進国カナダで生まれた子育て支援プログラム。参加者がお互いの体験や困りごとを話し合うことによって、孤独感を軽減する。子育てのスキルを高め、自身の長所や能力に気づくことによって自信をつけていくことを目的としている。プログラム終了後も参加者同士が子育て仲間としてつながり、地域の中で力を発揮する人材となることが期待できる。
実施日	【前期】 2024（令和6）年4月17・24日（水）、5月8・15・22・29日（水） 【後期】 2024（令和6）年10月23・30日（水）、11月8・15・22・29日（金） 全て10：00～12：00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム・こどもラボ（保育）
事業内容	本講座初参加の未就学児の保護者を対象とし、保育を必要とする参加者には別室にて保育を行い（無料）、子どもから離れて大人だけでじっくり話し合う経験を重ねる。安心して話せる場とするために皆で決めた「決まり事」に従い、日頃の困りごとや関心事を出し合い、話し合う事柄も皆で話し合って決める。ファシリテーターは対等な参加者の一人としてスムーズに進行するよう手助けをする。必要に応じて、からだ・安全・こころ・行動・親・父親の6冊のテキストを用い、経験学習サイクルのワーク等を通して困り事を自力で解決する力を引き出す。 ◆開催回数：各6回連続講座 ◆募集人数：10組（申込先着順）
事業成果	今年度が初めての講座開催。また参加者の多くが初対面だったが、回を重ねるごとに話すことの楽しさやその必要性を実感していく様子が、発言や振り返りの記述内容から伺えた。他の人の悩みを聞いたり、自分の話を真剣に聞いてもらううちに、悩んでいるのは自分だけではないと気づき、表情が明るくなっていった。考え方や行動の変化の報告も多く、後半の回ではかなり個人的な話題が上ることもあった。プログラム終了後も定期的に集まるなど、子育て仲間としての信頼と強い繋がりができた。参加に至らずとも興味を持つひろば利用者も多かった。今後の参加に期待したい。 ◆参加者数：【前期】 7組（保育利用7名） 【後期】 9組（保育利用8名） ※保育の枠がうまったため、定員に達する前に締め切った。

⑦FS プログラム

事業名称	赤ちゃんを創る私の家族～はじめの一步～ FS プログラム
担当部署	幼児教育センター
事業目的	FS には FamilyStart, FirstStep, FamilySupport の意味が込められている。カナダの「ノーバディズ・パーフェクト (NP) プログラム」の理念と手法のもと、外出が難しく孤立した子育てになりやすい生後 2～5 か月の第 1 子の親子を対象とし、初めての赤ちゃんを迎えた親が新しい家族の形を創っていく“はじめの一步”を支える。長期的には子育てを通して地域の家族がつながり、地域の子育て環境が豊かになることを目的とする。
実施日	【1 期】2024 (令和 6) 年 6 月 7・14・21・28 日 (金) 【2 期】2024 (令和 6) 年 9 月 6・13・20・27 日 (金) 【3 期】2024 (令和 6) 年 11 月 27 日、12 月 4・11・18 日 (水) 【4 期】2025 (令和 7) 年 2 月 12・19・26 日、3 月 26 日※ (水) ※悪天候のため 3 月 5 日より延期。 全て 10:00～11:30
実施場所	くになち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ
事業内容	親主導の参加型プログラム。ファシリテーターは親から出されたニーズを尊重し、また毎回の振り返りの際に出た意見などを柔軟に反映させて次回の話し合いのテーマを設定する。NP のテキストに依拠した親用テキストを用い、この時期の赤ちゃんとの遊びや接し方などを他の参加者とともに学び合いながら、初めての子育てへの不安を解消し、同じ地域に住む子育て仲間としての支え合いの関係を築く。 ◆対象：市内在住の生後 2～5 か月までの第 1 子の赤ちゃんとも母親 1 期：2023 (令和 5) 年 12 月 8 日～2024 (令和 6) 年 4 月 7 日生まれ 2 期：2024 (令和 6) 年 4 月 8 日～7 月 6 日生まれ 3 期：2024 (令和 6) 年 7 月 7 日～9 月 27 日生まれ 4 期：2024 (令和 6) 年 9 月 28 日～12 月 12 日生まれ ◆講師：大豆生田千夏氏 (FS プログラムファシリテーター) ◆開催回数：各 4 回連続講座 ◆募集人数：10 組 (申込先着順)
事業成果	今年度が初めての講座開催。この講座への参加が我が子と 2 人だけでの初めての外出だという親子がほぼ毎期おり、初回は皆かなり緊張した表情だったが、話し始めると話題が尽きない様子で、わらべうたを歌うコミュニケーションタイムでは我が子と楽しそうに遊び、子の緊張も緩んでいった。参加人数は少なめではあったが、他の人の悩みを聞き、自分の話を真剣に聞いてもらう経験を重ねることで、プログラム終了後も同じ曜日にひろばに集まるなど、子育て仲間としての信頼と強い繋がりができた。 ◆参加者数：【1 期】5 組 10 名 【2 期】7 組 14 名 【3 期】5 組 10 名 【4 期】5 組 10 名

(4) その他子育て支援事業

① 月齢グループの会

事業名	月齢グループの会
担当部署	子育てひろばここすき
事業目的	市内在住の同じ月齢の子どもを持つ保護者を対象に、子育てのグループ育成と活動を支援し、孤立防止を図る
実施日	第1回 2024（令和6）年 4月 9日（火）10：30～11：30 第2回 2024（令和6）年 5月 14日（火）10：30～11：30 第3回 2024（令和6）年 6月 4日（火）10：30～11：30 第4回 2024（令和6）年 7月 9日（火）10：30～11：30 第5回 2024（令和6）年 8月 6日（火）10：30～11：30 第6回 2024（令和6）年 9月 10日（火）10：30～11：30 第7回 2024（令和6）年 10月 8日（火）10：30～11：30 第8回 2024（令和6）年 11月 12日（火）10：30～11：30 第9回 2024（令和6）年 12月 10日（火）10：30～11：30 第10回 2025（令和7）年 1月 14日（火）10：30～11：30 第11回 2025（令和7）年 2月 4日（火）10：30～11：30 第12回 2025（令和7）年 3月 11日（火）10：30～11：30
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ
事業内容	該当年月生まれの子を持つ対象者に、3～4 か月児健康診査の際、「月齢グループの会へのお誘い」のチラシを矢川プラスの資料とともに配布した。（月平均 40 組配布）それと同時に子育てひろばでのチラシ配架、掲示も行った。当日は参加者に親睦を深めてもらうほか、今後のグループ活動について、保護者が主体的に活動するグループであることを伝え、コミュニティ施設や矢川プラス貸施設利用の際の減免団体登録申請を行い活用するよう勧めた。また、同じ月齢以外の親子と交流を図れる場、月齢スピンオフ（隔月開催）や同日開催のプレパパプレママ交流会の告知を行った。
事業成果	参加した親子から「同じ月齢を持つ親との出会いを探していた」「子育ての仲間が欲しかった」との声が多くあり、会では積極的に交流を図る姿が見られた。また、初めてひろばを訪れた参加者も多数おり、今後のひろばでの他親子との交流が期待される。当日欠席した親子や、引っ越し等で途中からの参加を希望する親子には個別で対応をし、繋げた。 ◆参加者数 第1回 11 月生まれ 7 組 / 第2回 12 月生まれ 11 組 第3回 1 月生まれ 8 組 / 第4回 2 月生まれ 10 組 第5回 3 月生まれ 9 組 / 第6回 4 月生まれ 12 組 第7回 5 月生まれ 11 組 / 第8回 6 月生まれ 14 組 第9回 7 月生まれ 10 組 / 第10回 8 月生まれ 6 組 第11回 9 月生まれ 7 組 / 第12回 10 月生まれ 8 組

②ふたご交流会

事業名称	ふたご交流会
担当部署	矢川プラス 子育てひろば
事業目的	多胎児ならではの悩みや不安、喜びを共有することで、孤独感を減らしたり、気分転換をはかるとともに、子育てについての情報を交換し合い、地域の中で支え合いながら、前向きに育児へ向かうための交流の場とする。
実施日	第1回 2024（令和6）年 4月26日（金）13：30～14：30 第2回 2024（令和6）年 6月19日（水）10：30～11：30 第3回 2024（令和6）年 9月24日（火）10：30～11：30 第4回 2024（令和6）年11月26日（火）10：30～11：30 第5回 2025（令和7）年 1月24日（金）10：30～11：30 第6回 2025（令和7）年 3月28日（金）10：30～11：30
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ
事業内容	多胎児を持つ保護者たちが集まり、子どもを遊ばせながら日頃感じている悩みや情報を共有できる交流会とする。多胎妊婦にも声をかけることで、出産後の様子を身近に感じ、不安が軽くなるような機会とする。 ◆開催回数：全6回（同内容） ◆募集方法：申込不要、リピーターにはグループLINEで事前告知
事業成果	今年度は対象を国立市在住の親子に限定したが、昨年度の市外の参加者は皆保育園等に入園しており、影響はなかったと思われる。また初参加の際には、ほぼ全員が連絡先を交換し合っており、グループラインに登録している30組を超える先輩保護者に育児について相談する様子も見られた。子の体調不良などが続き、なかなか交流会に参加できないという人もいたが「つながっているだけで安心」と話していた。毎回の参加者は多くはなかったが、親も子もじっくり話したり遊びに集中することができ、満足度は高かった。自発的に子供服などを持参し譲り合ったり、仕事が休みの先輩ママが1人で参加するなど自然な縦の繋がりが出来つつあった。 ◆参加者数 第1回 2組4名 / 第2回 3組7名（内妊婦1） / 第3回 4組13名 / 第4回 2組6名 / 第5回 3組7名（内妊婦1） / 第6回 1組3名

③プレママプレパパひろば

事業名称	プレママプレパパひろば
担当部署	子育てひろば
事業目的	周産期は、心身や生活環境の変化が大きく、孤独を感じやすい時期である。「切れ目ない支援」の重要性が指摘される中、ここすきひろばにおいても、産後のスムーズな利用につなげるための取り組みが必要である。初めての来所時には緊張や不安を感じる方が多いため、産前から利用することで、気軽に足を運べるようにすることが目的である。月齢グループのスピノフ会との合流により先輩家庭と繋がり、交流し情報を得る機会とする。
実施日	第1回 2024（令和6）年 6月25日（火）14：00～15：30 第2回 2024（令和6）年 8月21日（水）14：00～15：30 第3回 2024（令和6）年10月25日（金）14：00～15：30 第4回 2024（令和6）年12月20日（金）14：00～15：30 第5回 2025（令和7）年 2月25日（火）14：00～15：30
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ
事業内容	矢川プラスを知る。 参加者や先輩ママと交流し、出産やその後の情報を得たり、赤ちゃんとの生活をイメージしたりする。 産後のサポート情報を知り、すぐに利用できるように育児支援サポートの登録をする。 ◆開催回数：全5回（同内容） ◆募集対象：初産婦とそのパートナー
事業成果	参加者は、会終了後食事に行くなど交流を深め、産後には赤ちゃんを連れて一緒にひろばを利用するなど、子育て仲間となり支え合っていた。 出産後ひろばの利用だけでなく、産後間もなく始まるプログラム（FS・抱っこひも講座など）の参加が多く、参加者に情報が行き届いていることがわかる。また、自身が参加し参考になったので今度は伝える立場になればと先輩ママとしての参加も多かった。 育児軽減のサポートなどの手助けの利用を身近に感じている方が多く、実際に上手に利用していた。 ◆参加者数 第1回 3名 / 第2回 4名 / 第3回 4名 / 第4回 0名 / 第5回 9名  

④ほっとひろば

事業名称	ほっとひろば
担当部署	子育てひろば
事業目的	一人ひとりが好きな遊びを思いっきりできる場の提供。そのお子さんの様子を保護者と見守りながら、子ども一人ひとりの強みを一緒に見つけ、参加者同士も安心して交流できる場とする。また、今後もひろばで子育てを応援するスタッフとの関係性を築く。
実施日	第1回 2024（令和6）年 9月 4日（水）10：00～11：30 第2回 2024（令和6）年10月11日（金）10：00～11：30 第3回 2024（令和6）年11月11日（月）10：00～11：30 第4回 2024（令和6）年12月 6日（金）10：00～11：30 第5回 2025（令和7）年 1月10日（金）10：00～11：30 第6回 2025（令和7）年 2月 7日（金）10：00～11：30 第7回 2025（令和7）年 3月 3日（月）10：00～11：30
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ
事業内容	好きな遊びをし、その様子を見ながら保護者同士情報交換。 ひとりでじっくり遊びたいお子さんにとことん付き合い、友だちと遊ぶ楽しさも経験する。 ◆開催回数：全7回
事業成果	切り替えが苦手なお子さんや、気になった物を次々と手にし、ひろばでは他のお子さんの迷惑となってしまうと、ひろばの利用を控えていた保護者の方も、じっくり遊び込むことが出来、職員も付き合える場となり、お子さんの強みを保護者と一緒に見つけることができた。 ほっとひろばで職員とより深まった信頼関係を、ひろばに繋げることが出来た。 ◆参加者数：第1回 4名/第2回 6名/第3回 7名/第4回 4名/ 第5回 5名/第6回 3名/第7回 1名  

⑤えほんのじかん

事業名称	えほんのじかん
担当部署	子育てひろば
事業目的	ここすきひろば利用者を対象に、国立市立図書館の読み聞かせボランティアによる乳幼児向けの読み聞かせを行い、親子で読み聞かせやふれあい遊びを楽しむ。
実施日	第1回 2024（令和6）年 4月17日（水）11:00～11:30 第2回 2024（令和6）年 5月15日（水）11:00～11:30 第3回 2024（令和6）年 6月19日（水）11:00～11:30 第4回 2024（令和6）年 7月17日（水）11:00～11:30 第5回 2024（令和6）年 8月21日（水）11:00～11:30 第6回 2024（令和6）年 9月18日（水）11:00～11:30 第7回 2024（令和6）年10月16日（水）11:00～11:30 第8回 2024（令和6）年11月20日（水）11:00～11:30 第9回 2024（令和6）年12月18日（水）11:00～11:30 第10回 2025（令和7）年 1月15日（水）11:00～11:30 第11回 2025（令和7）年 2月19日（水）11:00～11:30 第12回 2025（令和7）年 3月19日（水）11:00～11:30
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス ここすきひろば
事業内容	ここすきひろばのベビーコーナーにて、絵本二冊と大型絵本一冊を読み聞かせし、合間にわらべうたで親子のふれあい遊びを取り入れる。 読んだ絵本は、ベビーコーナーに配架し紹介する。
事業成果	えほんのじかんは毎回人気があり、大人数の親子が参加してくださり、リピーターやえほんのじかに合わせて来館される親子が多い。また、図書館ボランティアさんは熟練度が高くプログラム構成も安定していて、来館者の信頼やリピーターにつながっている。 ◆参加者数 第1回 15組 / 第2回 11組 / 第3回 13組 / 第4回 15組 / 第5回 7組 / 第6回 23組 / 第7回 9組 / 第8回 21組 / 第9回 11組 / 第10回 13組 / 第11回 21組 / 第12回 11組  

⑥ここすき！1歳あつまれ

事業名称	ここすき！1歳あつまれ
担当部署	子育てひろば
事業目的	令和5年度まで開催していた通所事業「ここすき！」を引き継ぎ、より多くの市民の方を対象として家庭で保育している1歳児の子どもとその保護者の乳幼児期からの子育て・子育てを応援することを目的とする。市内在住の1歳児親子を対象として、同年齢の親子の交流の場を提供すると共にスタッフも介入し子育て情報の交換や悩みの共有など子育て支援につなげていく。
実施日	第1回 2024（令和6）年5月20日（月） 第6回 2024（令和6）年11月25日（月） 第2回 2024（令和6）年6月17日（月） 第7回 2024（令和6）年12月16日（月） 第3回 2024（令和6）年7月22日（月） 第8回 2025（令和7）年1月20日（月） 第4回 2024（令和6）年9月9日（月） 第9回 2025（令和7）年2月17日（月） 第5回 2024（令和6）年10月21日（月） 第10回 2025（令和7）年3月17日（月） ◆第1回、第2回：各日 ①9:30～10:30 ②10:50～11:50 ◆第3回～第10回：各日 10:00～11:50
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ
事業内容	同年代の子どもたちが共に同じ場に集い他者との関わりの中での体験や経験を通じて、非認知スキルの向上等、子どもの健やかな成長を促す。また、子どもたちの遊びの場を通して、子どもの発達について保護者が理解を深め、子どもたちの可能性を引き出し、伸ばすことができるような関わり方を保護者の方と一緒に見つけていく。本事業への参加をきっかけにしてここすきひろばの利用につなげ、1歳児親子同士の繋がりづくりを支援する。
事業成果	5、6月は人数予測がつかないことから各1時間の2部制申込の形式をとった。7月以降は参加者の要望に応え、申込不要1時間半の形式とし親同士で話をする時間も増え子どももゆったりと遊べるようになった。参加者にはイヤイヤ期など成長の著しい1歳児に安心して過ごせるよう、館長監修の「1歳のまなざし」を初回利用時に配布した。また毎月その月のレシピとして、1歳児向けのわらべ歌や絵本、遊びや料理のレシピの紹介を紙面として配布し、内容は参加者の意見を聞きながら活用できるように市内のイベント情報も取り入れるなど都度改良を重ねた。ひろば利用者が多くひろばデビューの方はいなかったが、年間通して46組の参加があり、同年齢で集まる小さいプログラムで子の見守りもしやすく様々な環境設定に親子共に楽しみ、安心感を持って参加できるとほぼ毎回参加の方もいた。 ◆参加者数 第1回①9組 ②11組 / 第2回 ①9組 ②10組 / 第3回 13組 / 第4回 17組 / 第5回 7組 / 第6回 11組 / 第7回 8組 / 第8回 7組 / 第9回 6組 / 第10回 3組   

⑦こども服リユース事業

事業名称	リサイクル・リンク事業
担当部署	子育てひろば
事業目的	子どもの衣服, 子育て用品にかかる費用を削減し, 子育て家庭の経済的負担の軽減を図る。衣類以外の子育てに必要なリサイクル品の授受も始め更なる経済的負担の軽減を図る。また, SDGs の取り組みとして行う。
実施日	通年
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス スタディコーナー 掲示コーナー
事業内容	家庭で不用になった子ども服を利用者から無償で提供してもらい, 提供を受けた衣類は設置したリサイクルコーナーに掲示し, 利用者が常時内覧できるようにした。1 回の来館で, 子ども一人につき 5 点を無料で持ち帰り可能とした。また, 不用品譲りますコーナーを設置し, 市民の方限定で衣類以外のリサイクル品や子育て情報のやり取りができるようにする。子育て用品に限って行い授受は専用の用紙を用意しリサイクルコーナーとここすきひろば内の掲示どちらもしていく。ひろばスタッフは仲介役として連絡先をお渡ししそれ以降は双方のやり取りで交換していただく。掲示は 3 ヶ月を期限とし, 引き取り手のないものはその旨提供者にお伝えし掲示は終了するようにした。  
事業成果	衣類リサイクルは年間で 3,321 着の提供をいただき 2,213 着持ち帰りいただいた。1,291 名の利用があり内 979 名は再度利用していただいていた多くの方に利用していただいた。たくさんの利用者が活用し, 来館者の方へ取り組み自体が定着していたと感じる。子育て用品リサイクルについては 7 件の提供があり内 6 件が成立した。どちらの取り組みも需要と供給が合致し SDGs の取り組みとして有意義なものとなった。 ◆利用者の声 子どもの衣類はすぐにサイズアウトするためとても助かるとの声を頂いた。また使えなくなった衣類や子育て用品を役立てられることも嬉しいと喜ばれている。 提供した服を着たお子さんがひろばで遊んでいる様子を見て, 地域の繋がりを実感したという声もきかれた。

⑧まちかど絵本棚の設置

事業名称	まちかど絵本棚の設置
担当部署	子育てひろば
事業目的	「まちかど絵本棚」をここすきひろば入り口に設置し、国立市で行われている「まちかど絵本棚」事業として読み聞かせの推進を図る。 また、児童館ボランティアさんに旧国立駅舎型の絵本棚を製作していただき、「まちかど絵本棚」の周知を図る。
実施日	2024（令和6）年8月に開設。 2025（令和7）年3月20日 旧国立駅舎型の絵本棚に変更。
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス ここすきひろば
事業内容	・矢川プラスのオープンよりここすきひろばに設置している「ここすき文庫」を国立市で行われている「まちかど絵本棚」事業に変更し、読み聞かせの推進を目的として、ここすきひろばの入口に「まちかど絵本棚」を設置した。 ・ここすき文庫の絵本を見直し、ここすきひろばで利用できるものは発番し、シールを貼ってここすきひろばで活用することにし、それ以外の絵本はまちかど絵本棚に配架した。 ・児童館の小学生ボランティアと市民ボランティアと木工講師の方が、旧国立駅舎型の絵本棚を製作してくださり、令和7年3月20日に設置した。
事業成果	児童館の小学生ボランティアと市民ボランティアと木工講師の方が旧国立駅舎型の絵本棚を製作してくださり、児童館と協力することができた。 また、国立市立図書館で3月に児童書のリサイクル配布があり、90冊いただき、まちかど絵本棚の絵本として活用することにした。 3月20日の市報に旧駅舎型のまちかど絵本棚が掲載され、認知度が高まり、絵本を寄付してくださる方も増えた。  

⑨製作ボランティア活動

事業名称	ちくちく活動
担当部署	子育てひろば
事業目的	市内在住の地域の方々にご協力いただき、ここすきひろばのおもちゃの手直しや製作準備、季節の飾りの製作を通して、多世代の交流を図るとともに、ここすきひろばと地域の方々とのつながりを深めていく。
実施日	第1回 2024(令和6)年4月17日(水) 第7回 2024(令和6)年11月27日(水) 第2回 2024(令和6)年5月29日(水) 第8回 2024(令和6)年12月18日(水) 第3回 2024(令和6)年6月26日(水) 第9回 2025(令和7)年1月22日(水) 第4回 2024(令和6)年7月24日(水) 第10回 2025(令和7)年2月26日(水) 第5回 2024(令和6)年8月28日(水) 第11回 2025(令和7)年3月26日(水) 第6回 2024(令和6)年9月18日(水) 各日 14:30~15:30 に開催
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ・みんなのホール
事業内容	介護予防体操教室終了後、体操参加者へチラシを掲示しながらお誘いし、ちくちく活動に参加していただく。内容はその都度検討の上、おもちゃの修理や季節の製作を行った。
事業成果	昨年度から継続して開催し、介護予防体操教室の最後にちくちく活動を行ったことで認知度が高まり、毎回楽しみに参加して下さる方ができた。 活動後にひろばを見学して頂き、親子と交流したり、製作物がどのように使われているかを見ていただくことで、ひろばへの関心と愛着が高まった。 ◆内容・参加者数 第1回 こいのぼり準備 3名 第2回 布おもちゃの直し 2名 第3回 透かし紙窓飾り製作 4名 第4回 花紙の金魚製作 4名 第5回 フェルトおもちゃの毛玉取り、折り紙 3名 第6回 紐遠しおもちゃ製作、チェーリングつなぎ 3名 第7回 クリスマスオーナメント製作、マラカス作り 5名 第8回 フェルトの椿製作、手押し車作り 6名 第9回 独楽の折り紙、布おもちゃの補修 4名 第10回 マグネットおもちゃ製作、折り紙 6名 第11回 チューリップの折り紙 6名   

⑩ピアファミリー

事業名称	ピアファミリー
担当部署	子育てひろば
事業目的	令和5年度のピアママ活動を休止していたが、今年度ピアママ活動を再開するとともに、以前のピアママの定義や内容を見直し、地域の先輩ママ達にここすきひろばのおもちゃ等を手作りして頂くことでひろばへの理解を深め、異年齢のお子さんを持つ先輩ママ同士がつながり、地域で子育てしやすい環境を整えることを目的に、活動を行う。
実施日	第1回 2024（令和6）年 7月 1日（月） 第2回 2024（令和6）年 9月 3日（火） 第3回 2024（令和6）年10月 4日（金） 第4回 2024（令和6）年11月 6日（水） 第5回 2024（令和6）年12月 3日（火） 第6回 2025（令和7）年 1月 8日（水） 第7回 2025（令和7）年 2月 3日（月） 第8回 2025（令和7）年 3月12日（水） 各日10:00～12:00に開催
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ
事業内容	第1回はここすきひろばを見学して頂き、こどもラボにて自己紹介を行い、ピアママ発足の経緯や今までの実績、ピアママの新たな団体名を考え、活動内容を話し合い、ひろばに野菜畑のおもちゃを製作することになった。
事業成果	ピアママで活動されていた方を中心にお声掛けし、Instagramやひろばでもメンバーを募集したところ、23名が登録となった。「野菜畑を作る」ことでアイデアを出し合い、協力していく中で交流が図れ、やりがいを持って活動していくことができた。その中から5名の方が研修を受け、ひろばボランティアに登録し、ひろばで見守りボランティアとして活動して頂く予定。また、春休みに野菜畑の看板作りを親子4組で製作することもできた。 ◆参加者数 第1回 5名 / 第2回 7名 / 第3回 7名 / 第4回 2名 第5回 6名 / 第6回 2名 / 第7回 3名 / 第8回 3名  

⑪ボランティア交流会

事業名称	令和6年度ボランティア交流会
担当部署	子育てひろば
事業目的	様々な場面で矢川プラスを応援してくださったボランティアの皆さんに感謝の気持ちを伝えると同時に、ボランティア同士の交流を深めることを目的とする。
実施日	2025（令和7）年3月15日（土）10:00～12:00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス こどもラボ
事業内容	ボランティアさんの自己紹介 団体の活動内容紹介と各作品の展示紹介 ここすきひろば通信やLINEやInstagramの紹介 ボランティアさん同士でお茶を飲みながら自由に交流
事業成果	「ちくちく活動」「ピアファミリー」「ぶちはりねずみ」「図書館読み聞かせボランティア」の団体と個人で活動している「折り紙の小澤さん」「わらべうたの田中さん」「裁縫の河合さん」「裁縫の榊原さん」へお声掛けした。 当日は「ちくちく活動」4名、「ピアファミリー」3名、「図書館読み聞かせボランティア」2名、「折り紙の小澤さん」親子2名が参加し交流を深めた。  



3-4. 矢川プラス施設管理運営事業

(1) 施設維持管理事業

① 電気・ガス・上下水道の使用状況

項目	年度	電気	ガス	上下水道	合計
使用量	2024 年度	147,430kWh	11 m ³	2,946 m ³	
	2023 年度	140,187kWh	9 m ³	2,790 m ³	
	前年度比	105.2%	122.2%	105.6%	
使用料金	2024 年度	4,941,621 円	10,382 円	1,469,328 円	6,421,331 円
	2023 年度	5,049,784 円	8,565 円	1,405,406 円	6,463,755 円
	前年度比	97.9%	121.2%	104.6%	99.3%
使用用途		電灯/電源/空調	給湯	水栓/散水	

※前年度比は、少数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位までとしています。

② 保守点検・業務委託

内容	委託業者	実施頻度
建物総合管理業務委託	株式会社オーチャー	毎月
廃棄物収集・運搬・処分業務委託	株式会社田邊商店	毎月
建物機械警備業務委託	株式会社全日警	毎月
利用者通行量調査業務委託	株式会社構造計画研究所	毎月
混雑状況調査等業務委託	株式会社構造計画研究所	毎月
電気設備保守点検業務委託	日本テクノ株式会社	毎月
エレベーター保守点検業務委託	三菱電機ビルソリューションズ株式会社	毎月
消防設備点検業務委託	株式会社千代田防災	年 2 回
防火設備定期検査業務委託	ビューロベリタスジャパン株式会社	年 1 回
ネット遊具保守点検業務委託	株式会社中村体育	年 2 回
Wi-Fi アクセスポイント保守点検委託	株式会社大塚商会	毎月
複合機保守点検業務委託	株式会社大塚商会	毎月
ウェブサイト保守業務委託	株式会社ウェスカ	毎月
子育てひろば入退館システム構築委託	BPS 株式会社	1 回
子育てひろば入退館システム構築委託	有限会社ピーシーサポート長崎	1 回
みんなの広場草刈業務委託	株式会社植繁	1 回
スタジオ機材メンテナンス業務委託	河村浩一	毎月

③ 設備修繕の実施状況

設備内容	実施業者
ここすきひろば引き戸修繕	株式会社三田工務店
券売機新紙幣対応改刷部品交換修繕	株式会社BOSTEC
掲示用造作パネル備品修繕	株式会社良品計画
ロールスクリーン等設置修繕	株式会社シーズスタイル
アップライトピアノ天板修繕	株式会社ヤマハミュージックジャパン銀座店
ネットワークカメラ配線等修繕	光栄電設工業株式会社
みんなのひろば築山人工芝張替修繕	有限会社兼平
多目的ルームアップコンセント修繕	光栄電設工業株式会社

④ 賃貸借

内容	委託業者
複合機賃貸借	三菱 HC ビジネスリース株式会社
券売機クラウドサービス利用	株式会社ボステック
トイレ臭気対策器具レンタル利用	株式会社トーカイ
矢川プラス施設予約システム利用	株式会社パストラレー
マットレンタル利用	株式会社トーヨー
イベント用タブレット PC 賃借料	株式会社イオシス
電気設備遠隔監視装置賃貸借	三井住友ファイナンス&リース株式会社
子育てひろば入退館システム利用	BPS 株式会社

⑤ 施設管理運営上の課題

矢川プラスみんなのひろばの芝生については、開館当初より子どもたちを中心に、多くの市民に利用されており、芝生の育成の状態が不良となっていた。

これまで、目土の補充や地被類（ホワイトクローバー）の種蒔を実施するなど、緑化の後退を回避できるよう様々な対策を実施してきました。

しかしながら、一時的な改善はあったものの、冬季にかけて緑化の後退が顕著になり、近隣住民からは砂埃による被害に関して苦情を頂くことがありました。

こうした経過を受けて、国立市と協議し、短期的には春先にかけてホワイトクローバーに加え、踏圧性に強いクラピア苗による緑化を行い、中長期的には、芝生ひろばの在り方を国立市とともに検討していきます。



(2) 広報・情報発信事業

① ホームページによる発信

矢川プラスのPR及び施設利用等の案内のため、矢川プラスホームページを開設しました。ホームページでは、施設コンセプトや各機能の紹介、施設利用案内やイベント情報の掲載のほか、貸出施設予約システムへの円滑な接続など、施設利用者の利便性の向上を図りました。また、ツイッターやInstagramなどのSNSも活用してイベントなどの情報を発信しました。



今後もわかりやすいページづくりに努めるとともに、様々な情報を発信していきます。

② 矢川プラス通信の発行



矢川プラス内で開催するイベントや子育てひろば、こどもラボでの講座等の情報をまとめた『矢川プラス通信』を毎月発行し、周知を図りました。

(3) 施設活用事業

① 来館者の状況

月	開館日数	施設全体 延べ来館者数	施設全体 1日平均
4月	28日	25,403人	907人
5月	29日	25,907人	893人
6月	28日	25,780人	921人
7月	29日	29,257人	1,009人
8月	29日	26,560人	916人
9月	28日	27,822人	994人
10月	29日	28,588人	986人
11月	28日	23,810人	850人
12月	26日	23,719人	912人
1月	27日	23,950人	887人
2月	26日	25,525人	982人
3月	29日	30,019人	1,035人
合計	336日	316,340人	942人



②貸室施設の利用状況

	多目的ルーム（合算）			スタジオ			新規 団体 登録 件数	内訳		減免 団体 18歳 未満
	利用 可能数	利用数	稼働率	利用 可能数	利用数	稼働率		市内	一般	
4月	168	59	35.1%	168	118	70.2%	23	20	3	5
5月	174	99	56.9%	174	119	68.4%	14	11	3	0
6月	168	120	71.4%	168	122	72.6%	20	16	4	0
7月	174	122	70.1%	174	115	66.1%	17	11	6	2
8月	174	115	66.1%	174	138	79.3%	15	12	3	3
9月	168	112	66.7%	168	133	79.2%	21	20	1	4
10月	174	136	78.2%	174	119	68.4%	26	21	5	2
11月	168	131	78.0%	168	111	66.1%	15	9	6	1
12月	156	123	78.8%	156	111	71.2%	15	13	2	6
1月	162	109	67.3%	162	103	63.6%	24	12	12	0
2月	156	114	73.1%	156	120	76.9%	34	32	2	6
3月	174	136	78.2%	174	117	67.2%	27	24	3	3
計	2,016	1,376	68.3%	2,016	1,426	70.7%	251	201	50	32

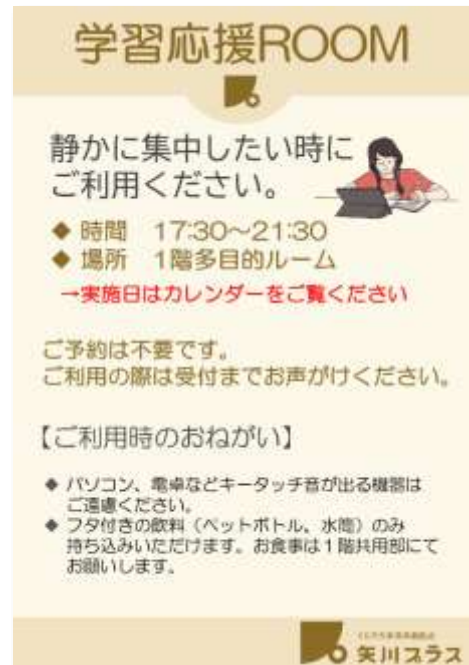
▶ 団体登録件数には、個人での登録も含まれる。



③学習応援ルームの利用状況

中高生のテスト期間や入試期間は、中高生や大人の方を中心に多く利用されており、スタディコーナーだけでなく、利用予約が入っていない多目的ルームを施設の有効利用の観点から「学習応援ROOM」として開放しました。

月	開放日数	利用者数
4月	—	—
5月	13日	37人
6月	23日	61人
7月	3日	23人
8月	—	—
9月	—	—
10月	15日	52人
11月	20日	81人
12月	13日	57人
1月	21日	52人
2月	20日	126人
3月	23日	53人
合計	151日	542人



④国立市フィルムコミッション事業への協力

国立市フィルムコミッション事業を受託している NPO 法人国立市観光まちづくり協会からの依頼に基づき、撮影ロケ等の支援を通じて、国立の風景や魅力を発信するため、施設の貸出を行いました。

実施日	制作会社	作品等
7月19日	株式会社ポトフ	(待機場所として利用)
12月19日	O.Inc 株式会社	TBS ドラマ「対岸の家事」
1月16日	O.Inc 株式会社	TBS ドラマ「対岸の家事」
2月20日	O.Inc 株式会社	TBS ドラマ「対岸の家事」



⑤利用者からの意見 ア) 意見箱

矢川プラスの各階に『利用者の声』の意見箱を設置し、利用者からの要望や改善点などのご意見を受け付けました。いただいた意見数及び主な内容については以下のとおりです。

期間	枚数	期間	枚数	期間	枚数	期間	枚数	期間	枚数	期間	枚数
4/1-4/7	2	5/7-5/11	0	6/4-6/7	0	6/29-7/10	4	7/27-8/3	4	9/1-9/6	2
4/8-4/12	0	5/12-5/21	1	6/8-6/15	1	7/11-1/15	1	8/4-8/11	3	9/7-9/13	1
4/13-4/27	1	5/22-5/27	3	6/16-6/28	0	7/16-7/20	0	8/12-8/22	4	9/14-9/20	0
4/28-5/6	1	5/28-6/3	4			7/21-7/26	2	8/23-8/31	3	9/21-9/27	1
4月合計	4	5月合計	8	6月合計	1	7月合計	7	8月合計	14	9月合計	4
累計	4		12		13		20		34		38
期間	枚数	期間	枚数	期間	枚数	期間	枚数	期間	枚数	期間	枚数
9/28-10/4	2	10/5-11/01	1	11/30-12/6	0	1/04-1/11	1	2/2-2/7	0	3/1-3/7	1
10/5-10/15	0	11/2-11/9	1	12/7-12/20	1	1/12-1/17	0	2/7-2/14	2	3/8-3/14	0
		11/10-11/18	0	12/21-12/27	0	1/18-1/24	2	2/15-2/28	1	3/15-3/20	3
		11/19-11/23	1			1/25-2/1	1			3/21-3/31	0
10月合計	2	11月合計	3	12月合計	1	1月合計	4	2月合計	3	3月合計	4
	40		43		44		48		51		55

項目（意見の多い順）	主な内容
利便性向上	時計・ごみ箱の設置，一時保育施設設置，Free-Wifiの無制限利用，ミニキッチンにわりばし・紙コップ・コーヒー粉の設置
騒音	館内全体・スタディーコーナーがうるさい
安全面	ひろばでの球技，ネット遊具の使い方，子どもが走りまわる，大人の見守りが足りない，子どもの鬼ごっこが危ない等
遊び・おもちゃの充実	すべり台の設置やストリートピアノの設置，ここすきひろばの利用時間の延長，大人用健康器具の設置
混雑の緩和	ここすきひろばの混雑，築山の混雑，混雑情報のSNS公開，平日の市民のみ利用できる日の設定，ネット遊具や築山の保育園等の利用制限
感謝・期待	主にここすきひろば利用者や矢川プラスの子どもから
運用面での疑問・要望	路上駐停車防止，館内冷房温度等，土日市外利用制限の緩和等
イベント要望	フリーマーケット，ネット遊具でのイベント開催

⑤利用者からの意見 イ) 利用者満足度調査

年度末に矢川プラス来館者に対し、満足度に関するアンケートを実施いたしました。「非常に満足」、「満足」を合算した総合満足度は79.0%(昨年度75.6%)です。アンケートの詳細な結果については、以下のとおりです。

矢川プラス利用者 アンケート

平素より矢川プラスの運営に対しまして、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、矢川プラスは2023年4月にオープンし、間もなく二年が経過いたします。今日まで乳幼児から高齢者の方まで幅広い年代の方にお越しいただき、音楽、運動、子育て支援、介護予防、商店会や地域コミュニティ活動など幅広い様々な分野でご利用いただいております。当施設では、サービスの向上と改善に向けた取組をいたしまして、施設をご利用いただく皆様からの声を大事にし、施設運営に生かしてまいりたいと考えております。

つきましては、矢川プラスをご利用いただいた際の感想等をお聞かせいただけたら、幸いです。

1. あなたのお住まいの地域に○をつけてください。
 ・市内（北・東・中・西・富士見台・谷保・矢川・青柳・泉・石田）
 ・市外（立川市・府中市・日野市・国分寺市・その他）
2. あなたの年齢層を教えてください。
 【10歳未満・10代・20代・30代・40代・50代・60代以上】
3. 利用した施設を教えてください。（複数選択可能）
 ・みんなのホール ・おとり土間 ・多目的ルーム ・スタジオ ・矢川児童館
 ・スタジオコーナー ・こすきひろば ・こども緑地 ・みんなのひろば（屋外）
4. この施設の設備や道具の充実度について、どの程度満足していますか？
 （例：①遊具の数・バラエティ、②メンテナンスの状況、③利用者のニーズ・要望に
 応えているか など）
 【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】
5. この施設のアクセス（利用しやすさ）について、どの程度満足していますか？
 （例：①施設への交通アクセス、②車椅子・ベビーカーを利用する際のバリアフリー設備、
 ③案内表示の指示など）
 【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】
6. この施設の安全性やセキュリティについて、どの程度満足していますか？
 （例：①危険箇所等への警告・注意の表示、②利用者同士のトラブルへの対応、③紛失物
 の対応 など）
 【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】
7. この施設の利用料金や料金体系について、どの程度満足していますか？
 （例：①料金設定、時間設定等について、②サービスや施設設備と見合っているか、
 ③支払方法や減免制度 など）
 【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】
8. インターネットやWi-Fiの利用状況や品質について、どの程度満足していますか？
 （例：①Wi-Fiの速度・安定性、②接続の容易さ、③制限・制約 など）
 【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】

裏面にお進みください

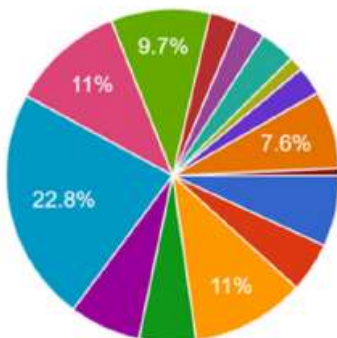
9. 施設環境や設備について、どの程度満足していますか？
 （例：①施設の清掃状況・清潔さ、②館内緑化の良しやすさ、③A.M.のひろば（芝生）や
 緑地の管理や安全確保 など）
 【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】
10. この施設の敷地内設備について、どの程度満足していますか？
 （例：①飲食スペースの清潔さ・快適さ、②設備の充実 など）
 【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】
11. この施設のスタッフの対応やサービスについて、どの程度満足していますか？
 （例：①親切さ・礼儀正しさ、②適切な声掛け・情報提供、③相談対応 など）
 【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】
12. この施設のまだ見ぬポイントやイベントの企画について、どの程度満足していますか？
 （例：①イベントの数・バラエティ、②企画力、③開催頻度・スケジュール、④イベントの
 メッセージの伝達・サポート など）
 【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】
13. この施設のさまざまな世代が参加するイベントや活動の開催について、どの程度満足していますか？
 （例：①イベントの数・バラエティ、②企画力、③開催頻度・スケジュール、④様々な世代の
 参加者との交流促進に繋がっているか など）
 【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】
14. 利用者同士の交流やコミュニティ形成の促進について、どの程度満足していますか？
 （例：①イベント・プログラムが利用者同士の交流を促進しているか、②みんなのホールや芝
 生が交流スペースとして十分に活用されているか、③利用者同士がコミュニケーションを取り
 やすい環境が整っているか など）
 【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】
15. イベントやプログラムの情報提供や広報活動について、どの程度満足していますか？
 （例：①分かりやすさ、②広報媒体の種類・掲載方法、③イベント参加方法や施設利用方法の
 分かりやすさ など）
 【非常に満足 ・ 満足 ・ どちらとも言えない ・ 不満 ・ 非常に不満】
16. イベントやプログラムの告知方法は何か変更が必要ですか？（複数選択可能）
 ・チラシ・ポスター ・館内ディスプレイ ・HP ・X ・Instagram ・LINE 公式アカウント
17. 施設の利用や運営に関するアイデアやプログラムに関する意見や提案
 ・意見やご提案などございましたら、ご記入ください

ご協力ありがとうございました。

矢川プラス

1. あなたのお住まいの地域について教えてください。

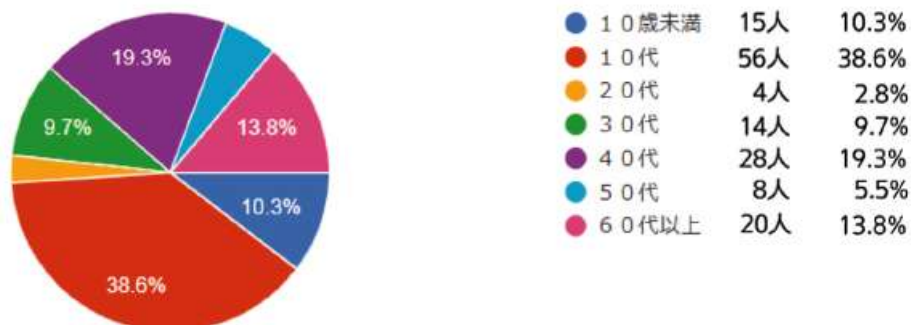
145件の回答



● 国立市 矢川地区	10人	6.9%
● 国立市 北地区	7人	4.8%
● 国立市 西地区	16人	11%
● 国立市 中地区	8人	5.5%
● 国立市 東地区	10人	6.9%
● 国立市 富士見台地区	33人	22.8%
● 国立市 谷保地区	16人	11%
● 国立市 青柳地区	14人	9.7%
● 国立市 泉地区	4人	2.8%
● 国立市 石田地区	0人	0%
● 国立市外（立川市）	4人	2.8%
● 国立市外（府中市）	5人	3.4%
● 国立市外（日野市）	2人	1.4%
● 国立市外（国分寺市）	4人	2.8%
● 国立市外（上記以外）	11人	7.6%
● 国立市外	1人	0.6%

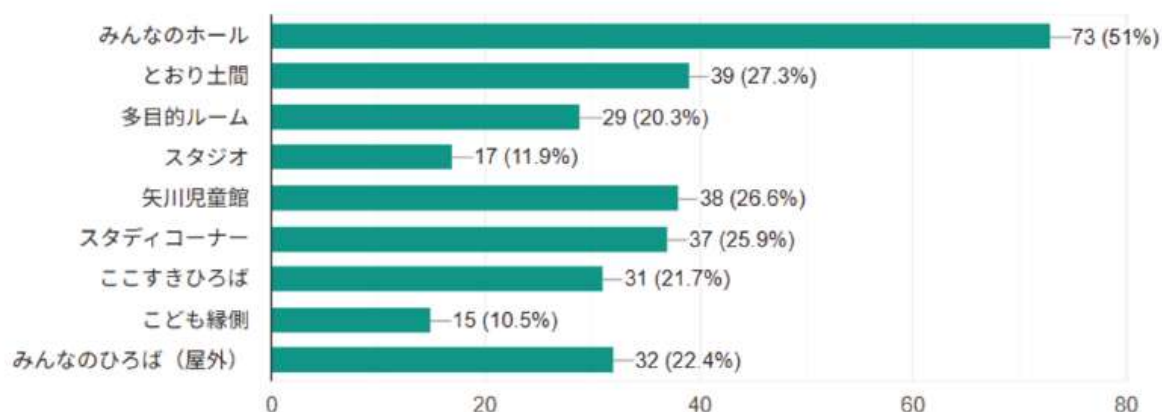
2. あなたの年齢層を教えてください。

145 件の回答



3. 利用した施設を教えてください。（複数選択可能）

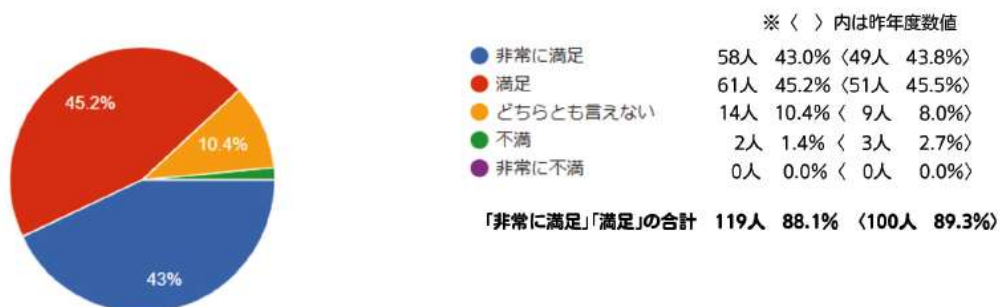
143 件の回答



4. 設備・遊具の充実度についてどの程度満足していますか。

(例：①遊具の数・バラエティー,②メンテナンスの状況,③利用者のニーズ・要望に
応えているか など)

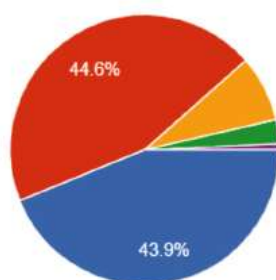
135 件の回答



5. アクセシビリティ（利用しやすさ）について、どの程度満足していますか。

（例：①施設への交通アクセス、②車椅子・ベビーカーを利用する際のバリアフリー設備、③館内案内表示の掲示 など）

139 件の回答



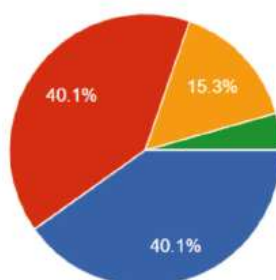
※ 〈 〉 内は昨年度数値

非常に満足	61人	43.9%	〈48人	41.0%〉
満足	62人	44.6%	〈55人	47.0%〉
どちらとも言えない	11人	7.9%	〈11人	9.4%〉
不満	4人	2.9%	〈2人	1.7%〉
非常に不満	1人	0.7%	〈1人	0.9%〉
「非常に満足」「満足」の合計				
	123人	88.5%	〈103人	88.0%〉

6. 安全性やセキュリティについて、どの程度満足していますか。

（例：①危険箇所等への警告・注意の表示、②利用者同士のトラブルへの対応、③紛失物への対応 など）

137 件の回答

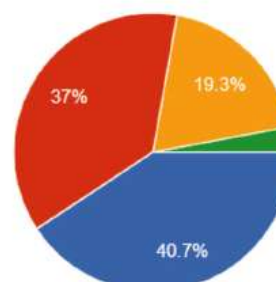


※ 〈 〉 内は昨年度数値

非常に満足	55人	40.1%	〈40人	33.6%〉
満足	55人	40.1%	〈48人	40.3%〉
どちらとも言えない	21人	15.3%	〈23人	19.3%〉
不満	6人	4.5%	〈6人	5.0%〉
非常に不満	0人	0.0%	〈2人	1.8%〉
「非常に満足」「満足」の合計				
	110人	80.3%	〈88人	73.9%〉

7. 有料貸出施設における利用料金や料金体系について、どの程度満足していますか。（例：①料金設定・時間設定等について、②サービスや施設設備と見合っているか、③支払方法や減免制度 など）

135 件の回答

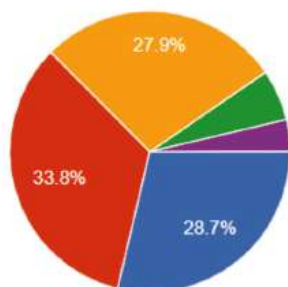


※ 〈 〉 内は昨年度数値

非常に満足	55人	40.7%	〈40人 36.3%〉
満足	50人	37.0%	〈39人 35.4%〉
どちらとも言えない	26人	19.3%	〈26人 23.6%〉
不満	4人	3.0%	〈2人 1.9%〉
非常に不満	0人	0.0%	〈3人 2.8%〉
「非常に満足」「満足」の合計			
	105人	77.8%	〈79人 71.8%〉

8. インターネットやWi-Fiの利用状況や品質について、どの程度満足していますか。（例：①Wi-Fiの速度・安定性、②接続の容易さ、③制限・制約 など）

136 件の回答



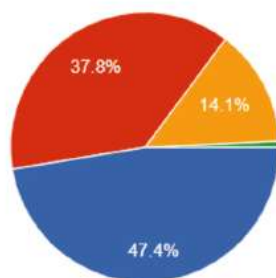
※ 〈 〉 内は昨年度数値

非常に満足	39人	28.7%	〈18人	16.1%〉
満足	46人	33.8%	〈33人	29.5%〉
どちらとも言えない	38人	27.9%	〈43人	38.4%〉
不満	8人	5.9%	〈11人	9.8%〉
非常に不満	5人	3.7%	〈 7人	6.2%〉
「非常に満足」「満足」の合計				
	85人	62.5%	〈51人	45.5%〉

9. 施設環境や景観について、どの程度満足していますか。

（例：①施設の清掃状況・清潔さ、②館内掲示物の見やすさ、③みんなのひろば（芝生）や植栽の管理や安全性 など）

135 件の回答

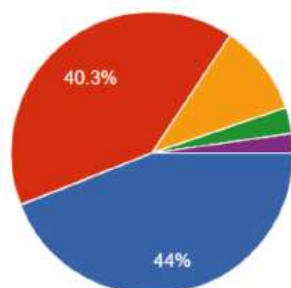


※ 〈 〉 内は昨年度数値

非常に満足	64人	47.4%	〈57人	51.4%〉
満足	51人	37.8%	〈46人	41.4%〉
どちらとも言えない	19人	14.1%	〈 4人	3.6%〉
不満	1人	0.7%	〈 2人	1.8%〉
非常に不満	0人	0.0%	〈 2人	1.8%〉
「非常に満足」「満足」の合計				
	115人	85.2%	〈103人	92.8%〉

10. 飲食スペースや清潔さ・設備充実度について、どの程度満足していますか。

134 件の回答

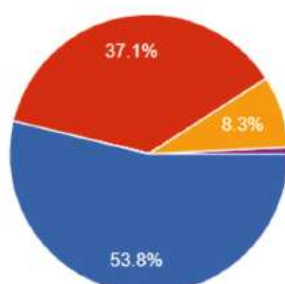


※ 〈 〉 内は昨年度数値

非常に満足	59人	44.0%	〈43人	38.7%〉
満足	54人	40.3%	〈52人	46.8%〉
どちらとも言えない	14人	10.5%	〈11人	9.9%〉
不満	4人	3.0%	〈 5人	4.6%〉
非常に不満	3人	2.2%	〈 0人	0.0%〉
「非常に満足」「満足」の合計				
	113人	84.3%	〈95人	85.6%〉

1 1. スタッフの対応・サービスについて、どの程度満足していますか。
 (例：①親切さ・礼儀正しさ、②適切な声掛け・情報提供、③迅速な対応 など)

132 件の回答

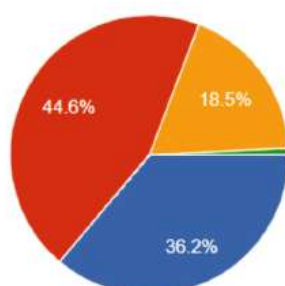


※ 〈 〉 内は昨年度数値				
非常に満足	71人	53.8%	〈55人	52.3%〉
満足	49人	37.1%	〈38人	36.1%〉
どちらとも言えない	11人	8.3%	〈10人	9.6%〉
不満	0人	0.0%	〈0人	0.0%〉
非常に不満	1人	0.8%	〈2人	2.0%〉

「非常に満足」「満足」の合計 120人 90.9% 〈93人 88.6%〉

1 2. 子ども向けプログラムやイベントの充実度について、どの程度満足していますか。(例：①イベントの数・バラエティ・魅力度、②開催頻度・スケジュール、③イベントスタッフの対応・サポート など)

130 件の回答



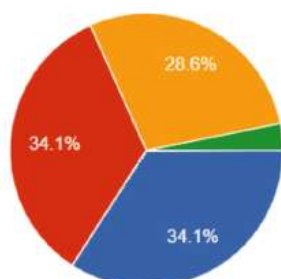
※ 〈 〉 内は昨年度数値				
非常に満足	47人	36.2%	〈39人	35.8%〉
満足	58人	44.6%	〈44人	40.4%〉
どちらとも言えない	24人	18.5%	〈24人	22.0%〉
不満	1人	0.7%	〈1人	0.9%〉
非常に不満	0人	0.0%	〈1人	0.9%〉

「非常に満足」「満足」の合計 105人 80.8% 〈83人 76.1%〉

1 3. 多様な世代が参加できるイベントや活動の提供について、どの程度満足していますか。

(例：①イベントの数・バラエティ・魅力度、②開催頻度・スケジュール、③様々な世代の参加者との交流促進に繋がっているか など)

126 件の回答



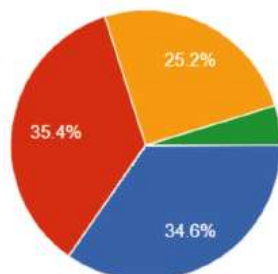
※ 〈 〉 内は昨年度数値				
非常に満足	43人	34.1%	〈33人	29.7%〉
満足	43人	34.1%	〈48人	43.2%〉
どちらとも言えない	36人	28.6%	〈27人	24.3%〉
不満	4人	3.2%	〈2人	1.8%〉
非常に不満	0人	0.0%	〈1人	1.0%〉

「非常に満足」「満足」の合計 86人 68.3% 〈81人 73.0%〉

14. 利用者同士の交流やコミュニティ形成への支援度について、どの程度満足していますか。

(例：①イベント・プログラムが利用者同士の交流を促進しているか、②みんなのホールや土間が交流スペースとして十分に活用されているか、③利用者同士がコミュニケーションを取りやすい環境が整っているか など)

127 件の回答



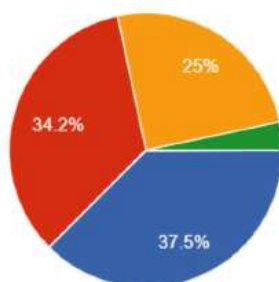
※〈 〉内は昨年度数値

非常に満足	44人	34.6%	〈28人	24.6%
満足	45人	35.5%	〈40人	35.1%
どちらとも言えない	32人	25.2%	〈44人	38.5%
不満	6人	4.7%	〈1人	0.9%
非常に不満	0人	0.0%	〈1人	0.9%
「非常に満足」「満足」の合計				
	89人	70.1%	〈68人	59.6%

15. イベントやプログラムの情報提供や広報活動について、どの程度満足していますか。

(例：①分かりやすさ、広報媒体の種類・周知方法、③イベント参加方法や施設利用方法の分かりやすさ など)

120 件の回答

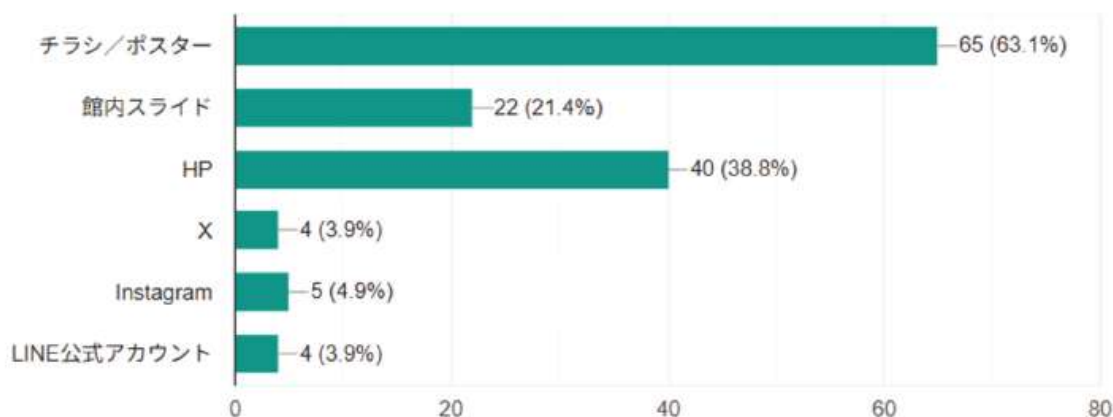


※〈 〉内は昨年度数値

非常に満足	45人	37.5%	〈30人	27.2%
満足	41人	34.2%	〈43人	39.1%
どちらとも言えない	30人	25.0%	〈30人	27.3%
不満	4人	3.3%	〈6人	5.5%
非常に不満	0人	0.0%	〈1人	0.9%
「非常に満足」「満足」の合計				
	86人	71.7%	〈73人	66.4%

16. イベントやプログラムのお知らせは何をご覧になりますか。(複数選択可)

103 件の回答



(4) イベント調整事業

①国立第六小学校の矢川プラスワークショップ

事業名称	国立第六小学校の矢川プラスワークショップ
担当部署	矢川プラス
実施日	・2024（令和6）年5月24日(金) ・2024（令和6）年5月28日(火)
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス全館
事業目的	国立第六小学校の全児童が授業の一環として矢川プラスに来館した。単なる施設見学ではなく学びの機会となるよう、ゴミ捨て、館内走行、荷物放置（忘れ物）、ゲーム音、ひろばや築山でのあそび方など、矢川プラスで起こっている様々な問題を考える機会となるよう、ワークショップ形式で行いました。
事業内容	国立第六小全児童が学年ごとに矢川プラスに来てもらい、みんなのホールで投影したスライドを見ながら、施設の利用方法や利用マナーを一緒に考える機会を提供した。
事業成果	禁止事項や注意書きなどが無い矢川プラスにおいて、みんなでお互いにおもいやりをもって楽しく過ごせるよう考えられる機会となった。ワークショップ後には、実際に矢川プラスを利用する中で、子どもたちがお互いに声をかけあう姿も見られるようになった。  

②ユースワーカー・トークセッション

事業名称	子ども・若者の「居場所」と「参画」をつくる・支える100の方法 —全国のユースワーカーにあれこれ聞いてみよう！—
担当部署	矢川プラス
実施日	2024（令和6）年7月1日(月) 19:00～21:00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム
事業目的	多くの子ども・若者が集う矢川プラスとこれまでたくさんの子ども・若者を支える市民活動が展開されてきた公民館の連携事業として、全国で活躍するユースワーカーを招いて、「場」の作り方や支援の方法を学ぶ。
事業内容	◆主催：公民館 ◆協力：矢川プラス，ユースワークのあるまち検討会議 ◆登壇者：3名 今井直人氏（元尼崎市ユース交流センター），佐渡加奈子氏（NPO カタリバ アダチベース），青山鉄平（文教大学）によるトークセッションを開催した。
事業成果	上記企画とともに，ユースワークのある町検討会議による中高生世代のための「焚火とミニピザの日」を同時開催し，多くの若者の参加もあった。今後，矢川プラスが取り組むユースワークを考えていくうえで，「場」の作り方，若者への支援方法など，全国のユースワーカーの知見を学ぶ機会を提供できた。 ◆参加者数：25名   

③共催シンポジウム「地域で育む子どもたちの未来～学力の土台となる非認知能力を伸ばすコツ～」

事業名称	地域で育む子どもたちの未来～学力の土台となる非認知能力を伸ばすコツ～ (公益社団法人立川青年会議所第1035回例会)
担当部署	矢川プラス
実施日	2024(令和6)年10月16日(水) 19:00～20:45
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール
事業目的	非認知能力の重要性とその育成方法について、パネリストの子ども頃の体験を交え、子どもたちが自分らしく輝くために大切なことを考えるシンポジウムを開催した。
事業内容	◆共催 公益社団法人立川青年会議所 社会福祉法人くにたち子どもの夢・未来事業団 第1部 パネリストの子ども頃の体験を発表し、矢川プラス館長の解説も交え、パネルディスカッションを実施した。 第2部 参加者が各グループに分かれ、第1部で学んだことを参考にし、意見交換を行った。
事業成果	子どもを持つ保護者には、家庭内でどのように非認知能力を育成できるのか、また、その具体的な方法や体験活動を学ぶ機会となった。また、保護者同士の交流も生まれ、情報共有や悩みを相談している姿が見え、親同士の子育ての支援ネットワークを広げることに貢献した。  

④天体観測 in 矢川プラス

事業名称	天体観測 in 矢川プラス
担当部署	矢川プラス
実施日	2024（令和6）年11月8日（金） 18:00～20:00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのひろば
事業目的	夕暮れフリースペースが企画し、川崎天文同好会を迎えて、本格的な天体望遠鏡による夜空の星々や惑星などを観察することで、自然の壮大さを体験する。
事業内容	◆主催：夕暮れフリースペース ◆協力：川崎天文同好会、矢川プラス 川崎天文同好会が持ち込む天体望遠鏡を用いた天体観測のほか、クイズ形式のトークセッションを実施した。
事業成果	矢川プラスのイベントの中でも数少ない夜間開催のイベントであり、新しい試みとなった。また、本格的な天体望遠鏡を用いた天体観測では、子どもたちだけでなく、たまたま開催を知った大人も参加し、盛況な催しとなった。     

⑤ランチタイムコンサート「クラシックライブ+」

事業名称	矢川プラスランチタイムコンサート クラシックライブ PLUS
担当部署	矢川プラス
実施日	第1回 2024（令和6）年4月10日（水） 11：45～12：30 第2回 2024（令和6）年5月8日（水） 11：45～12：30 第3回 2024（令和6）年6月12日（水） 11：45～12：30 第4回 2024（令和6）年7月10日（水） 16：15～12：30 第5回 2024（令和6）年8月14日（水） 11：45～12：30 第6回 2024（令和6）年9月11日（水） 11：45～12：30 第7回 2024（令和6）年10月9日（水） 11：45～12：30 第8回 2024（令和6）年11月13日（水） 16：15～17：00 第9回 2024（令和6）年12月11日（水） 11：45～12：30 第10回 2025（令和7）年1月8日（水） 11：45～12：30 第11回 2025（令和7）年2月12日（水） 11：45～12：30 第12回 2025（令和7）年3月12日（水） 16：15～17：00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール
事業目的	プロの演奏家による生演奏を通して、子どもたちに心の健康と豊かな体験を届けるとともに、親子を支援する活動に音楽を取り入れることで、新たなコミュニケーションのきっかけとなることを目的として開催した。
事業内容	市内の子ども食堂を実施している「たまご食堂」において活動実績があった「一般財団法人100万人のクラシックライブ」の協力により、ヴァイオリンとピアノによるクラシックライブを開催した。 ◆開催回数：全12回（自由鑑賞）
事業成果	みんなのホールでの開催とし、乳幼児とその保護者だけでなく、高齢者やしょうがいを持った方の鑑賞もあり、子どもから大人まで誰もがクラシック音楽を気兼ねなく楽しめるイベントとなった。 ◆参加者数 第1回 67名 / 第2回 69名 / 第3回 104名 / 第4回 150名 / 第5回 95名 / 第6回 86名 / 第7回 88名 / 第8回 90名 / 第9回 105名 / 第10回 118名 / 第11回 110名 / 第12回 69名 ◆アンケート結果 満足（とても満足・満足） 92% どちらでもない 0% 不満（とても不満・不満） 0% 無回答 8%



⑥サイエンス LAB+

事業名称	サイエンス LAB+（ラボ プラス） ～科学好きの東大生が『科学のおもしろさ』伝えます～
担当部署	矢川プラス
実施日	第1回 2024（令和6）年4月6日(土) 第7回 2024（令和6）年10月5日(土) 第2回 2024（令和6）年5月4日(土) 第8回 2024（令和6）年11月2日(土) 第3回 2024（令和6）年6月15日(土) 第9回 2024（令和6）年12月7日(土) 第4回 2024（令和6）年7月13日(土) 第10回 2025（令和7）年1月11日(土) 第5回 2024（令和6）年8月3日(土) 第11回 2025（令和7）年2月1日(土) 第6回 2024（令和6）年9月14日(土) 第12回 2025（令和7）年3月1日(土)
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール
事業目的	東京大学サイエンスコミュニケーションサークル CAST に昨年度に引き続き協力してもらい、子どもたちに実験や工作を通して、科学のおもしろさを体験してもらうために実施した。
事業内容	目の前で多彩な実験を実演・解説，実際に工作や体験ができる実験教室を行うなど，各回で異なるテーマで科学に触れる機会を提供した。 第1回 工作教室 大気圧コップ 第2回 工作教室 ニワトリコップ 第3回 工作教室 潜望鏡工作 第4回 サイエンスショー 空気の流れ・回転 第5回 工作教室 カオス振り子 第6回 工作教室 渦電流 第7回 工作教室 ストローパンフルート 第8回 サイエンスショー 様々な色 第9回 工作教室 単極モーター 第10回 工作教室 ブラックウォール 第11回 工作教室 プラコップ空気砲 第12回 サイエンスショー 静電気と表面張力
事業成果	科学に触れる機会を提供するだけに留まらず，大学生と子どもたちとの交流・つながりも生まれるイベントとなった。 ◆参加者数 第1回 52名/第2回 64名/第3回 85名/第4回 121名/第5回 50名/ 第6回 62名/第7回 99名/第8回 122名/第9回 48名/第10回 101名/ 第11回 127名/第12回 95名  

⑦「ASOBOUの日」

事業名称	「ASOBOUの日」
担当部署	矢川プラス
実施日	第1回 2024（令和6）5月18日（土） 10:00～12:00 第2回 2024（令和6）6月8日（土） 10:00～12:00 第3回 2024（令和6）7月20日（土） 10:00～12:00 第4回 2024（令和6）9月21日（土） 10:00～12:00 第5回 2024（令和6）10月12日（土） 10:00～12:00 第6回 2024（令和6）11月9日（土） 10:00～12:00 第7回 2024（令和6）12月14日（土） 10:00～12:00 第8回 2025（令和7）1月18日（土） 10:00～12:00 第9回 2025（令和7）2月8日（土） 10:00～12:00 第10回 2025（令和7）3月8日（土） 10:00～12:00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール
事業目的	矢川プラスに遊びに来た乳幼児親子が、日頃体験できないような様々な「遊び」を通して、参加した親子同士が交流を持つことができる場所を提供していく。
事業内容	市内で居場所事業として定着している駄菓子や「くにちゃん」を運営している一般社団法人リング・リンクくにたちから紹介があった「森のようちえん IRODORI」の協力により、毎月1回程度開催。ダンボール遊びや新聞紙遊びなど、普段家庭の中でできないようなダイナミックな遊びを実施した。 ◆開催回数：全10回（自由鑑賞）
事業成果	みんなのホールでの開催とし、乳幼児とその保護者だけでなく、小学生の参加もあり、思う存分自由な遊びを楽しめるイベントとなった。 ◆参加者数 第1回 123名/第2回 46名/第3回 85名/第4回 91名/ 第5回 41名/第6回 40名/第7回 30名/第8回 68名/ 第9回 100名/第10回 52名



⑧出張！駄菓子や「くにちゃん」

事業名称	出張！駄菓子や「くにちゃん」
担当部署	矢川プラス
実施日	第1回 2024（令和6）年5月18日（土） 第2回 2024（令和6）年6月8日（土） 第3回 2024（令和6）年7月20日（土） 第4回 2024（令和6）年9月21日（土） 第5回 2024（令和6）年10月12日（土） 第6回 2024（令和6）年11月9日（土） 第7回 2024（令和6）年12月14日（土） 第8回 2025（令和7）年1月18日（土） 第9回 2025（令和7）年2月8日（土） 第10回 2025（令和7）年3月8日（土）
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール
事業目的	居場所事業として定着している駄菓子や「くにちゃん」の協力により、知らない子同士がその場で交流を持つことができ、中学生になっても気軽に立ち寄ることができる、居場所づくり。
事業内容	アイロンビーズや様々なパズル、ボードゲームなどを用いながら、子どもから大人、親子、多世代が交流する居場所を醸成した。
事業成果	大人、ボランティアの高校生、子どもたちや親子同士の交流・つながりが生まれるイベントとなった。 ◆参加者数 第1回 35名/第2回 35名/第3回 66名/第4回 48名/第5回 72名 第6回 36名/第7回 66名/第8回 81名/第9回 101名/第10回 48名   

⑨魔改造ワークショップ

事業名称	魔改造ワークショップ
担当部署	矢川プラス
実施日	第1回 2024（令和6）年 8月18日（日） 第2回 2025（令和7）年 3月29日（土）
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール
事業目的	東大の学祭にて子ども向けイベントの実施や、NHK「魔改造の夜」に出場等で実績がある東大出身の中島眞由氏が代表となる「つくらぶる」に協力してもらい、小学生の子どもたちにおもちゃの改造を通して、ものづくりのおもしろさを体験してもらうために実施。
事業内容	おもちゃを解体して仕組みを学んだり、自分なりのアイデアで身近な材料を使って改造するなど、想像力を養い、ものづくりに触れる機会を提供した。「つくらぶる」メンバーは、教えすぎず、戸惑う子には程よいヒントを出すなどし、子どもたちの力を引き出す機会となった。 第1回題材 黒ひげ 第2回題材 スイミングカメさん
事業成果	ものづくりに触れる機会を提供するだけに留まらず、大学生と子どもたちとの交流・つながりも生まれるイベントとなった。第2回目はリピーターの参加もあった。 ◆参加者数 第1回 午前15名/午後11名（材料のみ1名、欠席2名） 第2回 午前14名/午後9名（欠席2名）   

⑩ア) 矢川プラス音楽の日「秋のチャリティ音楽会」

事業名称	秋のチャリティ音楽会～尺八と箏の音色で癒しのひととき～
担当部署	矢川プラス
実施日	2024（令和6）年10月14日(日) 12:00～13:00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス とおり土間・みんなのホール
事業目的	地域のにぎわいづくりと、子どもたちの豊かな育ちを推進するため、普段触れる機会の少ない日本の伝統楽器の演奏を聴く体験を提供する。
事業内容	地域の福祉団体(天成舎)の代表を務める尺八演奏家の「三代目 小池 玲山」氏との共催で、昨年に引き続き開催した。同時に、同団体が施設内に設置している途上国等へのワクチン寄付につながるペットボトルキャップ回収容器のPRも併せて実施。また、NPO フードバンクくにたちの活動の紹介を兼ねて、防災備蓄用食料を無料で配布した。
事業成果	◆参加者数：82 名 尺八や箏、二胡など、普段触れることが少ない楽器の演奏を間近で聞く貴重な機会を提供することができた。   

⑩イ) 矢川プラス音楽の日「能登半島災害復興支援チャリティライブ」

事業名称	矢川プラス音楽の日 「能登半島災害復興支援チャリティライブ 声をあわせて届けましょう」
担当部署	矢川プラス
実施日	2024（令和6）年12月17日(火) 19:30～21:00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール
事業目的	これまでも矢川プラス音楽の日で協力いただいたプロミュージシャン川久保秀一氏の呼びかけにより、能登半島災害復興支援チャリティライブを開催した。
事業内容	◆出演 川久保秀一氏、木根尚登氏(TM NETWORK)、日浦孝則氏(ex.class) 篠原美也子氏、石田ショーキチ氏、松本英子氏、西島梢氏(ex.ナミヅカ) 日本赤十字社「能登半島大雨災害義援金」に寄付するため、上記7名によるチャリティライブを開催した。
事業成果	預かりした義援金については、決済手数料等の経費を差し引き 411,000 円全額を日本赤十字社「能登半島大雨災害義援金」へ寄付した。 ◆会場観覧者数：113 名 

⑩ウ) 矢川プラス音楽の日「クリスマスコンサート」

事業名称	矢川プラス音楽の日～クリスマスコンサート～
担当部署	矢川プラス
実施日	2024（令和6）年12月22日(土) 11:00～15:00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール
事業目的	季節の音楽イベントとして、来館者に音楽に触れる機会を提供するとともに、多数の人の来館動機となり地域ににぎわいを生み出すこと、また、矢川プラスや地域で活動しているバンドなどの日ごろの練習の成果の発表の場となること。
事業内容	出演希望者を施設登録団体から募集し、総勢11組が出演。 国立市と文化交流のある北秋田市の少年少女合唱団や親子合唱団、シニアによるフルート合奏、現役音大生の歌唱、親子マジシャンによる手品、ギター弾き語り、矢川児童館のダンスチームによるパフォーマンスなど、多様なステージが矢川プラスを盛り上げるイベントとなった。
事業成果	全11組の公演で総勢494名の観覧者を集客することができた。 また、出演を目標に、積極的に当施設を利用するなど、副次的な効果もあり。昨年に引き続き出演したグループは4組。サークル活動などの発表の場は限られており、この公演に出演することを楽しみに活動しているという声や、このような機会を得ることができてよかったとの意見も多く、出演者からも好評であった。   

⑩エ) 矢川プラス音楽の日「～オーケストラ・マミューズ 音の花束～」

事業名称	矢川プラス音楽の日「～オーケストラ・マミューズ 音の花束～」
担当部署	矢川プラス
実施日	2025（令和7）年2月28日(金)18:30～19:30
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス とおり土間・みんなのホール
事業目的	夜間施設を有効利用し，中高生から大人を対象として，音楽を通じた多世代交流と地域のにぎわいづくりを提供すること。
事業内容	芸小ホール等でも演奏活動を行っている「オーケストラ・マミューズ」による，地域貢献活動の一環としたアンサンブル演奏会。国立市在住のメンバーを中心に，6名による演奏。
事業成果	◆参加者数：112名 夜間の静かな施設で，弦楽器の演奏やソプラノ歌手による歌唱を間近で聞く貴重な機会を提供することができた。シニア中心の観客に大変好評で，アンケートでは再開催を望む声が多くあった。   

(5) 地域連携事業

① ア) 介護予防教室（東京女子体育大学・東京女子体育短期大学連携）

事業名称	介護予防教室「楽しくからだを動かそう～心身ともにリフレッシュを～」
担当部署	矢川プラス
実施日	第1回 2024（令和6）年4月17日（水）13：00～14：20 第2回 2024（令和6）年5月29日（水）13：00～14：20 第3回 2024（令和6）年6月26日（水）13：00～14：20 第4回 2024（令和6）年7月24日（水）13：00～14：20 第5回 2024（令和6）年8月28日（水）13：00～14：20 第6回 2024（令和6）年9月18日（水）13：00～14：20 第7回 2024（令和6）年11月27日（水）13：00～14：20 第8回 2024（令和6）年12月18日（水）13：00～14：20 第9回 2025（令和7）年1月22日（水）13：00～14：20 第10回 2025（令和7）年2月26日（水）13：00～14：20 第11回 2025（令和7）年3月26日（水）13：00～14：20
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール
事業目的	高齢者がこころとからだの健康を保ちながら、住み慣れた地域での生活を継続できるよう、体操や学生との交流を通じた介護予防や生きがい支援を目的とする。
事業内容	◆講師：東京女子体育大学 教授 土井晶子氏 他 ◆募集人数：各回 30 名 高齢者を対象とし、東京女子体育大学との共催により月 1 回、東京女子体育大学の学生とともに体操とレクリエーションを実施している。
事業成果	◆参加者数 第1回 30 名 / 第2回 27 名 / 第3回 33 名 / 第4回 21 名 / 第5回 29 名 / 第6回 27 名 / 第7回 24 名 / 第8回 25 名 / 第9回 29 名 / 第10回 29 名 / 第11回 29 名 参加者からは「帰ったらすぐに次回の予定をカレンダーに書いている」「学生との交流が楽しい」などの声が多く挙がっており、地域の高齢者の介護予防や生きがい支援となっている。また、当事業で知り合った高齢者と学生が矢川プラス外で偶然会い談笑している姿も見られ、地域での多世代交流のきっかけとなっている。



① イ) 介護予防教室特別企画（東京女子体育大学・東京女子体育短期大学連携）

事業名称	介護予防教室特別企画 「東京女子体育大学でからだを動かして心身ともにリフレッシュを」												
担当部署	矢川プラス												
実施日	2024（令和6）年10月30日(水) 10：20～11：50												
実施場所	東京女子体育大学												
事業目的	東京女子体育大学との共催で月1回開催している介護予防教室の特別企画として、高齢者の外出意欲の向上，参加者同士や学生との交流を目的としている。 また，東京女子体育大学の土井教授の授業「レクリエーション演習」を履修している短期大学の学生と一緒に開催することで，高齢者とのレクリエーションを通して学生の知見を広める機会とする。												
事業内容	◆講師：東京女子体育大学 教授 土井晶子氏 ◆募集人数：40名 東京女子体育大学の見学後，構内のホールで体操やレクリエーションを実施し学生と交流した。イベント後には学生と一緒に食堂で昼食をとった。												
事業成果	◆参加者数：36名（70代8名，80代23名，90代3名，不明2名） ◆アンケート結果【回収枚数：34枚】 <table><tr><td>満足（とても満足・満足）</td><td>97%</td><td>また参加したい</td><td>97%</td></tr><tr><td>普通</td><td>0%</td><td>わからない</td><td>3%</td></tr><tr><td>不満（とても不満・不満）</td><td>3%</td><td>参加したくない</td><td>0%</td></tr></table> 参加者からは「学生と交流してエネルギーをもらった」「有意義で楽しい時間を過ごせた」「ランチも美味しかったので，これからも是非参加したい」などの声があり，普段なかなか入ることができない大学内での交流を楽しまれていた。 本企画をきっかけに，数日後に開催された東京女子体育大学の学園祭に行ったという参加者もあり，地域のつながりを生み出している。 	満足（とても満足・満足）	97%	また参加したい	97%	普通	0%	わからない	3%	不満（とても不満・不満）	3%	参加したくない	0%
満足（とても満足・満足）	97%	また参加したい	97%										
普通	0%	わからない	3%										
不満（とても不満・不満）	3%	参加したくない	0%										

②スポーツの日（東京女子体育大学・東京女子体育短期大学連携）

事業名称	スポーツの日
担当部署	矢川プラス
実施日	第1回 2024（令和6）年7月6日（土） 9:30～12:30 第2回 2024（令和6）年10月27日（日） 13:30～17:00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス とおり土間・みんなのホール・多目的ルーム・みんなのひろば
事業目的	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学と連携し、次の4つの目的をもって大学生が子どもたちに多様なスポーツ体験を提供することで、学生たちの実践的な学習の場として実施した。 ①子どもたちが憧れを感じて、さまざまなスポーツに親しみ、からだを動かす楽しさを感じる ②子どもたちが地元の大学・学生を身近な存在と感じたり、将来の夢を具体的に描き出したりできる機会をつくる ③学生が自身の強みを活かして子どもたちと関わることで、現場における実践的な学びの場とする ④大学と矢川プラスがコラボレーションすることで地域を活性化する
事業内容	東京女子体育大学の学生の授業の一環として、矢川プラス館内と屋外のみんなのひろばにさまざまな子ども向けスポーツ体験のブースを出展する。
事業成果	子どもたちに、さまざまなスポーツ体験を提供し、大学生と子どもたちとの多世代交流の場となった。     

③遊びの仕掛け人プロジェクト（東京女子体育大学・東京女子体育短期大学連携）

事業名称	遊びの仕掛け人プロジェクト
担当部署	矢川プラス
実施日	第1回 2024（令和6）年11月16日（土） 13:30～16:30 第2回 2024（令和6）年12月14日（土） 13:30～16:30
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス とおり土間・みんなのホール・多目的ルーム・みんなのひろば
事業目的	東京女子体育大学・東京女子体育短期大学の学生が、子どもたち向けのプログラム計画から指導までの過程を学ぶことを目的とする。また同時に、矢川プラスを利用する子どもたちの子どもたちが憧れを感じて、さまざまなスポーツに親しみ、からだを動かす楽しさを感じることができ、子どもたちが地元の大学・学生を身近な存在と感じたり、将来の夢を具体的に描き出したりできる機会をつくることを目的とし、共催で開催した。
事業内容	「体を動かす楽しさを味わおう」をテーマにスタンプラリー制の体験型イベントとして実施。企画から実施まで学生が主体となって、「やがプラオリムピック～目指せ金メダル」を開催した。
事業成果	大学生の実践的な学びの場となったことに加え、子どもたちも地元の大学生を身近な存在と感じながら、体を動かす楽しさを感じることができたイベントとなった。  

④学生とおしるこ作りの会（一橋大学連携）

事業名称	学生とおしるこ作りの会
担当部署	矢川プラス
実施日	2024（令和6）年12月3日(火) 13:00～15:00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム
事業目的	一橋大学のソーシャルデータサイエンス学部の学生のフィールドとして矢川プラスで実施した介護予防教室に関して、検証し、高齢者が主体となるような活動の場の創出の可能性や高齢者が深い話がができるような場の創出の可能性があることから、「大学生と高齢者でおしるこを作って食べる会」を企画・開催した。
事業内容	矢川プラスで開催している介護予防教室に参加している高齢者＋そのお友達や家族を主な対象者とし、一橋大学の学生を中心に、高齢者との交流会としておしるこ作り会を開催した。
事業成果	高齢者が作り方を大学生に教えるような主体的な参加や、おしるこを作りながら戦争時代を思い出す会話があったほか、1組の親子が「おしるこを食べたい」とのことで参加され、想定していなかった交流も生まれ、高齢者と交流するなど、想定以上の効果が得ることができた。 ◆参加者数 ・一橋大学学生5名 ・高齢者5名 ・その他3名(親子1組)

⑤みんなのデイキャンプ／みんなでコンサート（明星大学連携）

事業名称	みんなのデイキャンプ／みんなでコンサート
担当部署	矢川プラス
実施日	2024（令和6）年8月25日（日） 17:00～17:30
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール
事業目的	明星大学と共催で、子どもたちの自己理解を促進し、自分の可能性や強みに気づくことで自分らしい生き方を見つけていくプログラムとして実施した。
事業内容	第1部…「いもいも」から井本陽久先生と三戸健也先生を招いたワークショップ及び学生主導で「矢川プラスのうた」を参加者とともに歌詞を完成させるプログラム 第2部…第2部はワークショップに参加していない矢川プラス利用者也参加が可能な「みんなのコンサート」を、ダンスや楽器演奏のほか、第1部で完成した矢川プラスのうたを参加者全員で歌うプログラム
事業成果	「インクルーシブな学びの場」の体験ワークショップとして開催することができた。    

⑥ア) 矢川プラスの巨大ロゴをつくろう！（学生団体ゆかり連携）

事業名称	矢川プラスの巨大ロゴをつくろう！
担当部署	矢川プラス
実施日	2024（令和6）年8月29日(木) 15:00～17:00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム
事業目的	矢川プラスのプレオープンイベント「おしごと体験ラボ」を経験した学生有志が中心となって新たに立ち上げた「学生団体ゆかり」から，子どもたちの放課後の時間帯に自己理解や将来の夢につながるようなワークショップを開催したいとの提案があり，矢川プラスと共催で開催しました。
事業内容	①矢川プラスロゴのアウトラインが描かれた巨大模造紙に参加した子どもたちが，共同で絵を描き，矢川プラスのロゴを完成させたものを展示 ②学生が作成した手作りスゴロク体験 ③自分だけのキーホルダーづくり
事業成果	①巨大ロゴを作ろう 将来の夢や，かっこいいと思う仕事，好きなものや場所を絵にして表現してもらい，一つの巨大なアートを作り，完成したものを展示した。 ②わくわくスゴロク ユーモア性を重視して改良を重ね参加者に興味を引くものにし，マスの内容も，考えられるような質問や体を動かすようなゲームも用意した。 ③キーホルダー作り 自分の好きなものの絵や文字を書いて，世界に一つだけのキーホルダーを作ろう！をテーマにした。 参加者数 計47名 （内訳） 小学1年生 2名 / 2年生 2名 / 3年生 8名 / 4年生 15名 / 5年生 8名 / 6年生 11名   

⑥イ) クリスマスパーティ (学生団体ゆかり連携)

事業名称	クリスマスパーティ
担当部署	矢川プラス
実施日	2024 (令和6) 年 12 月 15 日(日) 13:00~16:30
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム 他
事業目的	矢川プラスのプレオープンイベント「おしごと体験ラボ」を経験した学生有志が中心となって新たに立ち上げた「学生団体ゆかり」から、子どもたちの放課後の時間帯に自己理解や将来の夢につながるようなワークショップを開催したいとの提案があり、矢川プラスと共催で開催した。
事業内容	①宝探し×謎解き ②クリスマスパーティ
事業成果	①矢川プラス館内の複数個所に宝箱を隠し、宝箱の中には謎解きが入っており、問題を解くことで、クリスマスパーティに使うグッズやお菓子を貰える企画となった。 ②謎解きで手に入れたグッズを用いて、クリスマスツリーの点灯式やお菓子を食べながら、大学生によるダンス・楽器演奏を楽しむ企画となった。 ◆参加者数 計 130 名 (内訳) 小学生以下 40 名 / 小学生 80 名 / 中学生以上 10 名  

⑥ウ) やがわカラフルフェス (学生団体ゆかり連携)

事業名称	やがわカラフルフェス～ジブンだけの色を見つけよう～
担当部署	矢川プラス
実施日	2025 (令和 7) 年 3 月 26 日(水) 14:00～16:30
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス 多目的ルーム
事業目的	矢川プラスのプレオープンイベント「おしごと体験ラボ」を経験した学生有志が中心となって新たに立ち上げた「学生団体ゆかり」から、子どもたちの放課後の時間帯に自己理解や将来の夢につながるようなワークショップを開催したいとの提案があり、矢川プラスと共催で開催した。
事業内容	① マイカラーを狙って高得点を取ろう！(ストラックアウト) ② マイカラーを使ってミサンガを作ろう！(工作ブース) ③ 芝生の広場で自由に遊ぼう！(自由の森, リラックススペース) ④ 駄菓子屋ほっぷ(出張駄菓子屋)
事業成果	今回のイベントでは、初の試みであるリラックススペースを設置したほか、府中市にて活動している駄菓子屋ほっぷが出張して出店し、工作ブースで作った作品を見せるとお菓子をもらう事ができる仕組みを取り入れた。 3回目の開催でもあり、大学生と子どもたちが自然に交流できるイベント空間となった。   

⑦矢川プラスにジャックとダンディがやってくる！（リトルホースとふれあう会連携）

事業名称	矢川プラスにジャックとダンディがやってくる！
担当部署	矢川プラス
実施日	2025（令和7）年3月30日（日） 14:30～15:30
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのひろば
事業目的	子どもたちに動物と親しんでもらう機会を提供することを目的として、昨年度開催し多くの参加者から好評であった「リトルホースとふれあう会」に協力してもらい開催した。
事業内容	リトルホースとふれあう会から、ジャックとダンディに来てもらい、矢川プラスに来た子どもたちと動物とふれあう企画とした。
事業成果	矢川プラスにきた多くの親子づれや小学生が、ジャックとダンディとのふれあいを楽しんでくれたり、2頭との家族写真ですてきな笑顔を見せるなど、子どもたちのいきいきとした日常にふれるような光景がみることができた。  

⑧まっちゃでほっこり！ひなまつり（地域の茶道稽古仲間）

事業名称	まっちゃでほっこり！ひなまつり
担当部署	矢川プラス
実施日	2025（令和7）年3月3日(月) 15:00～17:00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール
事業目的	地域で茶道を嗜んでいる方に協力してもらい、子どもたちに茶道体験を気軽に体験できる場を通じた多世代交流を目的とする。
事業内容	矢川プラスの利用者に、茶道を気軽に体験してもらいました。
事業成果	茶道というと敷居が高いと受け止められてしまうことも多いが、今回の機会に触れ、お茶や着物など、日本文化を身近に感じてもらえたほか、多世代交流につながる企画となった。 ◆参加者数 72名     

⑨囲碁将棋体験コーナー／やがわの棋士（老人福祉センターなごみ連携）

事業名称	囲碁将棋体験コーナー／やがわの棋士
担当部署	矢川プラス
実施日	①囲碁将棋体験コーナー 2024（令和6）年4月3日(水), 5月1日(水), 6月5日(水), 7月3日(水), 8月7日(水), 9月4日(水) 各日 14:00～16:30 ②やがわの棋士 2024（令和6）年12月4日(水), 2025（令和7）年1月8日(水), 2月5日(水), 3月5日(水) 各日 15:00～16:30
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール
事業目的	矢川プラス館内における高齢者による活動の活性化及び囲碁将棋を通した多世代交流を目的とする。
事業内容	月1回、老人福祉センターなごみで活動する囲碁サークル、将棋サークルの方にお越しいただき、主に子どもを対象とした囲碁将棋の体験・対局コーナーを設置している。 参加児童の減少等により一時休止としていたが、矢川プラスの各イベントに協力してもらっている学生団体ゆかりにも新たに協力してもらい、2024年12月より事業内容を変更し、ポイント制の導入や獲得ポイントに応じた景品を用意するなど「やがわの棋士」としてリニューアルし、実施した。
事業成果	小学生や高校生、囲碁を教えてほしい大人など、様々な世代の方の参加があった。 参加児童の減少等により一時休止としていたが、リニューアル後は、毎回10名を超える参加者があり、毎回参加の児童も3名おり、好評の企画となった。  

⑩スプリングフェスタ（メルカード商店会）

事業名称	矢川まつりスプリングフェスタ 2025(矢川メルカード商店会主催)
担当部署	矢川プラス
実施日	2025（令和7）年3月22日(土) 11:00～16:00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのひろば
事業目的	地域のにぎわいづくりのため、地元商店会の祭り開催を支援する。
事業内容	地元商店会(矢川メルカード商店会)が主催する「スプリングフェスタ」の会場として矢川プラスを活用し、運営を支援した。 JR 南武線矢川駅北口ロータリーにある矢川メルカード商店街の入り口からスタートし、矢川プラス屋外ステージへ「阿波おどり」を行った。 ステージでは、踊り方のレクチャーも行い、観覧はもちろん、来場者の方も一緒に踊りに参加できるイベントとなった。
事業成果	当日の館内来館者数だけで延べ 2,527 名を記録し、地域のにぎわいを創出できた。  

⑪体験ワークショップ「しめ縄作り体験」(株多摩グリーンサービス)

事業名称	しめ縄作り体験 (株式会社多摩グリーンサービス共催)
担当部署	矢川プラス
実施日	2024 (令和6) 年 12 月 1 日(日) 10:00~12:00
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール
事業目的	子どもたちが自然体験・芸術・文化の豊かな育ちに繋がる機会を提供する。
事業内容	矢川プラスで開催した「地域で育む子どもの未来～学力の土台となる非認知能力を伸ばすコツ」を公益社団法人立川青年会議所と共催した際の担当者(吉田恵史子氏)が所属する株式会社多摩グリーンサービスの協力により、自分で編んだしめ縄でクリスマスリースを製作した。
事業成果	子どもから大人まで、52名の参加者が藁を編み、自分で選んだ飾りを使って思い思いのクリスマスリースを製作した。 普段触ることのない藁を身近に感じながら、大人の手を借りずに納得いくまで製作する子どももいるなど、子どもたちの表現力を発揮する場として一定の成果を果たした。    

⑫体験ワークショップ「特撮の世界へご招待」(株)円谷プロダクション)

事業名称	特撮の世界へご招待
担当部署	矢川プラス
実施日	2025（令和7）年3月30日(日) 一部 10:00～12:00, 二部 13:30～15:30
実施場所	くにたち未来共創拠点矢川プラス みんなのホール
事業目的	子どもたちに豊かな社会体験や他者とのコミュニケーションの経験を通して、多様な生き方や仕事にふれ、未来の自分の選択肢を広げていけるような取り組みを実施する。
事業内容	国上市指定企業の一つである円谷プロダクションが提供する本物のモノづくりの世界にふれることができるワークショップを開催した。
事業成果	多数のウルトラマンシリーズ作品の監督を務める田口清隆監督を招いて、メイキング映像から特撮技術を学び、その後、ミニチュアの街を組み上げ実際に撮影を体験できる企画となり、参加した子どもたちにとって貴重な体験となった。 ◆参加者数 一部 22名 / 二部 18名  



3-5. 矢川プラス外部視察の状況

① 行政視察

日にち	視察者	人数
5月22日	葛飾区子育て政策課	6
7月3日	国分寺市 子ども家庭部 子育て相談室	6
7月11日	町田市子ども生活部児童青少年課	3
7月24日	静岡県牧之原市子ども子育て課・牧之原市社会福祉事業団	5
7月25日	三重県四日市市こども未来部	1
7月30日	江東区東陽子ども家庭支援センターみずべ	2
9月20日	埼玉県桶川市企画調整課	8
9月26日	相模原市まちづくり課中央第六地区まちづくりセンター	20
10月16日	鎌倉市こどもみらい部こども支援課	2
11月20日	熊本県大津市子育て支援課	2
2月5日	相模原市若者未来局	6
2月15日	福岡県直方市商工観光課	3

② 議会関係視察

日にち	視察者	人数
5月15日	浦安市議（日本維新の会）	1
7月8日	国分寺市議会（公明党会派）	3
7月16日	福井県鯖江市議会（市民創世会）	3
8月9日	埼玉県川口市議会（公明党会派）	1
10月31日	羽村市議（双葉会）	1
1月17日	愛知県一宮市議会福祉健康委員会委員	13
1月20日	立川市議会議員（立憲ネット緑たちかわ会派）	5

③その他行政関連団体等視察

日にち	視察者	人数
5月24日	株式会社ボーネルンド	30
5月27日	一橋大学	20
6月3日	明星大学学部生（音楽療法の授業履修者）	30
6月18日	明星大学学部生（星山ゼミの履修者）	20
6月19日	東京都立大学建築学科	16
7月26日	相模原市光が丘地区民生児童委員協議会	15
8月6日	慈恵医科大学看護学生（保健センター実習の一環として）	2
8月19日	GYMK 幼児教育研究会	5
8月23日	社会福祉法人多摩同胞会（府中市たっち運営法人）	9
9月14日	京都大学大学院工学研究科	1
10月2日	株式会社明日香	3
10月11日	上越市民間保育園（新保庄三氏同行）	5
10月21日	にのみや子ども自然塾他	5
10月23日	つちのこひろば（地域子育て支援拠点）	4
10月28日	国立音楽大学（学生）	24
11月14日	稲城市私立保育園園長会	20
11月14日	株式会社教育環境研究所	3
11月16日	発達しょうがい児者支援グループ	10
11月22日	聖心女子大学現代教養学部	10
11月26日	公益財団法人かわさき市民活動センター	6
11月27日	相模原市民生児童委員	32
11月30日	大分大学教育学部准教授	1



3-6. 矢川プラス拠点の支出状況

科目	決算額	主な支出内容
人件費支出	75,169,808	
職員給料	12,326,077	職員給料
職員賞与	4,125,671	職員賞与
非常勤職員給与	43,582,449	嘱託職員及び非常勤職員給料及び賞与
退職給付費	2,184,000	WAM退職手当共済掛金
法定福利費	12,951,611	社会保険料及び労働保険料事業所負担分
事業費	16,377,143	
水道光熱費	6,421,331	矢川プラス電気料、ガス料、上下水道料
消耗器具備品費	4,172,133	こどもラボ及び子育てひろば事業用玩具、施設維持管理用消耗品、イベント事業用消耗品等
賃借料	1,777,780	予約システム利用料、券売機システム利用料、マット及びトイレ臭気対策器具レンタル料、複合機賃借料、電気設備遠隔監視装置賃借料
教育指導費	3,979,525	キャリアアップ研修講師謝礼、各種講座及び相談事業講師謝礼、幼保小連携推進事業研修講師謝礼等
雑費	26,374	介護予防事業用茶菓等
事務費	36,790,222	
福利厚生費	258,143	職員定期健康診断委託料、総合福利厚生事業委託料
職員被服費	25,620	矢川プラス貸与被服購入
旅費交通費	4,362	出張旅費、コインパーキング代
研修研究費	161,530	ユニバーサルマナー研修費、自主研修助成金、研修旅費
修繕費	1,880,065	築山人工芝修繕、券売機新紙幣対応修繕、ピアノ等備品修理、引き戸等建具修理コンセント等配線修繕
通信運搬費	465,714	Wi-Fi接続サービス利用料、光回線利用料、郵便料
広報費	1,290,545	施設パンフレット製作費、HP費、イベント出演者謝礼等
業務委託費	22,255,499	機械警備業務委託、ごみ処理業務委託、植栽剪定業務委託、通行量調査業務委託、建物管理業務委託、防火設備定期検査業務委託、大型遊具点検業務委託
手数料	249,836	振込手数料、ピアノ調律手数料、キャッシュレス決済手数料
保険料	109,653	施設賠償責任保険料
租税公課	6,840,950	契約書用収入印紙、公益事業消費税
保守料	3,247,565	電気設備、消防設備保守点検料、施設HP保守料、複合機保守料、エレベーター保守点検料、無線AP保守料、子育てひろば入退室管理システム保守料、スタジオ機材メンテナンス料
諸会費	440	クレジットカード年会費
雑費	300	都社協従事者共済入会金、都社協年会費
固定資産取得支出	829,070	
器具及び備品取得	829,070	事業用ノートパソコン、混雑状況解析用パソコン
積立資産支出	18,223,560	
退職給付引当試算	223,560	都社協従事者共済会退職共済掛金
人件費積立資産	15,000,000	矢川プラス職員人件費積立
修繕積立資産	3,000,000	矢川プラス修繕積立
その他の活動支出	2,847,381	
その他の活動支出	2,747,381	過年度補助金返還金
過年度修正損失	100,000	
合計	150,237,184	

Ⅱ．拠点別事業報告

【4.国立駅南口子育ち・ 子育て応援テラス拠点】





4-1.指定管理者選定の経過

① 指定管理者の指定までの道のり

月 日	内容
8 月 8 日	国立市指定管理者指定申請書の提出
8 月 21 日	国立市指定管理者選定委員会にて事業計画の説明及びヒアリング
10 月 7 日	国立市指定管理者候補者選定通知書の受領
11 月 21 日	令和 6 年国立市議会第 4 回定例会にて指定管理者の指定議案が可決
11 月 26 日	国立市指定管理者指定通知書の受領
1 月 6 日	国立駅南口子育て・子育て応援テラスの管理に関する基本協定書の締結
2 月 1 日	国立駅南口子育て・子育て応援テラスの指定管理業務の開始

② 指定管理施設及び業務の概要

項目	内容
名 称	国立駅南口子育て・子育て応援テラス
所 在 地	国立市 1 丁目 1 番地の 47
開業年月日	2025（令和 7）年 7 月 1 日
休 館 日	○子育てひろば及び一時預かり室 : 毎週火曜日 ○交流・学習スペース, 情報ストリート等 : 毎月第 2・第 4 火曜日
延床面積	約 700 m ²
施設構成	子育てひろば 270 m ² , 一時預かり室 55 m ² , 交流・学習スペース 60 m ² 情報ストリート 155 m ² , その他（事務室, トイレ, 倉庫等）160 m ² , 駐車場 5 台, 駐輪場 30 台
業務内容	① 地域子育て支援拠点事業の運営業務 ② 一時預かり室の運営業務 ③ 施設維持管理業務



4-2.施設の運営方針

① 運営方針

全体コンセプト

～はじめての100か月も、その先の100年も～
子ども・親・地域がつながる、まちのテラス。

運営方針

みんなでつながり支えあう

- ・スタッフとつながる
- ・親子同士がつながる
- ・地域とつながる

「みずから育つ力」を応援する

- ・子どもが育つ
- ・親が育つ
- ・地域が育つ

育ちを切れ目なく支えあう

- ・初めの100か月を切れ目なく
- ・その先も「ふるさと」として切れ目なく
- ・情報と学びの機会を切れ目なく

② サービス区分の概要

サービス区分	内 容																
子育てひろば運営事業	地域子育て支援拠点事業の子育てひろばとして、0歳から就学前までの子どもと保護者が安心して遊び、相談でき、つながり育ちあう、まちに開かれた子育てひろばを運営。 ① ここすきひろば運営事業 ④子育て支援講座事業 ② 相談支援事業 ⑤地域連携事業 ③ 情報発信事業 ⑥施設維持管理事業																
一時預かり室運営事業	一時的に家庭での保育が困難となる場合等に、育児の心理的、身体的負担を軽減するとともに、孤立防止や育児不安の解消を図ることを目的に、保護者に代わって乳幼児の一時的な預かりを実施。 <table><tr><td>時間</td><td>1時間ごと4時間まで</td><td>予約</td><td>利用日の1か月前から</td></tr><tr><td>年齢</td><td>満1歳～就学前</td><td>キャンセル</td><td>前日正午まで取消可</td></tr><tr><td>定員</td><td>6人</td><td>食事</td><td>提供無し</td></tr><tr><td>料金</td><td>800円／時間</td><td>減免</td><td>実施なし</td></tr></table> ※当法人からパートナー企業への業務委託により実施予定	時間	1時間ごと4時間まで	予約	利用日の1か月前から	年齢	満1歳～就学前	キャンセル	前日正午まで取消可	定員	6人	食事	提供無し	料金	800円／時間	減免	実施なし
時間	1時間ごと4時間まで	予約	利用日の1か月前から														
年齢	満1歳～就学前	キャンセル	前日正午まで取消可														
定員	6人	食事	提供無し														
料金	800円／時間	減免	実施なし														



4-3.開業準備の取組

① 開業準備の進捗

項目（『仕様書』より）	進捗状況
事務室の開設	・ 国立市と協力して什器類の選定作業を実施 ・ LAN 環境の構築に向けて業者と協議を実施 ・ OA 機器の購入及び賃貸借に向けて業者と協議を実施
事業展開の検討	・ 矢川プラスの経験を生かした全体的な事業展開方針を検討
組織体制の確立，人材育成計画	・ 正規職員及び非常勤職員を募集し，必要人員数の職員を確保
施設維持管理，設備機器の確認	・ 清掃及び夜間警備に係る建物管理業務委託の契約準備 ・ 施設設備及び施設維持に係る業務委託契約の準備
管理運営の準備，習熟	・ 防火管理者の選任手続及び消防計画の届出準備 ・ 機械警備システム，安心安全カメラシステム，消防設備等の操作研修の実施
子育てひろばの運営準備	・ ひろば内活動エリア及び備品配置を検討 ・ 子育てひろば入退出管理システム等の操作研修の実施
一時預かり室の運営準備	・ 委託先事業者のプロポーザルによる選定と事業者決定 ・ 委託事業者と協力して玩具等の選定作業を実施 ・ 予約システムの選定及びカスタマイズ調整を実施
共用部の運営準備	・ 国立市と協力して什器類の選定作業を実施
駐車場・駐輪場の運営準備	・ 駐車場管理システムの検討
広報業務	・ 施設ホームページ開設準備 ・ 施設利用案内パンフレットの検討
必要書類等の作成	・ 矢川プラスでの運用を参考に各種書式の準備
プレオープンイベント等	・ オープン前イベント及びプレ開館の実施時期及び事業内容の検討及び国立市と協議
開館式典	・ 開館式典の実施日及び式典内容について国立市と協議



4-4.国立駅南口子育て・子育て応援テラス拠点の支出状況

科目	決算額	主な支出内容
人件費支出	0	
事業費	0	
事務費	89,924	
通信運搬費	14,484	消防用アナログ回線敷設費
業務委託費	55,000	機械警備機器設置業務委託料
手数料	440	振込手数料
租税公課	20,000	収入印紙代
固定資産取得支出	2,076,140	
器具及び備品取得	2,076,140	事業用ノートパソコン, 安心安全カメラ
積立資産支出	0	
合計	2,166,064	

社会福祉法人 くにたち子どもの夢・未来事業団
2024（令和 6）年度事業報告書

作成日 2025（令和 7）年 5 月

作成者 社会福祉法人 くにたち子どもの夢・未来事業団 法人経営室
〒186-0003

東京都国立市富士見台 4 丁目 17 番地の 65

URL <https://www.kunitachi-j.or.jp>



Kunitachi
Kodomo no
Yume Mirai

